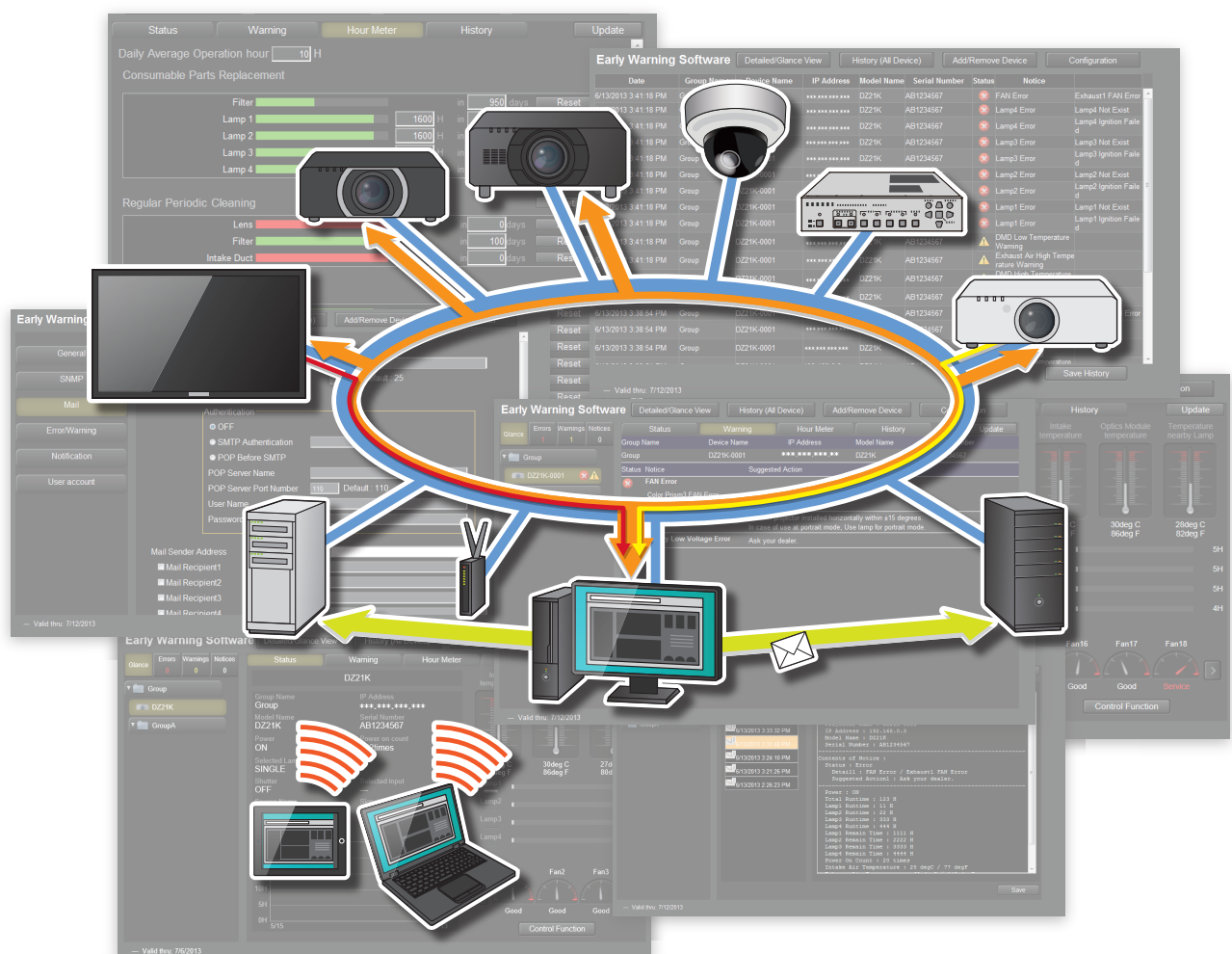


取扱説明書

予兆監視ソフトウェア

Early Warning Software Ver. 2.4

Windows



このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

■ 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。

もくじ

はじめに	4
ソフトウェア使用許諾契約書	4
セキュリティに関するお願い	6
本書の表記について	8
1. こんなことができます	9
2. 準備する	11
2.1 運用開始までの手順	11
2.2 必要なシステム構成	12
2.3 ネットワークの設定	15
2.4 フラットパネルディスプレイの設定	16
2.5 監視サーバーにソフトウェアをインストールする	17
2.6 ソフトウェアをアンインストールする	21
3. 監視サーバー側の設定と操作	23
3.1 管理コンソールの操作	23
3.2 初期ユーザーのパスワードの設定	25
3.3 アクティベーション	27
3.4 機材設定情報のアップデート	34
4. クライアント端末の設定と操作	37
4.1 WEB ブラウザーでログインする	37
4.2 WEB ブラウザー画面について	39
5. 機材の登録情報を管理する（管理者権限ユーザーのみ）	40
5.1 機材を登録する	40
5.2 機材のグループを作成する	43
5.3 登録した機材、グループを削除する	45
5.4 機材の登録情報を変更する	46
5.5 登録機材を他のグループに移動する	48
5.6 グループの登録情報を変更する	49
6. 周辺機器の登録情報を管理する（管理者権限ユーザーのみ）	50
6.1 周辺機器を登録する	50
6.2 周辺機器の登録情報を変更する	54
7. 機材および周辺機器の状態を確認する	56
7.1 ツリー表示エリアについて	56
7.2 機材および周辺機器のステータスを確認する	60
7.3 登録されている機材を一覧表示する	68
7.4 機材管理情報を保存する	69
7.5 メンテナンスレポートを表示・保存する	70
7.6 エラー・警告・お知らせ内容を表示する	73
7.7 メンテナンス時期を確認する	74
7.8 メンテナンス時期の設定を編集する	77
7.9 エラー・警告・お知らせ案内履歴を確認する	80
7.10 機材の温度情報を確認する	83

8. 全機材の履歴を確認する.....	87
8.1 履歴情報を確認する	87
8.2 履歴情報を保存する	89
9. 監視サーバーの設定を行う.....	90
9.1 情報更新間隔、およびシステム履歴情報の保存期間を設定する (管理者権限ユーザーのみ)	91
9.2 システム履歴情報を削除する (管理者権限ユーザーのみ).....	92
9.3 SNMP 通知の設定を行う (管理者権限ユーザーのみ).....	93
9.4 メール送信に必要な設定を行う (管理者権限ユーザーのみ).....	95
9.5 機器が未接続時の警告の設定を行う (管理者権限ユーザーのみ).....	99
9.6 お知らせ案内内容の設定を変更する (管理者権限ユーザーのみ).....	101
9.7 ユーザー情報を登録・削除・変更する	103
9.8 エラーメッセージについて	106
10. 機材を制御する.....	109
困ったとき.....	110
商標について	113

はじめに

ソフトウェア使用許諾契約書

本ソフトウェアについては、「ソフトウェア使用許諾契約書」の内容を承諾していただくことが、使用する条件になります。

本ソフトウェアを使用した時点で、「ソフトウェア使用許諾契約書」に同意していただいたものとみなします。

1. 権利

本ソフトウェアの使用権を得ることはできますが、特許権、著作権またはその他一切の権利はパナソニック株式会社または第三者が所有するものであり、お客さまに移転するものではありません。お客様は、パナソニックのディスプレイ（プロジェクターやフラットパネルディスプレイ）を管理する目的にのみ本ソフトウェアを使用することができます。なお、本ソフトウェアのダウンロードによりお客様に許諾される使用権は、期間および使用できるディスプレイ（プロジェクターやフラットパネルディスプレイ）の台数について、別途規定される制限があります。別途キーコードを購入いただくことなどにより使用権は延長または変更されることがありますが、その場合も本ソフトウェア使用許諾契約書の条件に従って許諾されます。

2. 第三者の使用

お客様は、有償あるいは無償を問わず、本ソフトウェアおよびそのコピーしたものを第三者に譲渡あるいは使用させることはできません。

3. コピーの制限

本ソフトウェアのコピーは、保管（バックアップ）の目的のためだけに限定され、1部のみコピーすることができます。

4. 使用コンピューター

本ソフトウェアは、お客様が所有または管理するコンピューター 1 台での使用とし、その他のコンピューターで使用することはできません。

5. 解析・変更または改造

本ソフトウェアの解析、変更または改造を行わないでください。解析・変更または改造により、何らかの欠陥が生じたとしても、パナソニック株式会社では一切の保証をいたしません。また、解析・変更または改造の結果、万一お客様に損害が生じたとしてもパナソニック株式会社および販売店・販売代理店などは責任を負いません。

6. アフターサービス

お客様が使用中、本ソフトウェアに不具合が発生した場合、パナソニック プロジェクター サポートセンターまでお問い合わせください。お問い合わせの本ソフトウェアの不具合に関して、パナソニック株式会社が知り得た内容の誤り（バグ）や使用方法の改良など必要な情報をお知らせいたします。ただし、パナソニックのディスプレイ（プロジェクターやフラットパネルディスプレイ）を管理する目的以外の使用により発生した本ソフトウェアの不具合については、アフターサービスは一切行いません。なお、本ソフトウェア仕様は予告なく変更することがあります。

7. 免責

キーコード購入などによる使用权の延長、変更の有無に関わらず、本ソフトウェアに関するパナソニック株式会社の責任は、上記 6. のみとさせていただきます。本ソフトウェアのご使用または不具合に関連して、お客様に生じた一切の直接・間接の損害または逸失利益、および第三者からお客様に対してなされた一切の請求については、パナソニック株式会社および販売店・販売代理店などはいかなる責任も負いません。なお、本ソフトウェアは、パナソニックのディスプレイ（プロジェクターやフラットパネルディスプレイ）の管理を支援することを目的とするものであり、パナソニック株式会社および販売店・販売代理店などは、本ソフトウェアの適切な動作または結果の正確性、本ソフトウェアがお客様の特定目的に適合すること、および第三者のいかなる権利も侵害していないこと、などを保証するものではありません。また、ファイルをダウンロードする際、何らかの不具合が発生しても責任は負いかねますので、あらかじめご了承ください。

8. 輸出管理

お客様は、本ソフトウェアを購入した国以外の国に持ち出される場合、その国および関係する各国の輸出管理に関する法規を遵守してください。

9. 準拠法および本注意事項の変更

本ソフトウェアの使用はあらゆる面において日本国の法律に支配され、かつそれに従って解釈されるものとします。パナソニック株式会社は、お客様への予告なく、自己の判断で本注意事項を変更することができます。

10. 合意管轄

本ソフトウェアの使用に関して、訴訟の必要が生じた場合、お客様およびパナソニック株式会社は大阪地方裁判所に対してのみ訴えを提起することができるものとします。

セキュリティに関するお願い

本ソフトウェアをご使用になる場合、次のような被害に遭うことが想定されます。

- 本ソフトウェアを経由したお客様のプライバシー情報の漏えい
- 悪意を持った第三者による本ソフトウェアの不正操作
- 悪意を持った第三者による本ソフトウェアの妨害や停止

セキュリティ対策を十分に行ってください。

- パスワードはできるだけ推測されにくいものにしてください。
- パスワードは定期的に変更してください。
- パナソニック株式会社およびその関係会社が、お客様に対して直接パスワードを照会することはありません。直接問い合わせがあっても、パスワードを答えないでください。
- Windows Update を定期的に行い、コンピューターを最新の状態に保ってください。
- 安全性の確保されたネットワークをご使用ください。
- パスワードを設定し、ログインできるユーザーを制限してください。

無線 LAN 製品ご使用時におけるセキュリティに関するご注意

無線 LAN では、LAN ケーブルを使用する代わりに、電波を利用してコンピューターなどと無線アクセスポイント間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由に LAN 接続が可能であるという利点があります。

その反面、電波はある範囲内であれば障害物（壁など）を越えてすべての場所に届くため、セキュリティに関する設定を行っていない場合、下記のような問題が発生する可能性があります。

- 通信内容を盗み見られる

悪意を持った第三者が、電波を故意に傍受し、

- ID やパスワードまたはクレジットカード番号などの個人情報
- メールの内容

などの通信内容を盗み見られる可能性があります。

- 不正に侵入される

悪意を持った第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、

- 個人情報や機密情報を取り出す（情報漏えい）
- 特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す（なりすまし）
- 傍受した通信内容を書き換えて発信する（改ざん）
- コンピューターウィルスなどを流しデータやシステムを破壊する（破壊）

などの行為をされてしまう可能性があります。

本来、無線 LAN アダプターや無線アクセスポイントは、これらの問題に対応するためのセキュリティの仕組みを持っていますので、無線 LAN 製品のセキュリティに関する設定を行って製品を使用することで、その問題が発生する可能性は少なくなります。

無線 LAN 機器は、購入直後の状態においては、セキュリティに関する設定が行われていない場合があります。セキュリティ問題発生の可能性を少なくするためには、無線 LAN 機器をご使用になる前に、必ず無線 LAN 機器のセキュリティに関するすべての設定を、それぞれの機器の取扱説明書に従ってお客様が行ってください。

なお、無線 LAN の仕様上、特殊な方法によりセキュリティ設定が破られることもあり得ますので、ご理解のうえ、ご使用ください。

無線 LAN で使用する際のセキュリティ設定について、お客様ご自身で対処できない場合には、「パナソニック プロジェクターサポートセンター」までお問い合わせください。

セキュリティの設定を行わないで使用した場合の問題を十分理解したうえで、お客様自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行い、本ソフトウェアを使用することをお勧めします。

本書の表記について

■ 画面イラストについて

本書では、OS は「Windows 7」、WEB ブラウザーは「Internet Explorer 11」を使用しているものとして説明しています。

閲覧用のコンピューターとしてタブレットを使用することもできますが、本書ではデスクトップコンピューターを使用することを前提として説明しています。

お客様がお使いの OS や WEB ブラウザー、コンピューターの種類によっては画面の大きさや表示が本書と異なる場合があります。

■ 表記について

- メニュー名、タブ名、ボタン名、画面内の項目名は [] をつけて表記しています。
- 下階層メニュー名を記載する場合は、上階層メニュー名との間を「→」でつないで表記しています。

お知らせ

- 本書およびソフトウェアにおいて、「機材」と表現している箇所は弊社製ディスプレイ（プロジェクターやフラットパネルディスプレイ）を対象としています。
本ソフトウェアに登録できるデジタルリンクスイッチャーやネットワークカメラなどの周辺機器は含みません。

お願い

- Windows や WEB ブラウザーの操作、タブレット端末を含むコンピューターの取り扱いについては、ご使用のコンピューターの取扱説明書などをご覧ください。

1. こんなことができます

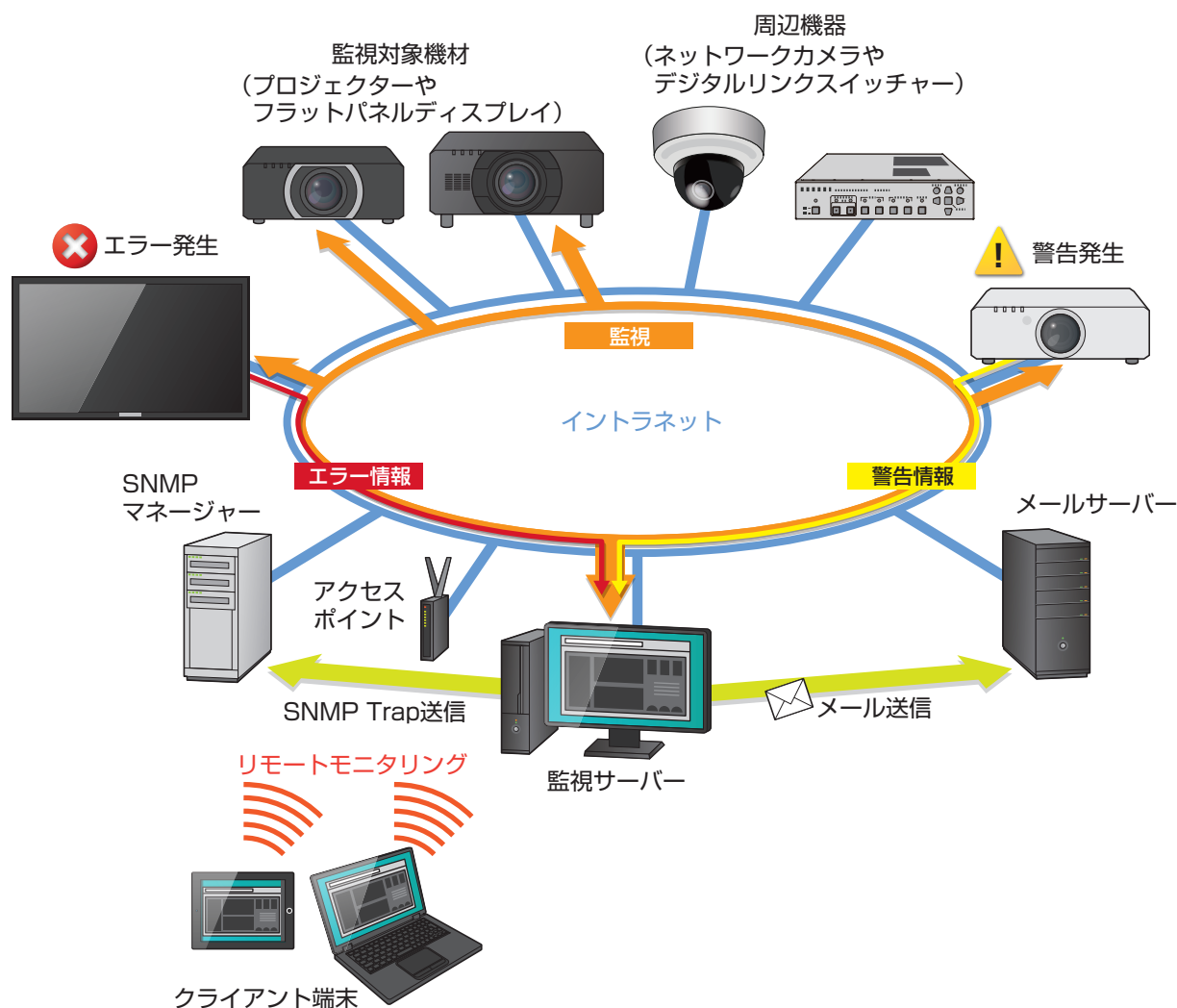
本ソフトウェアをコンピュータにインストールすることで、学校や企業など、イントラネット内にある機材（プロジェクターやフラットパネルディスプレイ）やその周辺機器の状態を監視し、これらの機器の状態の表示や異常の通知をするほか、異常発生の予兆を検知して通知することもできます。

また、機材の運用状況を記録し、それぞれの運用時間を予測して、将来発生する消耗品交換／各部清掃／部品交換のおおよその時期を通知し、事前にメンテナンスを実施することができます。さらに、本ソフトウェアが導入された監視サーバー*から離れた地点からでも、タブレットやノート PC で機材やその周辺機器の状態を確認することもできます。

*「監視サーバー」とは、予兆監視ソフトウェアがインストールされているコンピュータを指します。

お知らせ

- 本ソフトウェアを使用することで、すべての機材やその周辺機器の故障を事前に検知できるものではありません。また、異常通知の表示内容は、機材や周辺機器によって異なります。
- 対応機材やその周辺機器については、弊社 WEB サイト (<https://panasonic.biz/cns/projector/products/swa100/>) または (<https://panasonic.biz/cns/prodisplays/products/swa100/>) をご覧ください。



本ソフトウェアの機能の概要は以下のとおりです。

• **ソフトウェアライセンスの管理（→ 27 ページ）**

- 監視サーバーでライセンスの有効化（アクティベーション）とライセンス有効期限の管理を行います。

• **ユーザー管理（→ 103 ページ）**

- クライアント端末から監視サーバーにアクセスするユーザーの操作権限を設定できます。すべての機能を使用できる「管理者」と、閲覧や一部の機能の使用に限定した「一般」に権限を分けて運用できます。

• **監視する機材の設定（→ 40 ページ）**

- ライセンスランクにより最大 2048 台までの機材を登録・管理できます。
- 階層化されたグループ設定が可能です。

• **監視する機材のステータス表示（→ 56 ページ）**

- 機材ごとのステータス（状態）を詳細表示します。

• **予兆監視**

- 機材に警告・エラーが発生した場合に、発生要因および処置方法を確認することができます。また、機材に使用されている部品（特定の部品に限る）の故障を事前に予測して警告を通知したり、お客様の使用状況をもとに部品ごとのメンテナンス時期を予測してお知らせ案内を通知したりすることもできます。

• **メンテナンス時期の設定編集機能（→ 77 ページ）**

- 登録されている機材の消耗品交換／各部清掃／部品交換までの期間（メンテナンス時期）を設定できます。

• **機材温度情報表示機能（→ 83 ページ）**

- 機材の内部温度状態を確認することができます。

• **履歴表示（→ 80 ページ）**

- 過去のエラー・警告・お知らせ案内の内容を表示します。また、履歴はファイルに出力できます（Internet Explorer または Microsoft Edge 使用時のみ）。

• **SNMP Trap 送信（→ 93 ページ）**

- エラー・警告発生時やお知らせ案内がある場合に、SNMP マネージャー（ネットワーク機材管理ソフト）に対して SNMP Trap（発生または解除）を通知します。

• **メール送信機能（→ 95 ページ）**

- あらかじめ設定したメールアドレスに、エラー・警告・お知らせ案内の通知を行います。（メールが送信できる環境のみで使用できます。）

• **デジタルリンクスイッチャー状態確認機能（→ 65 ページ）**

- デジタルリンクスイッチャーの入出力状態やファンの状態を確認することができます。

• **ネットワークカメラの映像表示機能（→ 61 ページ）**

- ディスプレイ（プロジェクターやフラットパネルディスプレイ）に表示されている映像をカメラを通して遠隔で確認できます。

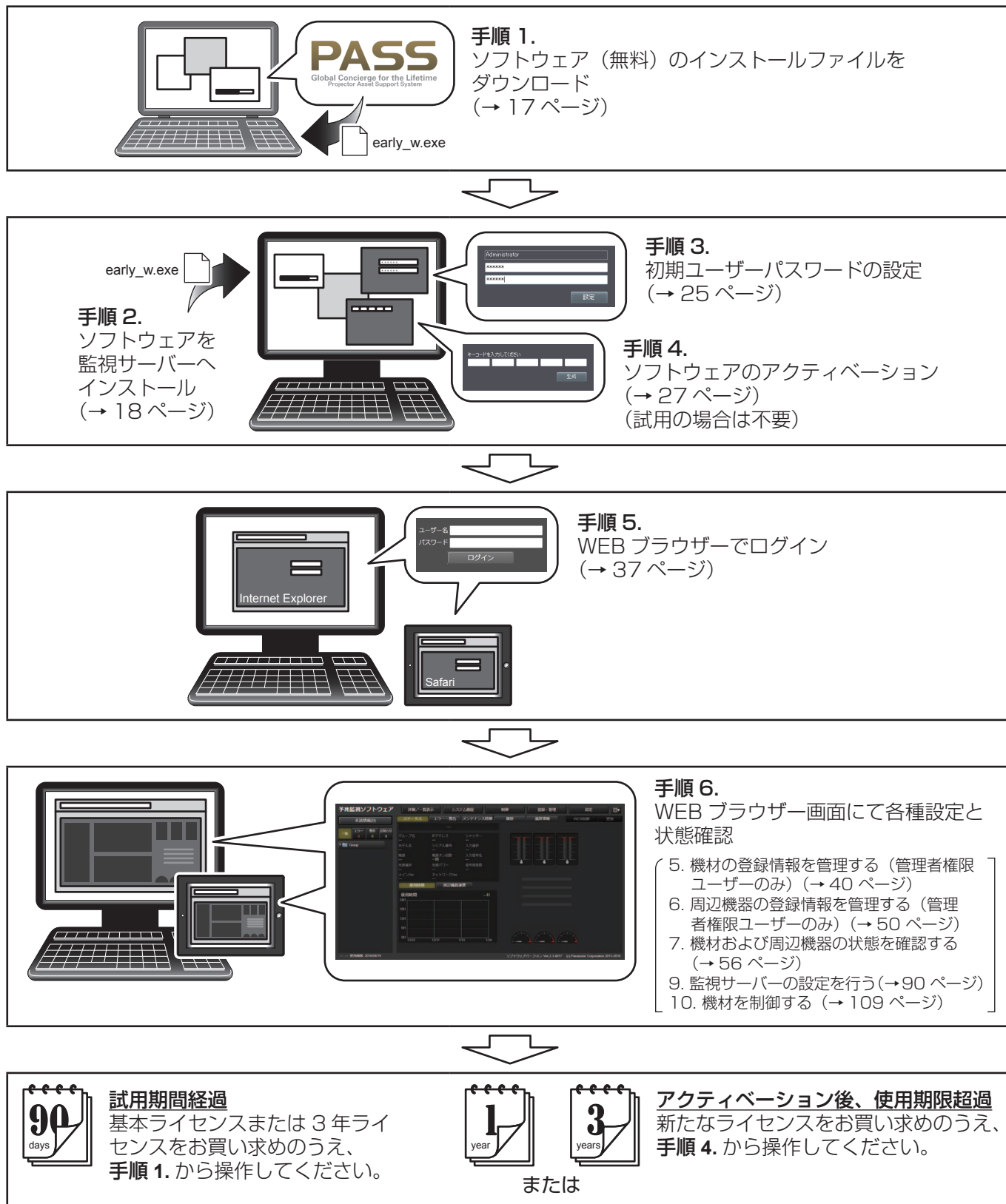
• **簡易制御機能（→ 109 ページ）**

- 登録されている機材の電源の入／切と、シャッター機能 /AV ミュート機能のオン／オフを操作できます。

2. 準備する

2.1 運用開始までの手順

ソフトウェアのインストールから運用開始までの手順は下記のようにになっています。



2.2 必要なシステム構成

■ ソフトウェアの動作環境

ソフトウェアをインストールする監視サーバーには、下記の条件を満たすコンピュータが必要です。

項目	内容
OS（オペレーティングシステム）	Microsoft Windows 7 Ultimate 32/64 bit Professional 32/64 bit SP1 にのみ対応
	Microsoft Windows 8.1 Windows 8.1 32/64 bit Windows 8.1 Pro 32/64 bit
	Microsoft Windows 10 Windows 10 pro 32/64 bit
	※ 64bit の Windows では、32bit モードで動作します。 ※ 上記 OS の日本語版、英語版に対応します。 ※ Microsoft Internet Information Services (IIS) は、本ソフトウェアインストール時に自動的に有効になります。
ソフトウェアライブラリー	Microsoft .NET Framework 3.5 Service Pack 1 ※ Windows 7 の場合は、プリインストールされている .NET Framework 3.5.1 で動作します。インストールされていない場合は、Microsoft のホームページからダウンロードした .NET Framework 3.5 Service Pack 1 をインストールしてください。 ※ Windows 8.1 / Windows 10 の場合、搭載されている .NET Framework 3.5 の機能が無効になっている場合があります。本ソフトウェアをインストールする前に、.NET Framework 3.5 の機能を有効にしてください。詳しくは、“困ったとき”（→ 110 ページ）の“Windows 8.1 / Windows 10 で本ソフトウェアをインストールできない”をご覧ください。
WEB ブラウザー	Internet Explorer 11.0、Microsoft Edge ※ Windows 8.1 のモダン UI 用 Internet Explorer 11 は除きます。 ※ 上記以外の WEB ブラウザーでも動作する場合がありますが、動作の保証はいたしません。
CPU	Intel Core2 Duo 以上、または互換のプロセッサ搭載 ※ 65 台以上の機材を接続する場合は Intel Core i5 以上を推奨します。
メモリー	2048MB 以上
ハードディスクの空き容量	100GB 以上 ※ 台数に比例して必要空き容量が増加します。 （おおよその目安：1 台あたり 50 MB）
その他	LAN 端子（10Base-T/100Base-TX） 解像度 1024 × 768 以上（1366 × 768 以上を推奨）、High Color（16 bit）以上のディスプレイ

上記の条件を満たすすべてのコンピュータについて動作を保証するものではありません。

クライアント端末の動作環境

WEB ブラウザーから監視サーバーにログインし、監視画面を閲覧します。

LAN 機能が搭載されていて、下記の WEB ブラウザーが表示できる環境であれば、タブレットでもお使いいただけます。

OS	内容
Windows	次の WEB ブラウザーが動作すること WEB ブラウザー：Internet Explorer 11.0、Microsoft Edge ※ Windows 8.1 のモダン UI 用 Internet Explorer 11 を除きます。 ※ 上記以外の WEB ブラウザーでも動作する場合がありますが、動作の保証はいたしません。 ※ Internet Explorer を使用している場合、ネットワークカメラ本体に搭載されている WEB 画面表示機能を使用できます。ただし、カメラによっては表示用プラグインや DirectX をインストールする必要があります。なお、Microsoft Edge では、WEB 画面表示機能は使用できません。 (2016 年 4 月現在)
iOS	iOS 9/10 の iPad と iPhone WEB ブラウザー：Safari ※ デスクトップ用サイトを表示した状態での操作には対応していません。 ※ マルチタスク機能の「Split View」を使用した状態での操作には対応していません。 ※ ネットワークカメラ本体に搭載されている WEB 画面表示機能の動作は保障いたしません。(カメラ本体で保障外のブラウザーのため) ※ iPhone で機材の WEB 制御画面を表示する場合は新しいタブで表示せず、同一画面内で表示されます。
Android	Android 4.4/5.0/5.1/6.0/7.0 のタブレット WEB ブラウザー：Chrome ※ ネットワークカメラ画像表示機能は利用できません。

上記の条件を満たすすべてのコンピューターについて動作を保証するものではありません。

お知らせ

- クライアント端末から無線 LAN を用いてサーバーにアクセスする場合は、無線接続するためのアクセスポイントなどが別途必要となります。

対応機材

本ソフトウェアに対応する機材（プロジェクターやフラットパネルディスプレイなどのディスプレイ）やその周辺機器については、弊社 WEB サイト (<https://panasonic.biz/cns/projector/products/swa100/>) または (<https://panasonic.biz/cns/prodisplays/products/swa100/>) をご覧ください。

なお、機材については、本ソフトウェアで取得できる情報の内容によって 2 つのグループに分類されます。「詳細情報取得モデル」、「基本情報取得モデル」のそれぞれが取得できる情報の主な違いは、次に示すとおりです。各項目の詳細については、“7.2 機材および周辺機器のステータスを確認する”の“ステータス画面”（→ 61 ページ）をご覧ください。

✓：取得可能
 —：取得不可能

項目名	取得情報によるグループ定義	
	詳細情報取得モデル	基本情報取得モデル
グループ名	✓	✓
IP アドレス	✓	✓
シャッター	✓	✓
モデル名	✓	✓
シリアル番号	✓*	—
入力選択	✓	✓
電源	✓	✓
光源選択（プロジェクターのみ）	✓*	—
光源パワー / 運用モード（プロジェクターのみ）	✓	—
消費電力低減設定 （フラットパネルディスプレイのみ）	✓	—
信号周波数	✓	—
メイン Ver.	✓	—
ネットワーク Ver.	✓*	—
使用時間	✓	✓*
温度	✓*	—
光源状態（プロジェクターのみ）	✓*	✓*
ファン状態	✓*	—

* 機材によっては取得できないものもあります。

お知らせ

- ご使用の機材がどちらのグループに分類されているモデルであるかは、弊社 WEB サイト ((<https://panasonic.biz/cns/projector/pass/>), または (<https://panasonic.biz/cns/prodisplays/pass/>)) の PASS にログインすることでご確認いただけます。[ダウンロード] ボタンをクリックし、ユーティリティソフトウェア → 予兆監視ソフトウェア → [ソフトウェア] ボタンをクリックしてください。
 - PASS に会員登録されていない場合は、新規会員登録（無料）を行ってください。
- 登録済みの機材がどちらのグループに属するものとして登録されているかは、次のいずれかの方法で判別いただけます。
 - ツリー表示エリアに表示されているアイコンの種類
 - 情報表示エリア（ステータス画面）に表示されている項目
 詳しくは、“7. 機材および周辺機器の状態を確認する”（→ 56 ページ）をご覧ください。
- 本ソフトウェアを運用中に「詳細情報取得モデル」に分類される新しい機材が発売された場合、その機材に対応した機材設定ファイルを PASS からダウンロードしてアップデートする前に機材登録すると、「基本情報取得モデル」として登録されます。その場合でも、新しい機材に対応した機材設定情報にアップデートすることで「詳細情報取得モデル」として認識されるようになります。機材設定情報のアップデートについては、“3.4 機材設定情報のアップデート”（→ 34 ページ）をご覧ください。

2.3 ネットワークの設定

監視サーバー／クライアント端末と機材（プロジェクターやフラットパネルディスプレイ）やその周辺機器とのネットワーク接続を行います。

■ 接続に必要なコンピューター環境

コンピューターをイントラネットへ接続する前に、必ず下記の LAN 設定をご確認ください。

＜LAN 機能が内蔵されているコンピューター＞

- LAN 機能が有効になっていますか？

＜LAN 機能が内蔵されていないコンピューター＞

- LAN アダプターが正しく認識されていますか？
- LAN アダプターが有効になっていますか？
- 接続する前に LAN アダプターのドライバーをインストールしてください。

ドライバーのインストール方法は、LAN アダプターの取扱説明書を確認してください。

お知らせ

- 監視サーバーについては DHCP サーバー利用による IP アドレスの自動取得は行わず、ネットワーク内で重複しない固定アドレスを設定することをお勧めします。
- セキュリティー（ファイアウォール）ソフトや LAN アダプターのユーティリティーソフトがインストールされていると、イントラネットに接続できない場合があります。接続できない場合はネットワーク管理者にご相談ください。
- すべての LAN アダプターやコンピューターに内蔵されている LAN アダプターでの動作を保証するものではありません。

■ 機材のネットワーク設定

ネットワーク設定の方法は、接続する監視対象機材やその周辺機器の取扱説明書を参照してください。

2.4 フラットパネルディスプレイの設定

本ソフトウェアに「詳細情報取得モデル」に分類されているフラットパネルディスプレイを機材として登録して使用する場合、ディスプレイ本体側の設定が必要になります。

なお、「基本情報取得モデル」に分類されるフラットパネルディスプレイを機材として登録する場合、ディスプレイ本体側の設定は必要ありません。

登録する機材がどちらのグループに分類されているモデルであるかは、弊社 WEB サイト (<https://panasonic.biz/cns/prodisplays/pass/>) の PASS にログインすることでご確認いただけます。

あらかじめフラットパネルディスプレイの [Options] メニュー下にある次の 2 項目を設定してください。

- [LAN Control Protocol]
[Protocol 2] に設定してください。
- [RS-232C/LAN Information Timing]
警告、エラーを検出する各条件項目を設定してください。

お知らせ

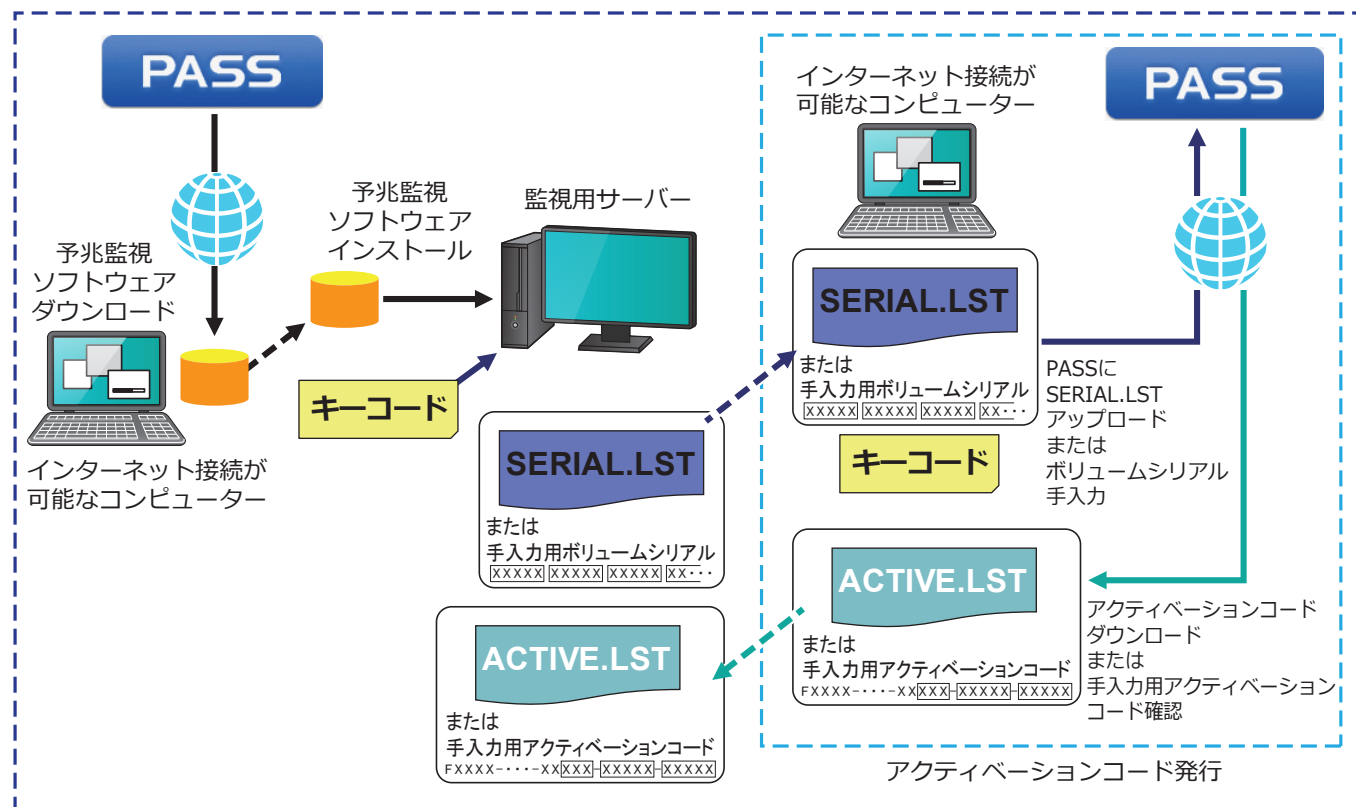
- 設定方法については、使用しているディスプレイの取扱説明書を確認してください。
- 「詳細情報取得モデル」として登録されているフラットパネルディスプレイの場合、本ソフトウェアで監視中に「無操作自動オフ」機能が働くなど、ディスプレイが自動的にスタンバイ状態になると警告が発生します。警告が発生させないようにするには、自動的にスタンバイ状態に移行しないようディスプレイ側の設定を変更する必要があります。
「基本情報取得モデル」として登録されているフラットパネルディスプレイの場合は、自動的にスタンバイ状態になっても警告は発生しません。
- 「詳細情報取得モデル」に分類されているフラットパネルディスプレイで、現在時刻の設定やオンスクリーンメニュー言語の選択ができる場合、それらを設定するようにしてください。
設定せずに使用すると警告が発生します。
「基本情報取得モデル」として登録されているフラットパネルディスプレイの場合、現在時刻の設定やオンスクリーン言語の選択を設定していなくても警告は発生しません。

2.5 監視サーバーにソフトウェアをインストールする

インストールとアクティベーションの流れ

インストールからアクティベーションの流れは下記のようにになっています。

ここではソフトウェアのインストールおよびアンインストールについて説明します。



お知らせ

PASS について

「PASS」とは、パナソニック 業務用ディスプレイ / プロジェクター テクニカルサポート サイトの名称です。

本ソフトウェアは PASS を利用してダウンロード、ライセンス管理を行います。

- PASS の詳細な説明は、弊社 WEB サイト (<https://panasonic.biz/cns/projector/pass/>)、または (<https://panasonic.biz/cns/prodisplays/pass/>) をご覧ください。

インストールファイルのダウンロード

1. 弊社 WEB サイト (<https://panasonic.biz/cns/projector/pass/>)、または (<https://panasonic.biz/cns/prodisplays/pass/>) の PASS にログインします。
 - PASS に会員登録されていない場合は新規会員登録（無料）を行ってください。
2. 画面上の [ダウンロード] ボタンをクリックします。

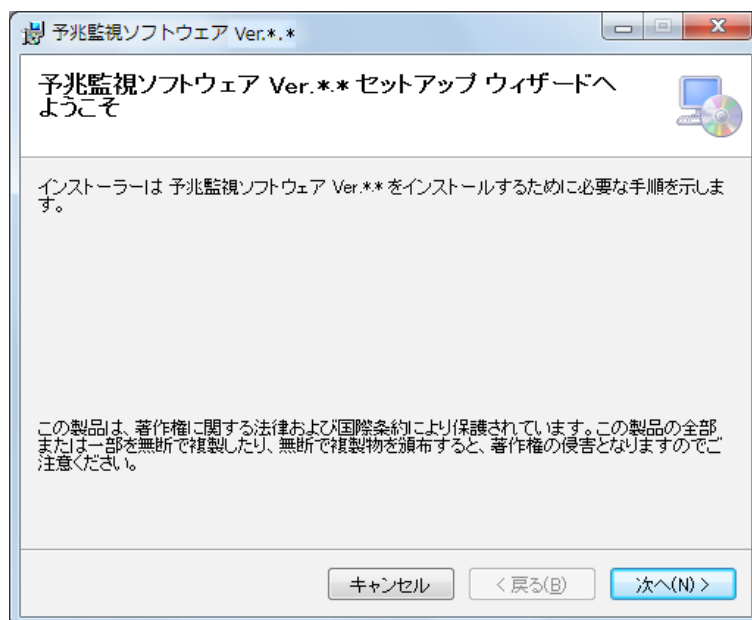
3. ユーティリティソフトウェア → 予兆監視ソフトウェア → [ソフトウェア] のボタンをクリックします。
4. 予兆監視ソフトウェア (Early Warning Software) → [最新バージョン] → [ダウンロード] のボタンをクリックします。
5. アプリケーションソフトダウンロードに関する使用許諾契約をよくお読みのうえ、「上記使用許諾に同意します。」をチェックします。
6. 「ダウンロード」のリンクをクリックします。
 - 自己解凍形式のファイル「early_w.exe」を任意の場所に保存します。

■ ソフトウェアをインストールする

本ソフトウェアを監視サーバーにインストールします。

インストールを開始する前に Windows 上で起動しているすべてのソフトウェアを終了してください。正しくインストールできなくなる場合があります。

1. PASS からダウンロードした「early_w.exe」を解凍します。
2. 解凍して作成されたフォルダー内の「Setup.exe」をダブルクリックします。

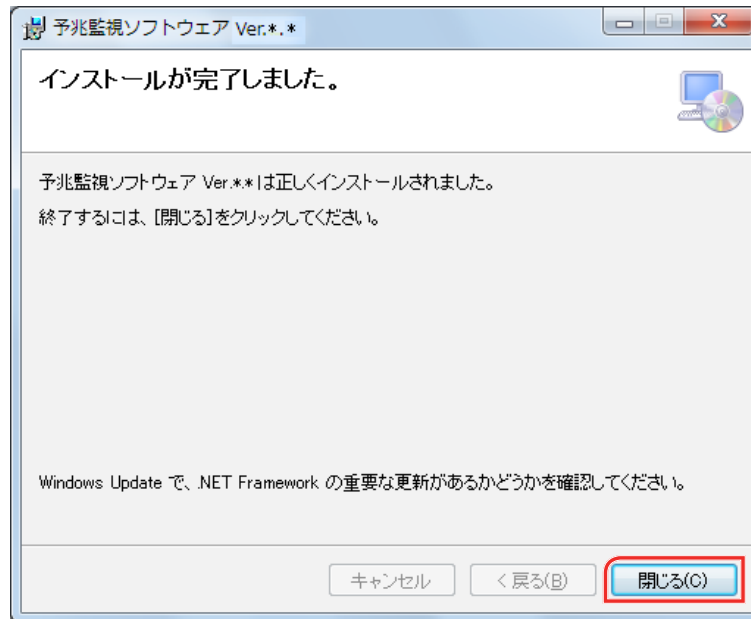


インストーラーが起動し、セットアップ画面が表示されます。

3. 画面の指示に従ってインストールを行います。

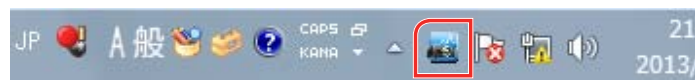
インストールが完了すると、完了画面が表示されます。

4. [閉じる] ボタンをクリックします。



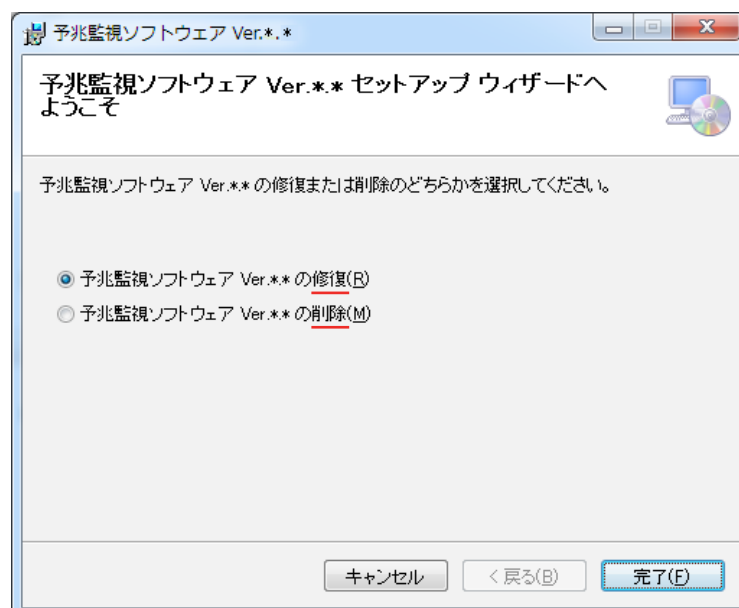
インストールが完了すると、ソフトウェアが自動で起動します。

ソフトウェアが動作中は、タスクバーに予兆監視ソフトウェアアイコンが表示されます。



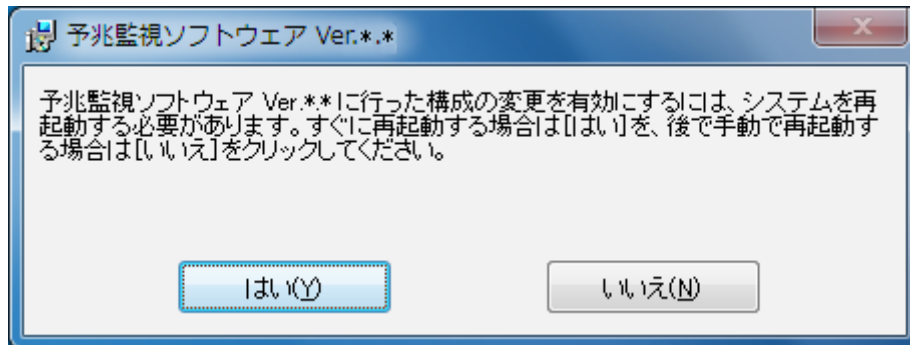
すでに同じバージョンのソフトウェアがインストールされている場合は、インストールの途中で修復または削除を選択する画面が表示されます。

- 本ソフトウェアの不具合を修復する場合は「修復」を選択し、本ソフトウェアをいったんアンインストールしたうえでインストールし直す場合は「削除」を選択してください。



- すでに古いバージョンのソフトウェアがインストールされている場合は、そのまま上書きインストールすることができます。

- 正常にインストールされたときは、システムの再起動を確認するダイアログが表示されますので、すぐに再起動する場合は「はい」をクリックしてください。あとで手動により再起動する場合は「いいえ」をクリックしてください。



- 登録済みの機材の台数が多い場合、アップデートインストールに時間がかかる場合があります。例えば、搭載メモリーが 2 GB のコンピューターで 513 台以上の機材を登録している場合、アップデート完了までに約 10 分を要する場合があります。

お願い

- 本ソフトウェアのインストールは、Windows Update の更新プログラムが反映された状態で行ってください。Windows Update を実行中に、または再起動を要する更新が行われた状態で本ソフトウェアをインストールしようとすると、インストールが途中で止まったまま完了しない場合があります。その場合は、困ったとき(→110 ページ)の“インストールが完了しない”をご覧ください。
- Windows 8.1 または Windows 10 の環境下で初めて本ソフトウェアを使用する場合、必ず Windows Update を実行して重要な更新プログラムをインストールしたうえでご使用ください。Windows Update を実行せずに使用すると、本ソフトウェアが動作しない場合があります。

お知らせ

- 日本版のソフトウェアを英語の OS にインストールすると、フォントが正常に表示されない場合があります。
- 本ソフトウェアをインストールする前に、あらかじめお使いのコンピューターに .NET Framework 3.5 がインストールされていること、.NET Framework 3.5 の機能が有効になっていることをご確認ください。
.NET Framework 3.5 がインストールされていない場合や、その機能が無効になっている場合、本ソフトウェアをインストール中にエラーが表示されます。その際は「いいえ」をクリックして本ソフトウェアのインストールを中断し、.NET Framework 3.5 の機能を有効にしたうえでインストールし直してください。
 - Windows 7 の場合
Microsoft のホームページからダウンロードした .NET Framework 3.5 Service Pack 1 をインストールしてください。
 - Windows 8.1 / Windows 10 の場合
“困ったとき”(→110 ページ)の“Windows 8.1 / Windows 10 で本ソフトウェアをインストールできない”をご覧ください。

2.6 ソフトウェアをアンインストールする

本ソフトウェアを監視サーバーからアンインストールします。

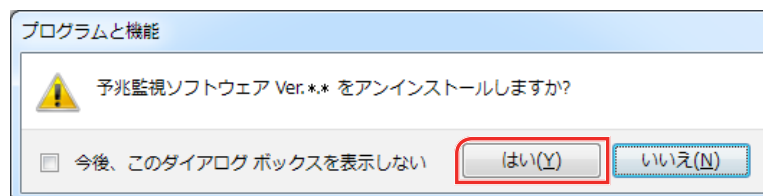
1. プログラムをアンインストールする画面を表示します。

- Windows 7 の場合：[スタート] → [コントロールパネル] → [プログラムと機能] を選択します。
- Windows 8.1 / Windows 10 の場合：キーボードの [Windows ロゴ] を押しながら、[X] を押し、[コントロールパネル] → [プログラムと機能] を選択します。

2. [予兆監視ソフトウェア Ver.*.*] を選択し、[アンインストール] をクリックします。

アンインストール確認画面が表示されます。

3. [はい] をクリックします。

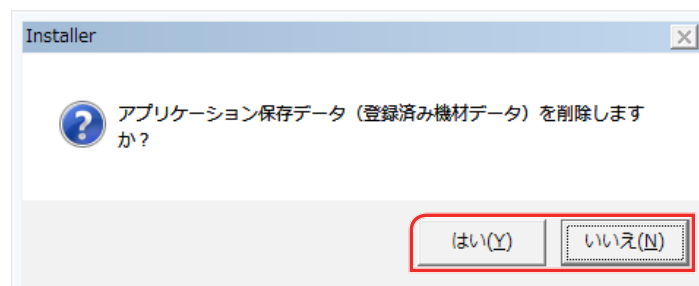


アプリケーション保存データを削除する確認メッセージが表示されます。

なお、本選択後アンインストール処理をキャンセルすると、ソフトウェアが正常に動作しなくなる可能性があります。アンインストール処理をキャンセルした場合は、再度インストールを行ってください。

4. [はい] または [いいえ] をクリックします。

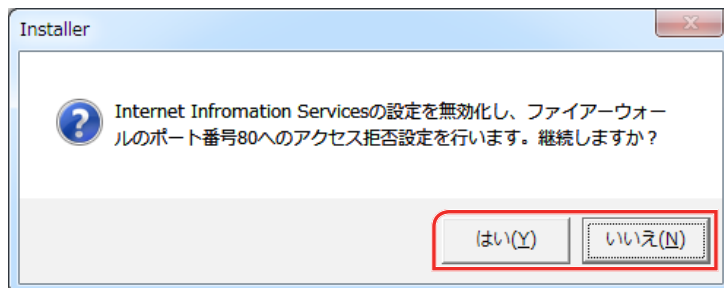
- アプリケーション保存データを削除する場合は、[はい] を選択してください。
- アプリケーション保存データを残す場合は、[いいえ] を選択してください。



Internet Information Services (IIS) を無効化の確認メッセージが表示されます。

5. [はい] または [いいえ] をクリックします。

- 他のソフトウェアで Internet Information Services (IIS) を使用していない場合は、[はい] を選択してください。
- 他のソフトウェアで Internet Information Services (IIS) を使用している場合は、[いいえ] を選択してください。



本ソフトウェアがアンインストールされます。

お知らせ

- アンインストール中にキャンセルを行った場合は、コンピューターの再起動が必要となります。

3. 監視サーバー側の設定と操作

3.1 管理コンソールの操作

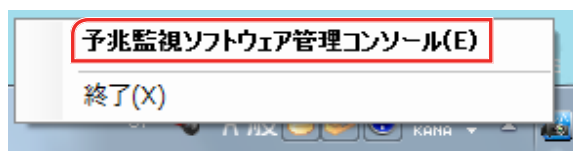
■ 管理コンソール画面を開く

予兆監視ソフトウェアの管理コンソール画面を開きます。

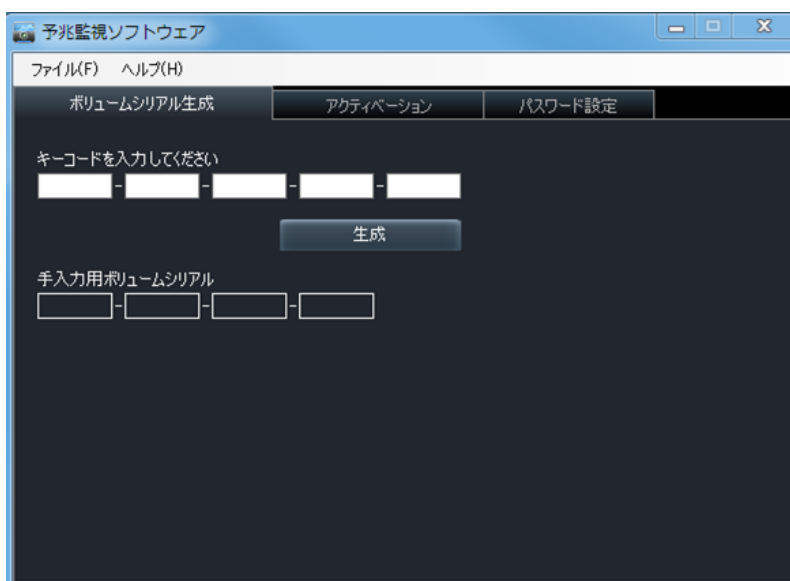
1. Windows のタスクトレイに表示されているアイコンをダブルクリックします。



- タスクトレイのアイコンを右クリックして表示される「予兆監視ソフトウェア管理コンソール」をクリックして開くこともできます。

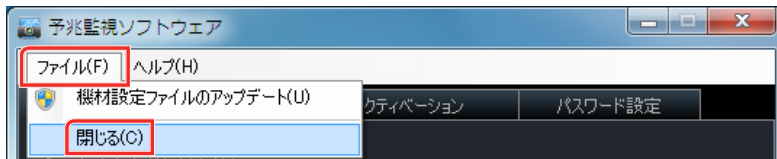


予兆監視ソフトウェアの管理コンソール画面が表示されます。



■ 管理コンソール画面を閉じる

1. メニューバーの【ファイル】を選択し、【閉じる】をクリックします。



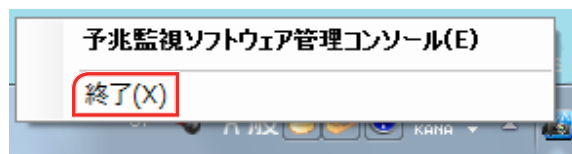
お知らせ

- 管理コンソール画面を閉じて、ソフトウェア自体は終了しません。

■ 管理コンソールを終了する

1. 予兆監視ソフトウェアのタスクアイコンを右クリックします。

2. 【終了】をクリックします。



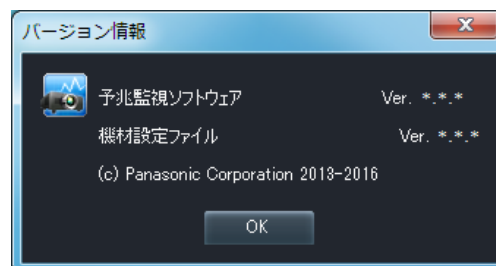
お知らせ

- 管理コンソールを終了しても、ソフトウェア自体は終了しません。

■ バージョンの確認

1. メニューバーの【ヘルプ】をクリックします。

バージョン情報画面が表示されます。



2. 【OK】 ボタンをクリックします。

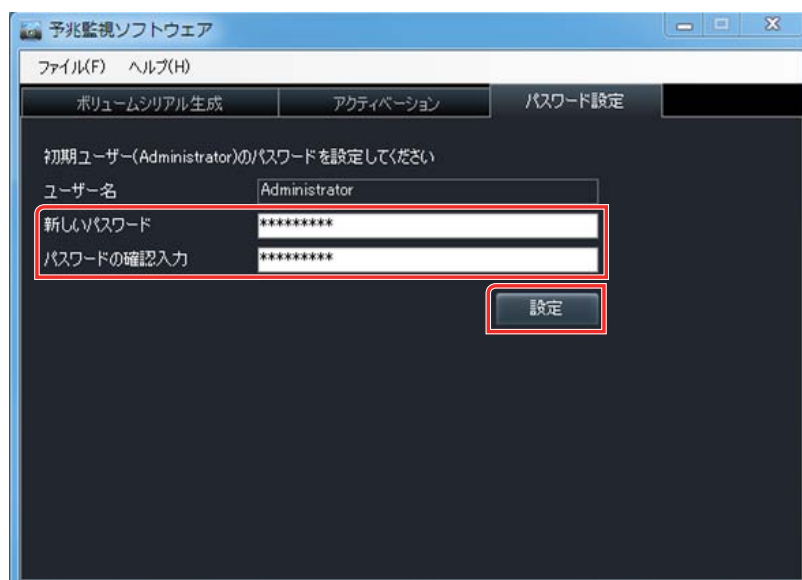
バージョン情報画面が閉じます。

3.2 初期ユーザーのパスワードの設定

初期ユーザーのパスワードを設定します。

初期ユーザー名は「Administrator」に固定されています。

1. 管理コンソール画面の【パスワード設定】タブを選択します。
2. 【新しいパスワード】に設定したい任意のパスワードを入力します。
パスワードとして登録できる文字は半角英数字と半角記号で最大 64 文字です。
3. 【パスワードの確認入力】に、手順 2 で入力したパスワードと同じ文字列を入力し、【設定】ボタンをクリックします。



パスワード設定成功のメッセージが表示されます。

4. 【OK】ボタンをクリックします。
新しいパスワードが設定されます。

お知らせ

- パスワード設定に失敗した場合は、下記のようなエラーメッセージが表示されます。

メッセージ	対処
確認用パスワードが違います。	[新しいパスワード] 欄に入力したパスワードと同じパスワードを、[パスワードの確認入力] 欄に正しく入力してください。
新しいパスワードを入力してください。	[新しいパスワード] 欄にパスワードが入力されていません。初期ユーザー「Administrator」に設定するパスワードを入力してください。
確認用パスワードを入力してください。	[パスワードの確認入力] 欄にパスワードが入力されていません。[新しいパスワード] 欄に入力したパスワードと同じパスワードを入力してください。

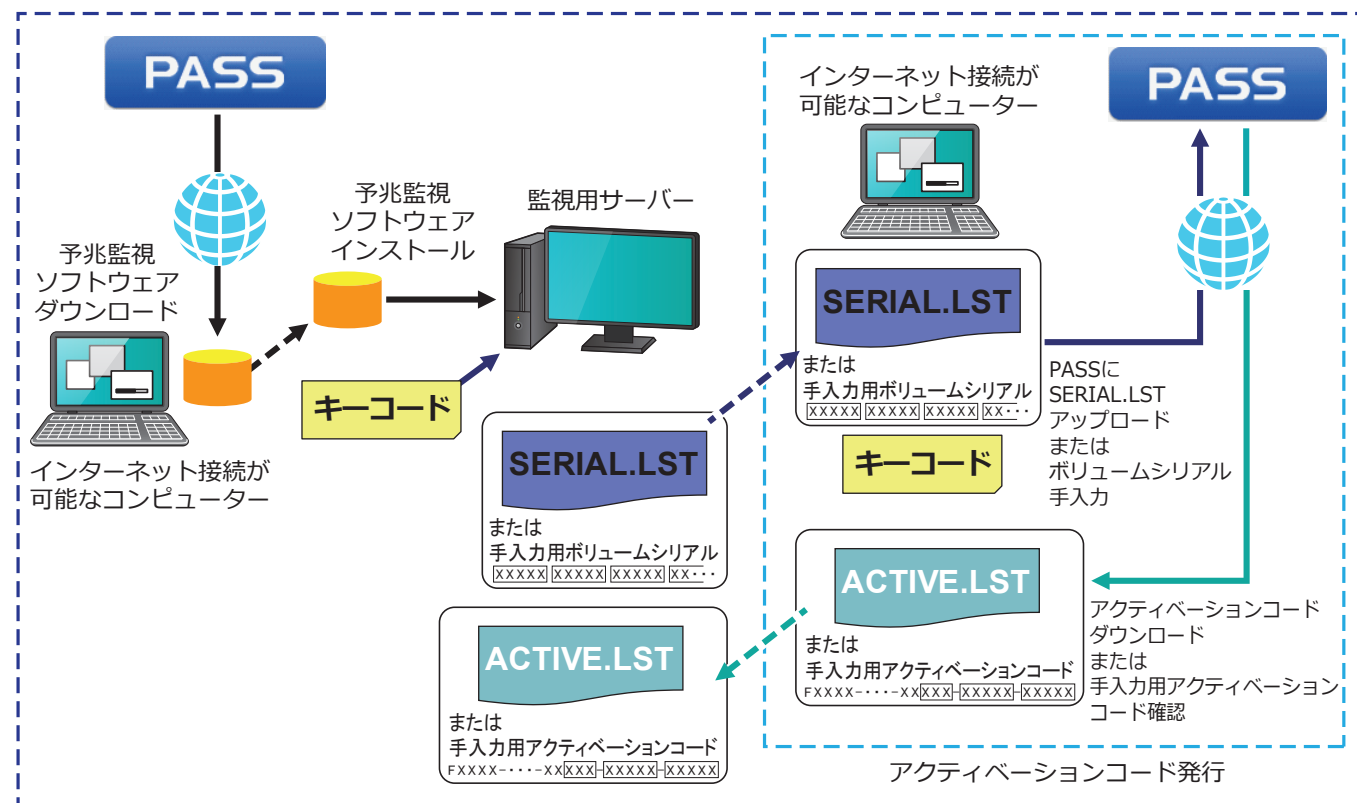
- パスワードを変更する場合や設定したパスワードを忘れてしまった場合も、この手順で変更できます。

3.3 アクティベーション

本ソフトウェアはインストール後、90 日間は試用版としてご使用になれます（登録可能な機材台数は 2048 台までです。）。以降は、予兆監視ソフトウェア（基本ライセンスまたは 3 年ライセンス）をお買い求めのうえ、アクティベーションを行ってください。

アクティベーションの流れ

インストールからアクティベーションの流れは下記のようになっています。
ここではソフトウェアのアクティベーションについて説明します。



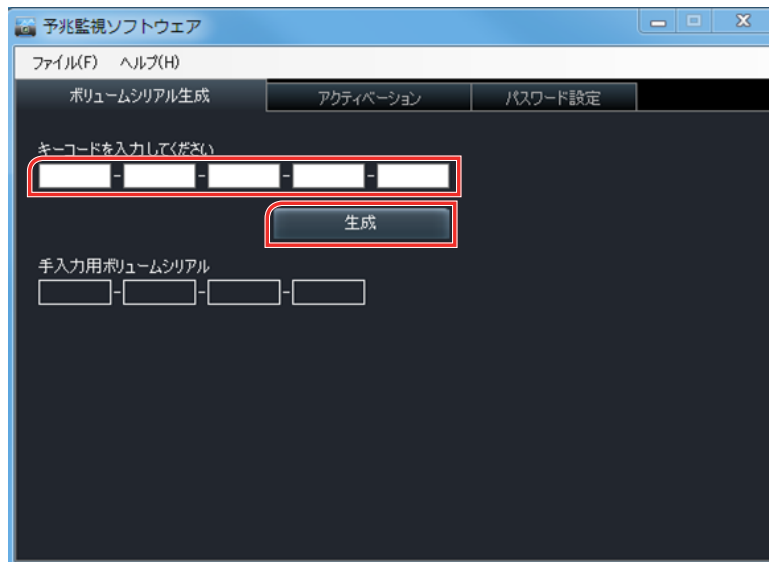
■ ソフトウェアのアクティベーションを行う

購入したライセンスのキーコードが記載されたラベルをお手元にご用意のうえ、以降の手順に従ってソフトウェアのアクティベーションを行ってください。

なお、アクティベーションを行うにあたっては、ファイルを用いる方法と手入力する方法の 2 通りがあります。

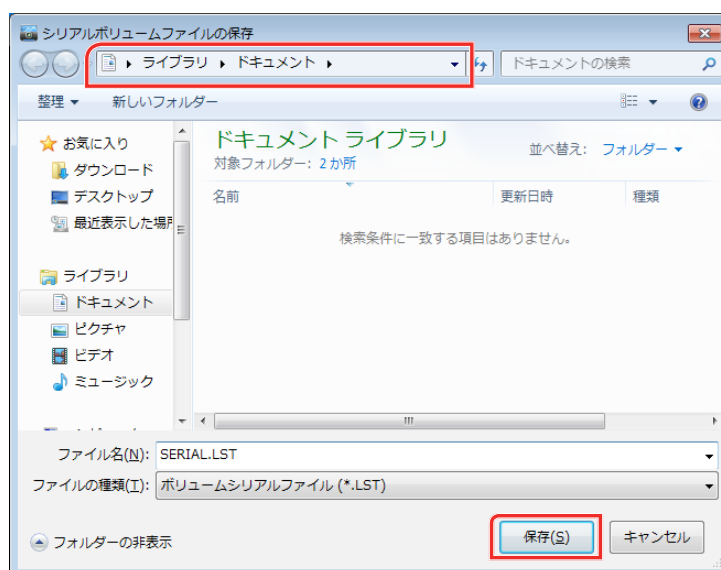
ボリュームシリアル生成を行う

1. 監視用サーバーで予兆監視ソフトウェアの管理コンソール画面を開きます。
2. [ボリュームシリアル生成] タブの画面で、お手元のキーコードラベルに表示されているキーコードを入力して[生成] ボタンをクリックします。
 - キーコードは 25 文字の半角英数字です。各ボックスに 5 文字ずつ入力してください。



ファイル保存ダイアログボックスが表示されます。

3. ファイルの保存場所を指定して[保存] ボタンをクリックします。
 - ファイル名は自動で「SERIAL.LST」と表示されています。
 - 任意のファイル名に変更することができますが、拡張子（.LST）は変更しないでください。
 - 保存しない場合は、[キャンセル] ボタンをクリックしてください。



ボリュームシリアルファイルの保存が完了すると、手入力用ボリュームシリアル（20 文字の半角英数字）が管理コンソール画面に表示されます。



お知らせ

- 以降のアクティベーションを行う手順でボリュームシリアルを手入力して PASS に登録する場合は、この“手入力用ボリュームシリアル”を使用します。
- アクティベーションを完了しない状態で再度ボリュームシリアル生成を行うと、以前のボリュームシリアルを用いて入手したアクティベーションコードは無効になり、使用できなくなります。アクティベーションを行う際は、必ず最新のボリュームシリアルを用いて入手したアクティベーションコードを使用してください。

アクティベーションを行う

アクティベーションを行うにあたっては、ファイルを用いる方法と手入力する方法の 2 通りがあります。

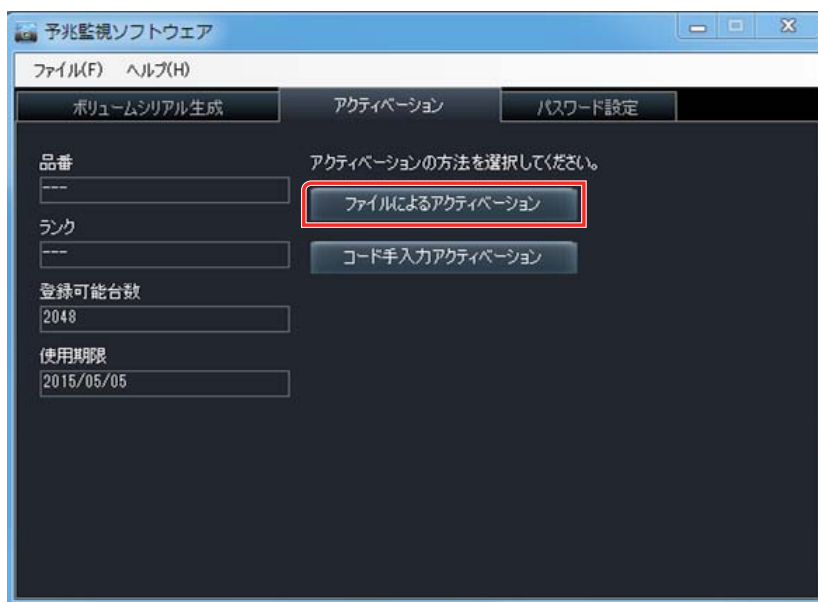
● ファイルを用いる場合

1. インターネット接続が可能なコンピュータで弊社 WEB サイト
((<https://panasonic.biz/cns/projector/pass/>))、または
((<https://panasonic.biz/cns/prodisplays/pass/>))の PASS にログインします。
2. 会員トップページのサイドメニューから【アクティベーション】 ボタンをクリックして、【予兆監視ソフトウェア】を選択します。

3.画面の指示に従って、ボリュームシリアルファイル（デフォルト名：SERIAL.LST）をアップロードし、キーコードを入力のうえアクティベーションコードファイル（ACTIVE.LST）を任意の場所にダウンロードします。

- キーコードは 25 文字の半角英数字です。アルファベットはすべて大文字で、各ボックスに 5 文字ずつ入力してください。
- アクティベーションコードのファイル名は自動で「ACTIVE.LST」と表示されています。
- 任意のファイル名に変更することができますが、拡張子（.LST）は変更しないでください。
- アクティベーションファイルをダウンロードしたあとに表示されるアクティベーションコード（30 文字の半角英数字）を用いてアクティベーションの手続きを進めることもできます。その場合は手入力用アクティベーションコードをお手元に控えてください。手入力アクティベーションコードは、アクティベーションが完了するまでなくさないようにしてください。

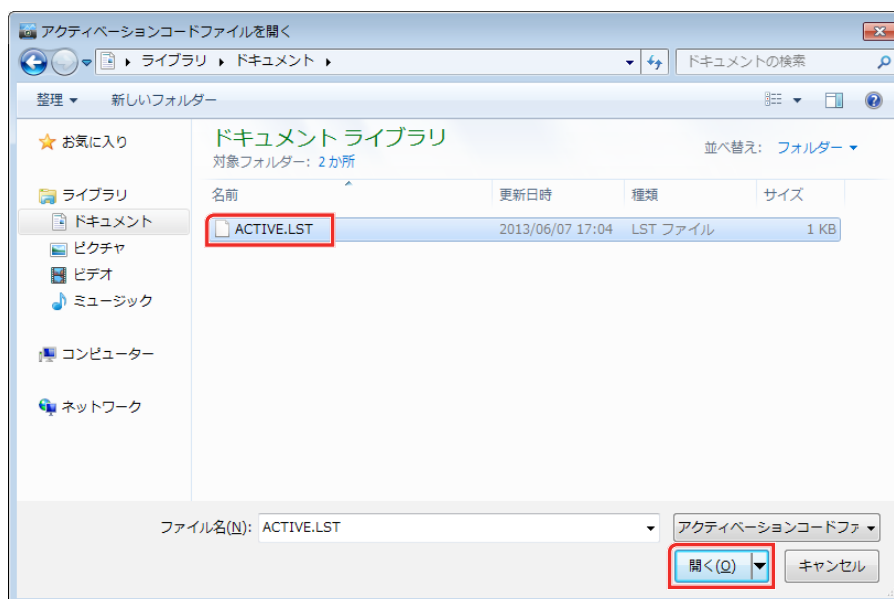
4.監視用サーバーの管理コンソール画面で［アクティベーション］タブを選択し、[ファイルによるアクティベーション] ボタンをクリックします。



アクティベーションコードファイルを開く画面が表示されます。

5. PASS からダウンロードしたアクティベーションコードファイル (ACTIVE.LST) を選択して [開く] ボタンをクリックします。

- 取り消す場合は [キャンセル] ボタンをクリックしてください。



アクティベーション（認証）が完了すると、ソフトウェアにアクティベーションコードが登録され、確認のメッセージが表示されます。

同時に [品番] [ランク] [登録可能台数] [使用期限] が、[アクティベーション] タブの画面内に表示されます。

● 画面に表示されるコードを手入力する場合

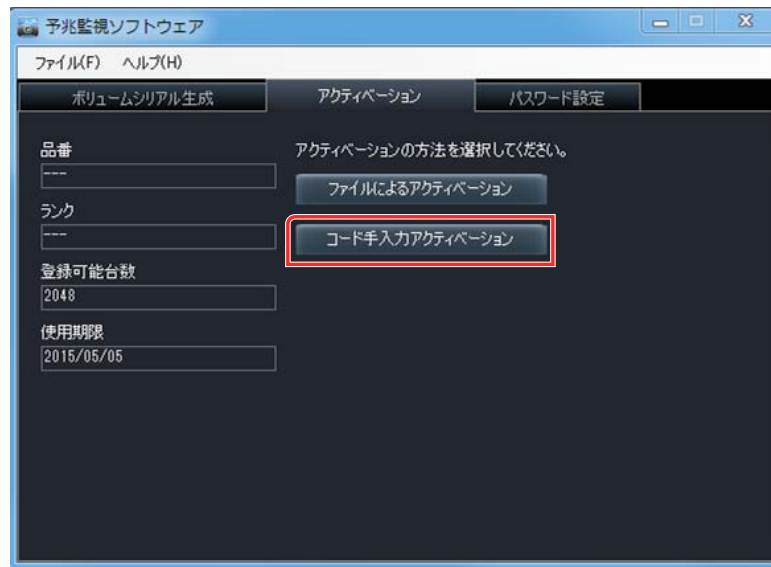
1. インターネット接続が可能なコンピュータで弊社 WEB サイト
(<https://panasonic.biz/cns/projector/pass/>)、または
(<https://panasonic.biz/cns/prodisplays/pass/>)) の PASS にログインします。

2. 会員トップページのサイドメニューから [アクティベーション] ボタンをクリックして、[予兆監視ソフトウェア] を選択します。

3. 画面の指示に従って、監視サーバーの管理コンソール画面上に表示された手入力用ボリュームシリアルを登録し、キーコードを入力の上アクティベーションコードファイル (ACTIVE.LST) を任意の場所にダウンロードします。ダウンロード後に表示されるアクティベーションコード(30 文字の半角英数字)をお手元に控えてください。

- キーコードは 25 文字の半角英数字です。アルファベットはすべて大文字で、各ボックスに 5 文字ずつ入力してください。
- 手入力用のアクティベーションコードは、アクティベーションが完了するまでなくさないようにしてください。
- ダウンロードしたアクティベーションコードファイル（デフォルト名：ACTIVE.LST）を用いてアクティベーションの手続きを進めることもできます。手入力する場合は、このアクティベーションコードファイルは使用しません。

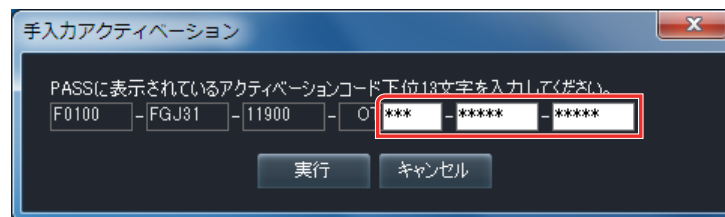
4. 監視用サーバーの管理コンソール画面で「アクティベーション」タブを選択し、「コード手入力アクティベーション」ボタンをクリックします。



アクティベーションコードを手入力する画面が表示されます。

5. PASS の画面に表示されたアクティベーションコードを入力してください。

- 手入力用のアクティベーションコードは 30 文字の半角英数字です。アルファベットはすべて大文字で、下位 13 文字を入力してください。



アクティベーション（認証）が完了すると、ソフトウェアにアクティベーションコードが登録され、確認のメッセージが表示されます。

同時に「品番」「ランク」「登録可能台数」「使用期限」が、「アクティベーション」タブの画面内に表示されます。

お知らせ

- アクティベーションに失敗する場合は、下記の内容を再度、確認してください。
 - キーコードの登録が行われていない。
 - 同じキーコードですでにアクティベーションが行われている。
 - ボリュームシリアル生成の際に入力したキーコードと、ボリュームシリアルを PASS へ登録する際に入力したキーコードが異なる。
 - 最大登録数を超えている。（登録可能台数を確認し機材を削除してください。）
- 本ソフトウェアのライセンス有効期限は、アクティベーションの完了日から起算して、基本ライセンスの場合は 1 年後、3 年ライセンスの場合は 3 年後になります。継続してお使いの場合は、新たにライセンスをお買い求めいただく必要があります。

- ライセンスランクにより登録できる台数は異なります。

ライセンスランク (通称)	登録可能台数
A (Diamond)	1 ～ 2048 台
B (Emerald)	1 ～ 512 台
C (Sapphire)	1 ～ 256 台
D (Ruby)	1 ～ 128 台
E (Pearl)	1 ～ 64 台
F (Crystal)	1 ～ 32 台

- ライセンスランクを上げる（登録台数を増やす）場合は、延長ライセンスではなく従来よりもランクが上の基本ライセンスまたは 3 年ライセンスをお買い求めのうえ、再度アクティベーションを行ってください。
- ライセンスランクをそのままお使いになる（登録台数は同じ）場合は、同ランクのライセンスをお買い求めのうえ、再度アクティベーションを行ってください。
- ライセンスの有効期限内でライセンスランクを下げる（登録台数を減らす）場合は、従来よりもランクが下の基本ライセンスまたは 3 年ライセンスをお買い求めのうえ、再度アクティベーションを行ってください。なお、ライセンスの有効期限を過ぎた状態では機材の登録情報を削除することはできませんので、あらかじめライセンスの有効期限内に不要な登録情報を削除して、新しいライセンスランクの登録可能台数以下に減らしてください。
- 本ソフトウェアの 90 日の試用期限内、または試用期限を過ぎた状態でも、新しいバージョンのソフトウェアがリリースされた場合は上書きインストールすることができます。その場合、試用期限は新しいバージョンのソフトウェアをインストールしてから 90 日後になります。

3.4 機材設定情報のアップデート

本ソフトウェアを運用中に「詳細情報取得モデル」に分類される新しい機材が発売された場合、その機材に対応した機材設定ファイルを PASS からダウンロードして機材設定情報をアップデートすることで、本ソフトウェアに「詳細情報取得モデル」として登録できるようになります。

お知らせ

- 機材設定情報をアップデートするには、アップデートに用いる機材設定ファイルに対応したソフトウェアバージョンにしておく必要があります。
- 「基本情報取得モデル」に分類される新しい機材を登録する場合、機材設定情報のアップデートは必要ありません。

機材設定ファイルのダウンロード

1. 弊社 WEB サイト ((<https://panasonic.biz/cns/projector/pass/>))、または (<https://panasonic.biz/cns/prodisplays/pass/>)) の PASS にログインします。
 - PASS に会員登録されていない場合は新規会員登録（無料）を行ってください。

2. 画面上の [ダウンロード] のボタンをクリックします。

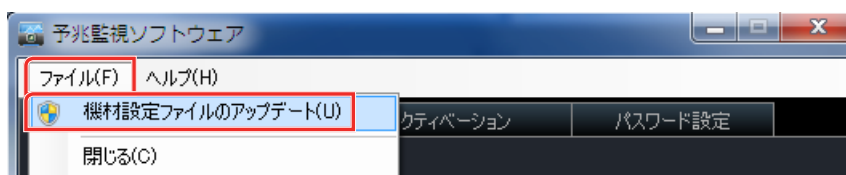
3. ユーティリティソフトウェア→予兆監視ソフトウェア→「機材設定ファイル」→ [設定ファイル] のボタンをクリックします。

機材設定ファイルのダウンロード画面が表示されます。

4. 「ダウンロード」のリンクをクリックし、圧縮形式ファイル「****.ZIP」を任意の場所に保存し、その ZIP ファイルを解凍して機材設定ファイル「****.UPD」を生成します。

機材設定情報をアップデートする

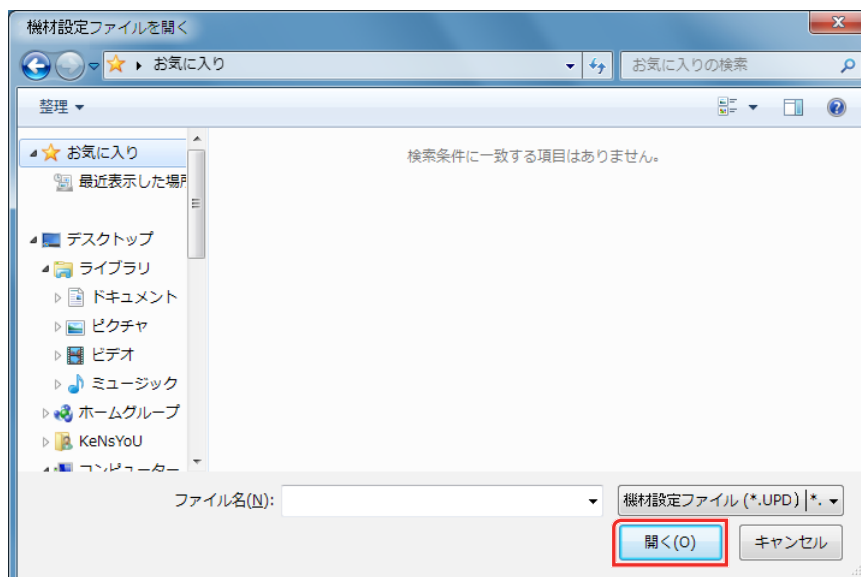
1. 予兆監視ソフトウェアの管理コンソールを起動します。
2. メニューバーの [ファイル] を選択し、[機材設定ファイルのアップデート] をクリックします。



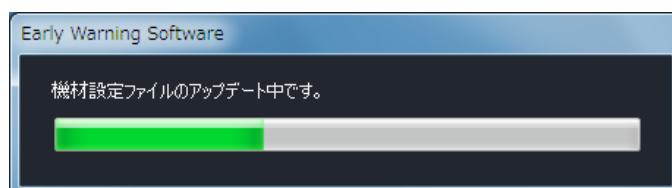
3. ユーザーアカウント制御画面が表示されますので、[はい] ボタンをクリックします。



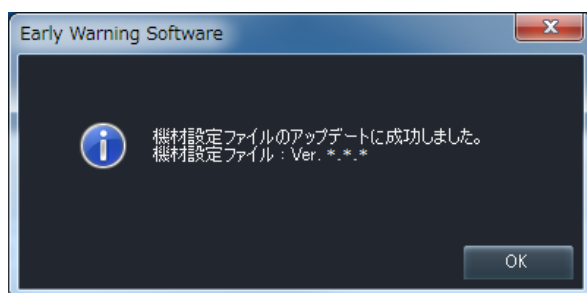
4. PASS からダウンロードした機材設定ファイル「****.UPD」を選択して [開く] ボタンをクリックします。



5. アップデート中はプログレスバーが表示されます。



6. 機材設定情報のアップデートに成功するとダイアログボックスが表示され、機材設定情報のバージョンが表示されます。



お知らせ

- 機材設定情報のバージョンは、ソフトウェアのバージョン確認画面でも確認することができます。(→ 24 ページ)
- 機材設定情報は古いバージョンに戻すことはできません。
- 登録済みの機材の台数が多い場合、機材設定情報のアップデートに時間がかかる場合があります。例えば、搭載メモリーが 2 GB のコンピューターで 513 台以上の機材を登録している場合、アップデート完了までに約 10 分を要する場合があります。
- 「詳細情報取得モデル」に分類される新しい機材を登録する際、その機材に対応した機材設定ファイルを用いて機材設定情報をアップデートしていない場合は、「基本情報取得モデル」として登録されます。
- 「詳細情報取得モデル」に分類されている機材が「基本情報取得モデル」として登録されている場合、その機材に対応した機材設定ファイルを用いて機材設定情報をアップデートすることで「詳細情報取得モデル」として認識されるようになります。
- 機材設定情報をアップデートすることで「基本情報取得モデル」に分類されている機材が「詳細情報取得モデル」として認識されるようになった場合、元の「基本情報取得モデル」に対してお客様が設定したメンテナンス項目やメンテナンス時期の内容は消去され、その機材のデフォルトの設定に置き換えられます。メンテナンス時期の設定については、“7.8 メンテナンス時期の設定を編集する”(→ 77 ページ)をご覧ください。
- 「詳細情報取得モデル」に分類されている機材が「基本情報取得モデル」として登録されている状態で、その機材に対応した機材設定ファイルを用いて機材設定情報をアップデートすると、直後に対象の機材が未接続状態になることがあります。その場合は、“5.4 機材の登録情報を更新する”(→ 46 ページ)をご確認のうえ、該当の機材の登録情報(ユーザー名/パスワード)を設定し直してください。本ソフトウェアに登録されているユーザー名とパスワードが、機材本体に設定されているユーザー名/パスワードと一致しなくなっている可能性があります。

4. クライアント端末の設定と操作

4.1 WEB ブラウザーでログインする

クライアント側の端末で、予兆監視ソフトウェアにログインします。

初めてログインする場合は以下のユーザー名とパスワードでログインします。

- ・ 予兆監視ソフトウェアの管理コンソール画面（[パスワード設定] タブ）の初期ユーザー名：Administrator
- ・ 予兆監視ソフトウェアの管理コンソール画面（[パスワード設定] タブ）で設定したパスワード（→ 25 ページ）

次回以降は、[設定] → [ユーザー管理] で登録したユーザー名とパスワードを入力してください。（→ 103 ページ）

1. クライアント端末で、WEB ブラウザーの URL 入力欄に、「http://xxx.xxx.xxx.xxx/EWS」と入力します。（「xxx.xxx.xxx.xxx」は監視サーバーの IP アドレス）

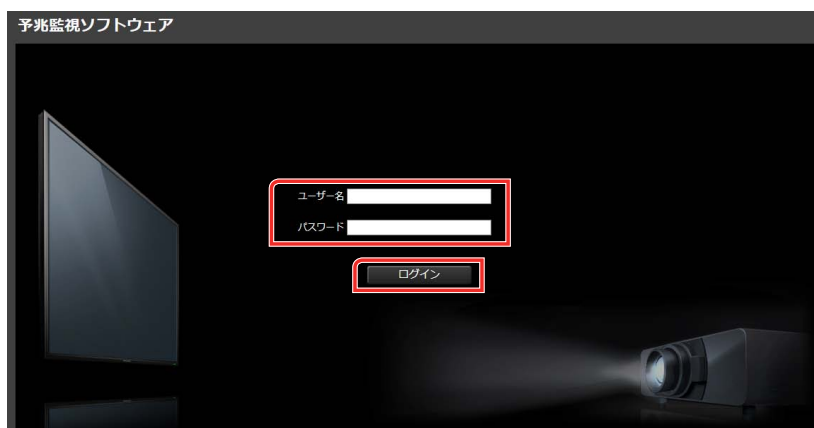
ログイン画面が表示されます。

2. [ユーザー名] を入力します。

- 初期ユーザー名、または [設定] → [ユーザー管理] で登録したユーザー名を入力してください。

3. [パスワード] にパスワードを入力し、[ログイン] ボタンをクリックします。

- 監視サーバーの管理コンソール画面（[パスワード設定] タブ）で設定した初期ユーザーのパスワード、または [設定] → [ユーザー管理] で登録したパスワードを入力してください。



ログイン認証に成功すると、「予兆監視ソフトウェア」の詳細表示画面のステータス画面が表示されます。



お知らせ

- ログイン認証に失敗した場合は、下記のようなエラーメッセージが表示されます。

メッセージ	対処
ユーザー名を入力してください。	ユーザー名が入力されていません。ログインするためのユーザー名を入力してください。
パスワードを入力してください。	パスワードが入力されていません。ログインするためのパスワードを入力してください。
ユーザー名、パスワードが正しいかご確認ください。	ログインするためのユーザー名、パスワードをご確認ください。初めてログインする場合は、監視サーバーの管理コンソールの「パスワード設定」で初期ユーザーのパスワードを設定してください。
ソフトウェアの使用期限が切れています。新しいライセンスをお買い求めください	ソフトウェアの試用期限、もしくは購入されたライセンスの使用期限が過ぎています。新しいライセンスをお買い求めください。
Session time out. Log in again.	[OK] ボタンを押し、ユーザー名とパスワードを入力してログインしてください。

- 「[設定]→[ユーザー管理]でユーザー情報を登録・変更・削除することができます。(→103ページ)
- お客さまのご使用環境によっては、表示動作が遅くなる場合があります。
- 監視サーバーの場合でも、同じ手順でログインすることができます。
- WEB ブラウザーの設定によっては、ソフトウェアをバージョンアップした際に、以前のバージョンで使用していたときの画面が表示される場合があります。その場合は、WEB ブラウザーの一時ファイル（キャッシュデータ）を削除することで画面を更新できます。詳しくは、困ったとき (→110 ページ) の“ソフトウェアをバージョンアップしたとき、WEB ブラウザー画面が更新されない”をご覧ください。

4.2 WEB ブラウザー画面について


ログイン後の WEB ブラウザー画面と共通メニュー

ソフトウェアの名称 メニューボタン

操作画面
メニューに応じて画面が変わります。

製品のライセンスランクと
使用期限 ソフトウェア 機材設定ファイルバージョン
バージョン

メニューボタンから各種画面へ遷移します。

メニュー名	内容
詳細／一覧表示	機材のステータス、エラー・警告状態、メンテナンス時期、機材の履歴情報、温度情報を表示します。
システム履歴	登録されているすべての機材の、過去に発生したエラー・警告・お知らせ案内の内容を確認できます。
制御	登録されている機材の電源の入 / 切と、シャッター機能 / AV ミュート機能のオン / オフを、機材単位またはグループ単位で操作できます。
登録・管理	機材の新規登録、グループの新規作成、機材およびグループの削除・更新を行います。
設定	監視サーバー側の各種設定ができます。ユーザー登録もここで設定します。
	予兆監視ソフトウェアからログアウトします。

5. 機材の登録情報を管理する（管理者権限ユーザーのみ）

ここでの説明は、本ソフトウェアで管理者権限として登録されたユーザーのみが操作できます。

5.1 機材を登録する

ネットワークで接続されている機材を監視対象として登録します。

最大2048台登録可能です(ライセンスランクにより最大登録台数は異なります。→33ページ)。

1. [登録・管理] ボタンをクリックし、[機材新規登録] タブを選択します。

2. 登録する機材に設定されている [IP アドレス]、[ユーザー名]、[パスワード] を入力し、[接続テスト] ボタンをクリックします。

- 「基本情報取得モデル」に分類されている機材の場合、[ユーザー名]を入力していなくても登録できます。
- 「詳細情報取得モデル」に分類されている機材の場合でも、機材に設定されているものとは異なるユーザー名を[ユーザー名]に入力していると、「詳細情報取得モデル」ではなく「基本情報取得モデル」として登録されます。[ユーザー名]、[パスワード]には、登録する機材に設定されているものを正しく入力してください。

接続テストに成功すると、[接続テスト] ボタンの横に「成功」と表示され、[機材名]、[モデル名]、[シリアル番号] が表示されます。

- 「基本情報取得モデル」として登録された機材の場合、シリアル番号の情報を取得できないため、[シリアル番号] は表示されません。
- 「詳細情報取得モデル」として登録された機材でも、シリアル番号の情報を取得できないものがあります。その場合、[シリアル番号] は表示されません。
- 「基本情報取得モデル」に分類されている機材でも、機材名の情報を取得できないものがあります。その場合、[機材名] には次のように表示されます。

例：DZ21K-000-008

モデル名 IP アドレスの第 3/ 第 4 オクテット

3. [メモ 1]、[メモ 2] に機材に関する情報を入力します。

- 必要に応じて入力してください。最大 512 文字入力できます。

4. [登録] ボタンをクリックします。

- 登録を取りやめる場合は、[キャンセル] ボタンをクリックしてください。

登録成功のメッセージが表示されます。

5. [OK] ボタンをクリックします。

登録機材の一覧に、機材名が追加されます。

お知らせ

- 機材登録に失敗した場合は、下記のようなエラーメッセージが表示されます。

メッセージ	対処
IP アドレスを入力してください。	IP アドレスが入力されていません。登録する機材の IP アドレスを入力してください。
IP アドレスが不正です。	登録する機材の IP アドレスを正しく入力してください。
ユーザー名を入力してください。	ユーザー名が入力されていません。登録する機材のユーザー名を入力してください。
パスワードを入力してください。	パスワードが入力されていません。登録する機材のパスワードを入力してください。
IP アドレス、ユーザー名、パスワードが正しいかご確認ください。	登録する機材に設定されている IP アドレス、ユーザー名、パスワードを確認してください。
既に同じ IP アドレスの機材が登録されています。	すでに同じ IP アドレスの機材が登録されています。すでに登録されている機材を削除するか、登録する機材の IP アドレスを変更してください。
未対応の機材です。	本ソフトウェアに対応していない機材です。 本ソフトウェアに対応している機材は弊社 WEB サイト (https://panasonic.biz/cns/projector/pass/)、または (https://panasonic.biz/cns/prodisplays/pass/) のページをご覧ください。
既に同じ機材が登録されています。	すでに登録済みの機材です。
機材との通信でエラーが発生しました。	機材と通信（ネットワーク接続）ができませんでした。ネットワークの接続を確認してください。

- 機材情報の変更やグループ移動は[プロパティ]タブの画面から行うことができます。(→46 ページ)
- 監視サーバーが機材と通信している間は登録できません。しばらく待ってから登録してください。
- 「詳細情報取得モデル」に分類されている機材を登録するときは、管理者権限ユーザー（アドミニストレーター権限）のユーザー名とパスワードを入力してください。
特別な指定がある場合やパスワードを変更した場合を除き、出荷時の設定は、ユーザー名：**admin1**、パスワード：**panasonic**、またはユーザー名：**user1**、パスワード：**panasonic** です。
- 「詳細情報取得モデル」に分類されているフラットパネルディスプレイを登録するときは、[LAN Control Protocol] を [Protocol 2] に設定してください。(→16 ページ)

5.2 機材のグループを作成する

機材をフロア別や機種別などのグループ単位にまとめて管理することができます。
最大 100 のグループを作成できます。

1. [登録・管理] ボタンをクリックし、[グループ新規作成] タブを選択します。



2. [グループ名] を入力します。

- 最大 128 文字入力できます。



3. [メモ] にグループに関する情報を入力します。

- フロア名などの情報を必要に応じて入力してください。最大 512 文字入力できます。

4. [作成] ボタンをクリックします。

- グループの作成を取りやめる場合は、[キャンセル] ボタンをクリックしてください。
成功のメッセージが表示されます。

5. [OK] ボタンをクリックします。

登録機材の一覧にグループが追加されます。



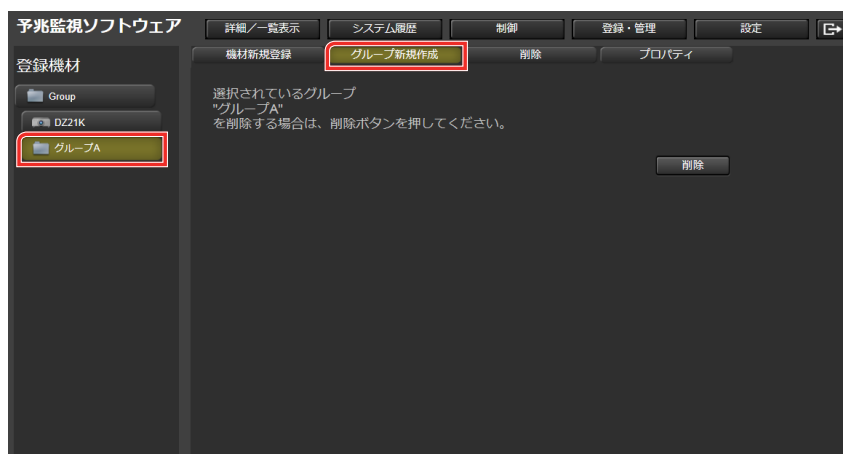
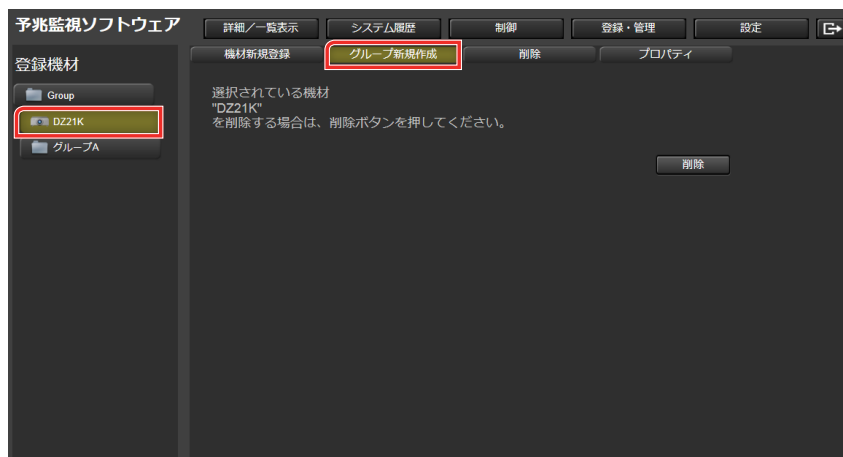
お知らせ

- グループ名に何も入力されていない場合、グループ作成できません。
- グループ名やメモ欄の情報の変更やグループの移動は、登録したグループの「プロパティ」タブの画面で行うことができます。(→ 46 ページ)

5.3 登録した機材、グループを削除する

機材やグループを削除します。

1. [削除] タブの画面で、機材一覧から削除する機材、またはグループを選択します。



2. [削除] ボタンをクリックします。

削除確認のメッセージが表示されます。

3. [OK] ボタンをクリックします。

- 削除を取りやめる場合は、[キャンセル] ボタンをクリックしてください。

選択した機材、またはグループが一覧から削除されます。

お知らせ

- ・複数の機材、グループを一度に選択することはできません。
- ・親グループ [Group] は、削除できません。
- ・選択したグループの下に、グループまたは機材が登録されている場合も、削除できません。事前に削除したいグループ下の登録機材・グループを削除してください。

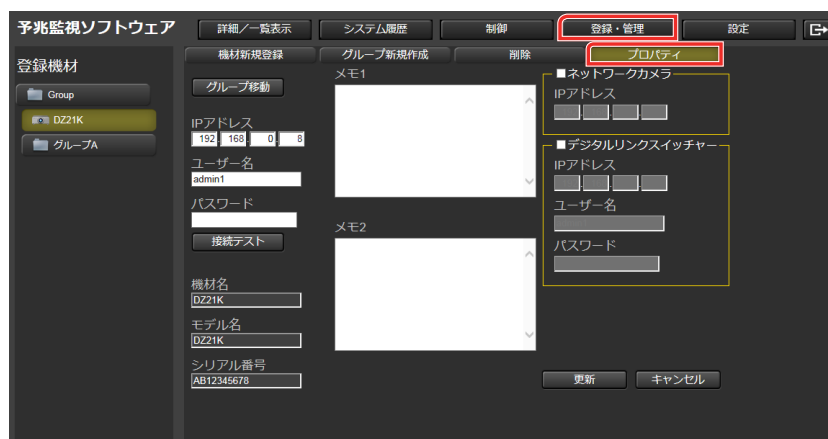
5.4 機材の登録情報を変更する

登録されている機材のプロパティ（登録情報）を変更します。

1. 機材一覧から変更する機材を選択します。

2. [登録・管理] ボタンをクリックし、[プロパティ] タブを選択します。

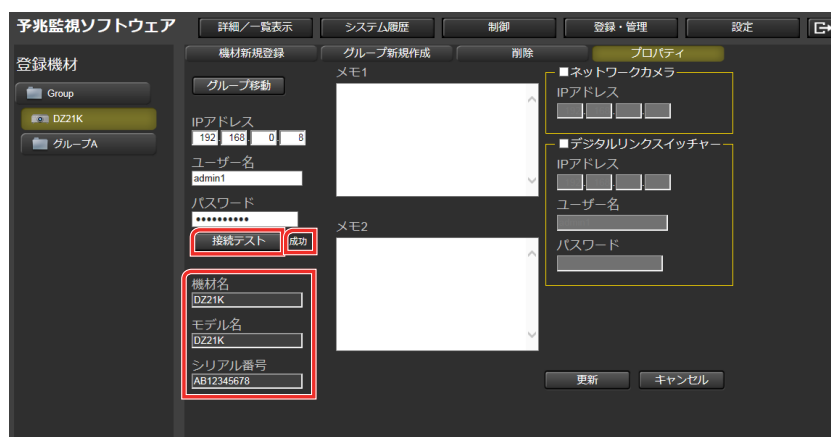
選択した機材の登録情報が表示されます。



3. 登録情報を変更し、[接続テスト] ボタンをクリックします。

- 接続テストは、省略することもできます。

接続テストに成功すると、[接続テスト] ボタンの横に「成功」と表示され、変更した内容に応じて [機材名]、[モデル名]、[シリアル番号] が反映されます。



- 「基本情報取得モデル」として登録された機材の場合、シリアル番号の情報を取得できないため、[シリアル番号] は表示されません。
- 「詳細情報取得モデル」として登録された機材でも、シリアル番号の情報を取得できないものがあります。その場合、[シリアル番号] は表示されません。

- 「基本情報取得モデル」に分類されている機材でも、機材名の情報を取得できないものがあります。その場合、[機材名]には次のように表示されます。

例：DZ21K-000-008

モデル名 IP アドレスの第 3/ 第 4 オクテット

4. [更新] ボタンをクリックします。

- 変更を取りやめる場合は、[キャンセル] ボタンをクリックしてください。
- 確認のメッセージが表示されます。

5. [OK] ボタンをクリックします。

登録情報が更新されます。

お知らせ

- 登録情報の更新に失敗した場合は、下記のようなエラーメッセージが表示されます。

メッセージ	対処
IP アドレスを入力してください。	IP アドレスが入力されていません。登録する機材の IP アドレスを入力してください。
IP アドレスが不正です。	登録する機材の IP アドレスを正しく入力してください。
ユーザー名を入力してください。	ユーザー名が入力されていません。登録する機材のユーザー名を入力してください。
パスワードを入力してください。	パスワードが入力されていません。登録する機材のパスワードを入力してください。
IP アドレス、ユーザー名、パスワードが正しいかご確認ください。	登録する機材に設定されている IP アドレス、ユーザー名、パスワードを確認してください。
既に同じ IP アドレスの機材が登録されています。	すでに同じ IP アドレスの機材が登録されています。すでに登録されている機材を削除するか、登録する機材の IP アドレスを変更してください。
未対応の機材です。	本ソフトウェアに対応していない機材です。 本ソフトウェアに対応している機材は弊社 WEB サイト (https://panasonic.biz/cns/projector/pass/)、または (https://panasonic.biz/cns/prodisplays/pass/) のページをご覧ください。
既に同じ機材が登録されています。	すでに登録済みの機材です。
機材との通信でエラーが発生しました。	機材との通信中にエラーが発生しました。機材の状態を確認してください。
機材と通信ができません。	機材と通信ができませんでした。ネットワークの接続を確認してください。

- 監視サーバーが機材と通信している間は機材の登録情報を変更することができません。

5.5 登録機材を他のグループに移動する

登録機材を他のグループに移動します。

1. 機材の【プロパティ】タブの画面で、【グループ移動】 ボタンをクリックします。



グループを選択する画面が表示されます。

2. 移動先のグループを選択し、【移動】 ボタンをクリックします。

- 移動を取りやめる場合は、【キャンセル】 ボタンをクリックしてください。



確認のメッセージが表示されます。

3. 【OK】 ボタンをクリックします。

機材が選択したグループへ移動されます。

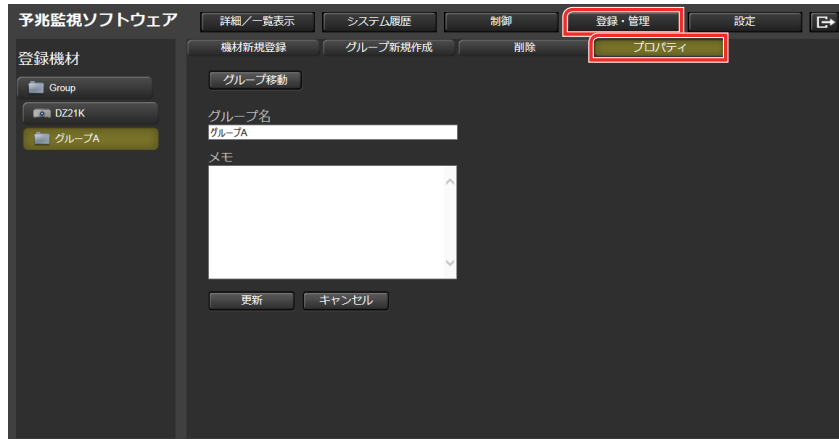
お知らせ

- ・ 監視サーバーが機材と通信している間はグループを移動できません。しばらく待ってから移動してください。

5.6 グループの登録情報を変更する

登録されているグループのプロパティ（登録情報）を変更します。

1. [登録・管理] ボタンをクリックし、[プロパティ] タブを選択します。



2. 機材の一覧から変更するグループを選択します。

選択したグループの登録情報が表示されます。

3. 登録情報を変更し、[更新] ボタンをクリックします。

- 変更を取りやめる場合は、[キャンセル] をクリックしてください。
- 更新結果の確認画面が表示されます。

4. [OK] ボタンをクリックします。

グループの登録情報が変更されます。

お知らせ

- ・グループ名に何も入力されていない場合、グループ登録情報は変更されません。
- ・監視サーバーが機材と通信している間はグループの更新ができません。

6. 周辺機器の登録情報を管理する（管理者権限ユーザーのみ）

ここでの説明は、本ソフトウェアで管理者権限として登録されたユーザーのみが操作できます。

6.1 周辺機器を登録する

ネットワークで接続されている周辺機器（ネットワークカメラやデジタルリンクスイッチャー）を登録します。

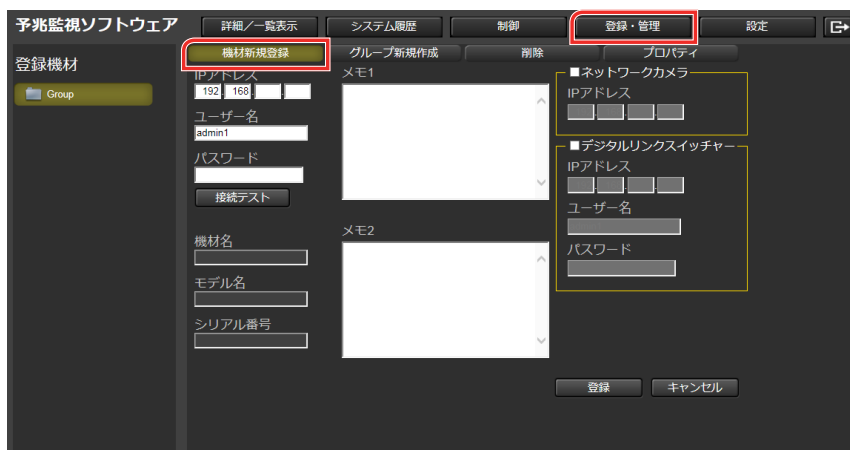
ネットワークカメラは機材（プロジェクターやフラットパネルディスプレイ）に表示されている映像を確認するために登録されている機材にリンクさせて登録することができます。

また、デジタルリンクスイッチャーは機材（プロジェクターやフラットパネルディスプレイ）に接続されているデジタルリンクスイッチャーの入出力状態やファンの状態を確認するために、機材にリンクさせて登録することができます。

周辺機器を登録するには以下の2通りの方法があります。

（新規に登録される機材（プロジェクターやフラットパネルディスプレイ）と同時に周辺機器を登録する場合）

1. [登録・管理] ボタンをクリックし、[新規機材登録] タブを選択します。



2.登録する機材（プロジェクターやフラットパネルディスプレイ）に設定されている [IP アドレス]、[ユーザー名]、[パスワード] を入力し、リンクさせたい周辺機器（ネットワークカメラやデジタルリンクスイッチャー）のチェックボックス（①、③）をチェックし、周辺機器の②、④ [IP アドレス]、⑤ [ユーザー名]、⑥ [パスワード] を入力します。

項目名		解説
①	[ネットワークカメラ] チェックボックス	ネットワークカメラを機材にリンクして登録したいときにチェックします。
②	[IP アドレス] 入力エリア	ネットワークカメラの IP アドレスを入力します。
③	[デジタルリンクスイッチャー] チェックボックス	デジタルリンクスイッチャーを機材にリンクして登録したいときにチェックします。
④	[IP アドレス] 入力エリア	デジタルリンクスイッチャーの IP アドレスを入力します。
⑤	[ユーザー名] 入力エリア	デジタルリンクスイッチャーのユーザー名を入力します。
⑥	[パスワード] 入力エリア	デジタルリンクスイッチャーのパスワードを入力します。
⑦	[登録] ボタン	機材および周辺機器を登録します。

3.[登録] ボタン（⑦）をクリックします。

- 登録を取りやめる場合は、[キャンセル] ボタンをクリックしてください。

登録成功のメッセージが表示されます。

4.[OK] ボタンをクリックします。

機材の登録とともに周辺機器（ネットワークカメラやデジタルリンクスイッチャー）がリンクされます。

(既に登録されている機材にリンクして周辺機器を登録する場合)

1. [登録・管理] ボタンをクリックし、[プロパティ] タブを選択します。



2. リンクさせたい周辺機器（ネットワークカメラやデジタルリンクスイッチャー）のチェックボックス（①、③）をチェックし、周辺機器の②、④ [IP アドレス]、⑤ [ユーザー名]、⑥ [パスワード] を入力し⑦ [更新] ボタンをクリックします。

項目名		解説
①	[ネットワークカメラ] チェックボックス	ネットワークカメラを機材にリンクして登録したいときにチェックします。
②	[IP アドレス] 入力エリア	ネットワークカメラの IP アドレスを入力します。
③	[デジタルリンクスイッチャー] チェックボックス	デジタルリンクスイッチャーを機材にリンクして登録したいときにチェックします。
④	[IP アドレス] 入力エリア	デジタルリンクスイッチャーの IP アドレスを入力します。
⑤	[ユーザー名] 入力エリア	デジタルリンクスイッチャーのユーザー名を入力します。
⑥	[パスワード] 入力エリア	デジタルリンクスイッチャーのパスワードを入力します。
⑦	[更新] ボタン	機材情報および周辺機器情報を更新します。

3. [更新] ボタン（⑦）をクリックします。

- 更新を取りやめる場合は、[キャンセル] ボタンをクリックしてください。

確認のメッセージが表示されます。

4. [OK] ボタンをクリックします。

周辺機器が登録されます。

お知らせ

- リンクさせる機材と本ソフトウェアが正常に通信できる状態のときのみ周辺機器登録ができます。
- 周辺機器の登録時は、各周辺機器の IP アドレスやユーザー名、パスワードが間違っている場合でも、各周辺機器と通信を実施せずに登録が完了しますので、各周辺機器の IP アドレスは事前に確認のうえ、登録してください。ただし、IP アドレスとして明らかに間違っているアドレスを入力した場合はメッセージが表示されます。
- 周辺機器の登録に失敗した場合は、以下のようなメッセージが表示されます。

メッセージ	対処
ネットワークカメラの IP アドレスを入力してください。	ネットワークカメラの IP アドレスが入力されていません。登録するネットワークカメラの IP アドレスを入力してください。
ネットワークカメラの IP アドレスが不正です。	登録するネットワークカメラの IP アドレスを正しく入力してください。
デジタルリンクスイッチャーの IP アドレスを入力してください。	デジタルリンクスイッチャーの IP アドレスが入力されていません。登録するデジタルリンクスイッチャーの IP アドレスを入力してください。
デジタルリンクスイッチャーの IP アドレスが不正です。	登録するデジタルリンクスイッチャーの IP アドレスを正しく入力してください。
デジタルリンクスイッチャーのユーザー名を入力してください。	登録するデジタルリンクスイッチャーのユーザー名が入力されていません。登録するデジタルリンクスイッチャーのユーザー名を入力してください。

- 周辺機器情報の変更は [プロパティ] タブの画面からおこなうことができます。(→ 54 ページ)
- 機材にリンクしないで周辺機器を単独で登録することはできません。
- 機材以上の台数の周辺機器を登録することはできません。
- 複数の機材に同じ周辺機器を登録することも可能です。

6.2 周辺機器の登録情報を変更する

登録されている周辺機器のプロパティ（登録情報）を変更します。

1. 機材一覧から変更する周辺機器がリンクされている機材を選択します。

2. [登録・管理] ボタンをクリックし、[プロパティ] タブを選択します。

選択した機材と周辺機器の登録情報が表示されます。



3. 周辺機器（ネットワークカメラやデジタルリンクスイッチャー）の登録情報（①）を変更し、「更新」ボタン（②）をクリックします。

- 変更を取りやめる場合は、[キャンセル] ボタンをクリックします。

確認のメッセージが表示されます。

4. [OK] ボタンをクリックします。

登録情報が変更されます。

お知らせ

- リンクさせる機材と本ソフトウェアが正常に通信できる状態のときのみ周辺機器の登録情報を変更できます。
- 周辺機器の登録時は、各周辺機器の IP アドレスやユーザー名、パスワードが間違っている場合でも、各周辺機器と通信を実施せずに登録情報の変更が完了しますので、各周辺機器の IP アドレスは事前に確認のうえ、登録してください。ただし、IP アドレスとして明らかに間違っているアドレスを入力した場合はメッセージが表示されます。
- 周辺機器の登録情報の変更に失敗した場合は、以下のようなメッセージが表示されます。

メッセージ	対処
ネットワークカメラの IP アドレスを入力してください。	ネットワークカメラの IP アドレスが入力されていません。登録するネットワークカメラの IP アドレスを入力してください。
ネットワークカメラの IP アドレスが不正です。	登録するネットワークカメラの IP アドレスを正しく入力してください。
デジタルリンクスイッチャーの IP アドレスを入力してください。	デジタルリンクスイッチャーの IP アドレスが入力されていません。登録するデジタルリンクスイッチャーの IP アドレスを入力してください。
デジタルリンクスイッチャーの IP アドレスが不正です。	登録するデジタルリンクスイッチャーの IP アドレスを正しく入力してください。
デジタルリンクスイッチャーのユーザー名を入力してください。	登録するデジタルリンクスイッチャーのユーザー名が入力されていません。登録するデジタルリンクスイッチャーのユーザー名を入力してください。

7. 機材および周辺機器の状態を確認する

登録した機材やその周辺機器の状態を詳細表示画面で確認することができます。



詳細表示画面は、登録機材のツリー表示エリアと、機材ごとの情報表示エリアに分かれています。機材にエラー・警告・お知らせ案内が発生した場合は、ツリー表示エリアにアイコンが表示されます。

お知らせ

- 登録されている機材や周辺機器によって、詳細表示画面に表示される項目や内容が異なります。


7.1 ツリー表示エリアについて

登録されている機材とグループの一覧が表示されます。






機材名をクリックすると、右側の情報表示エリアにその機材の情報が表示されます。



ツリー構成

項目名	解説
① Group	この「Group」をもとにツリーが構成されます。このグループは変更・削除できません。
② 機材	登録されている機材のアイコンと名称を表示します。 機材をクリックすると、画面右側に機材の情報が表示されます。 ・ 機材アイコンは機種によって変わります。 ・ 機材に問題がある場合は、機材名の右側にエラーなどを示す通知アイコンが表示されます。
③ グループ	本ソフトウェアで作成した機材グループのアイコン（ )と名称を表示します。 グループのアイコンをクリックすると、グループ内に登録されている機材を表示・非表示にすることができます。

通知アイコンの意味

アイコン	通知の意味
	機材本体と通信ができない。
	登録した機材と異なる種類の機材が検知されている。
	機材にエラーが発生している。(→ 58 ページ)
	機材に警告が発生している。(→ 58 ページ)
	機材にお知らせ案内がある。(→ 59 ページ)

お知らせ

- ・ 機材、またはグループの名称が表示エリアに入らない場合、名称の後ろに「…」が表示されます。

未読情報表示

システム履歴画面に表示されるエラー／警告／お知らせ案内の通知のうち、未読の件数を表示します。

未読の情報が存在する場合は、[未読情報] ボタンが赤色になり、未読情報の件数が表示されます。



[未読情報] ボタンをクリックすると、システム履歴画面が表示され、未読の通知項目をエラーは赤、警告は黄、お知らせ案内は青の背景色で確認できます。

システム履歴画面で未読の通知項目を既読の状態に変更すると、ツリー表示エリアの未読情報の件数が減ります。(→ 87 ページ)

お知らせ

- ・ ネットワーク接続状態により、未読情報件数が表示されるまで時間がかかる場合があります。

■ 状態通知表示

ツリー表示エリア上部のタブ上に、それぞれの通知ごとの発生数を表示します。
通知が発生しているタブを選択すると、ツリー表示エリアに通知の対象となる機材の一覧が表示されます。

お知らせ

- 通知が発生する検知項目は機材によって異なります。

・エラー

フィルター目詰まりエラー、吸気・排気・光学モジュールなどの各箇所の温度エラー、ランプまたは光源使用时间エラー、ランプまたは光源点灯エラー、FAN エラーなどのエラーを検知し、表示することができます。

[エラー] タブ上に、エラーが発生している機材の台数が表示されます。

[エラー] タブを選択すると、エラーアイコン付きの機材一覧が表示されます。

エラーがない場合は、「0」と表示されます。



・警告

フィルター目詰まり警告、吸気・排気・光学モジュールなどの各箇所の温度警告、ランプまたは光源使用时间警告、LAN 未接続警告などの警告を検知し、表示することができます。

[警告] タブ上に、警告が発生している機材の台数が表示されます。

[警告] タブを選択すると、警告アイコン付きの機材一覧が表示されます。

警告がない場合は、「0」と表示されます。



• お知らせ案内

各部部品の清掃時期、各部部品の交換時期などのお知らせ案内を検知し、表示することができます。

「お知らせ」タブ上に、お知らせ案内がある機材の台数が表示されます。

「お知らせ」タブを選択すると、お知らせアイコン付きの機材一覧が表示されます。

お知らせ案内がない場合は、「0」と表示されます。

お知らせ案内の設定は、「設定」→「お知らせ」で行うことができます。(→ 101 ページ)



7.2 機材および周辺機器のステータスを確認する

1. ツリー表示エリアで機材を選択し、[ステータス] タブを選択します。

選択した機材のステータス（状態）が情報表示エリアに表示されます。



お知らせ

- ・ [更新] ボタンをクリックすると、しばらくして情報表示エリアが最新の状態に更新されます。

ステータス画面



項目名	解説
① 機種名	機材名が表示されます。
② グループ名	機材が登録されているグループ名が表示されます。
③ IP アドレス	機材の IP アドレスが表示されます。
④ モデル名	機材のモデル名が表示されます。
⑤ シリアル番号	機材のシリアル番号が表示されます。
⑥ 電源	機材の電源状態が表示されます。 STANDBY：スタンバイ状態 COOLING：クーリング中 ON：電源オン状態
⑦ 電源オン回数	機材の電源をオンにした回数が表示されます。

項目名	解説
⑧ 光源選択	(プロジェクターのみ) 機材のランプ選択状態が表示されます。 登録機材により表示内容が異なります。 SINGLE DUAL TRIPLE QUAD LIGHT1/2/3 LIGHT1/2/4 LIGHT1/3/4 LIGHT2/3/4 LIGHT1/4 LIGHT2/3 LIGHT1 LIGHT2 LIGHT3 LIGHT4
⑨	光源パワー (プロジェクターのみ) 機材の光源電力(ランプパワー、ランプ出力、光出力)の設定状態が表示されます。 登録機材により表示内容が異なります。
	運用モード (プロジェクターのみ) 機材の運用モードの設定状態が表示されます。登録機材により表示内容が異なります。 機材の輝度コントロール機能が有効になっている場合、運用モードの設定状態は表示されません。
	消費電力低減設定 (フラットパネルディスプレイのみ) 機材の消費電力低減設定の状態が表示されます。 オフ オン センサー
	ロングライフモード (フラットパネルディスプレイのみ) 機材のロングライフモードの設定状態が表示されます。 オフ オン 1 オン 2
⑩	シャッター 機材のシャッター状態または AV ミュート状態が表示されます。 OFF ON (シャッター「閉」状態、および映像と音声ともミュート状態の場合のみ)
⑪	入力選択 機材の入力選択状態が表示されます。
⑫	入力信号名 機材の入力信号名が表示されます。

項目名		解説
⑬	信号周波数	<p>機材の信号周波数が表示されます。</p> <p>フラットパネルディスプレイの場合、無信号状態が継続して警告・エラーが発生した時は赤色で表示します。ただし、USB 入力に対応したフラットパネルディスプレイにおいて、次の事象に当てはまる場合は無信号状態の警告やエラー検出ができません。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ USB 入力選択中に、USB メモリーが USB 端子に挿入されていない ・ USB 入力選択中に、USB メモリー内に再生できないファイルが保存されている
⑭	メイン Ver.	機材のメインマイコンのバージョンが表示されます。
⑮	ネットワーク Ver.	機材のネットワークマイコンのバージョンが表示されます。
⑯	使用時間	<p>機材の過去 30 日分の使用時間が、1 日単位でグラフ表示されます。</p> <p>機材が登録された初日および機材を使用していない日はグラフ表示されません。</p> <p>「基本情報取得モデル」の場合、光源使用時間を機材の使用時間として扱います。</p> <p>「基本情報取得モデル」によっては光源使用時間が換算時間となるため、実際の機材の使用時間よりも少ない場合があります。また、光源使用時間の情報を取得できない「基本情報取得モデル」の場合、グラフ表示できません。</p>
⑰	WEB 制御	<p>機材に接続するためのログイン画面が表示されます。該当機材に設定されているユーザー名とパスワードを入力すると、その機材の WEB 制御画面が表示されます。</p> <p>「基本情報取得モデル」や WEB 制御に対応していない機材については、ログイン画面、WEB 制御画面は表示されません。</p>
⑱	温度	<p>機材内部の温度状態が、温度計と、摂氏 (°C) と華氏 (°F) の数値で表示されます。</p> <p>プロジェクターの場合、吸気温度、光学モジュール温度、ランプまたは光源周辺温度などが表示されます。数値を表す文字は、警告温度に達すると白色からオレンジ色に変わり、さらに温度が上昇すると赤色に変わって該当の機材がシャットダウンします。</p> <p>フラットパネルディスプレイの場合、内部温度、パネル温度、吸気温度、排気温度などが表示されます。数値を表す文字は、警告温度に達すると白色からオレンジ色に変わり、さらに温度が上昇すると赤色に変わってエラーメッセージが表示されますので、直ちに処置を行ってください。処置をせずに温度が上昇し続けた場合、該当の機材がシャットダウンします。なお、表示される温度の項目は機材によって異なります。</p>
⑲	光源状態	<p>(プロジェクターのみ)</p> <p>ランプの点灯状態と使用時間がインジケータで表示されます。</p> <p>ランプの使用時間がお知らせ設定画面で設定した時期に達した場合はインジケータはオレンジ色で、ランプの交換警告時期に達した場合は赤色で表示されます。</p> <p>ランプパワーまたはランプ出力を ECO や低などに設定できるプロジェクターの場合、光源使用時間は、ランプパワーまたはランプ出力をノーマルまたは高に設定して使用し続けたものとして換算した時間が表示されます。</p>
⑳	ACF 残量	<p>(プロジェクターのみ)</p> <p>ACF の残量が % 表示されます。残り時間が 200 時間に達した場合はインジケータがオレンジ色で表示されます。</p>

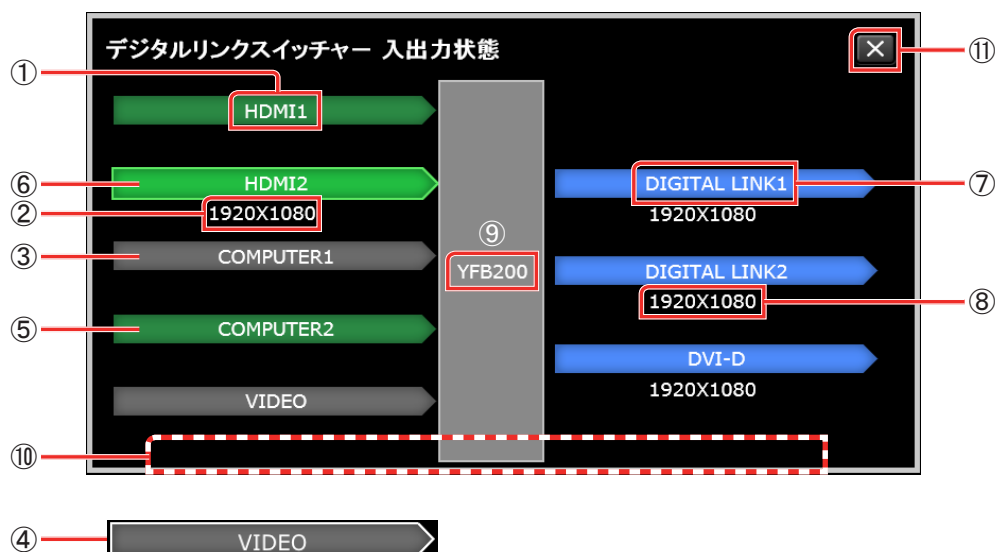
項目名		解説
②①	ファン状態	機材に搭載されているファンの名称と、その状態がメーター表示されます。 プロジェクターの場合、ファンの回転数が低下して正常な回転数を維持できなくなると、メーターの針の部分が白色から赤色に変わり、「正常」の表示が「異常」に変わります。 フラットパネルディスプレイの場合、内部の温度が上昇してファンの回転数が通常状態より上がると、メーターの針の部分がオレンジ色に変わり、「正常」の表示が「注意」に変わります。また、故障によりファンの回転が停止すると、メーターの針の部分が白色から赤色に変わり、表示が「異常」に変わります。表示されるメーターの数は機材によって異なります。
②②	AC 電圧	(プロジェクターのみ) 機材に入力されている AC 電源電圧が表示されます。
②③	周辺機器連携	ステータス画面に表示されている機材にリンクして登録されているネットワークカメラのライブ映像が表示されます。 ネットワークカメラの映像は 3 秒間隔で更新されます。
②④	[DIGITAL LINK] ボタン	[周辺機器連携] タブがクリックされたときにボタンが表示されます。 ステータス画面に表示されている機材にリンクしてデジタルリンクスイッチャーが登録されているとき有効になります。デジタルリンクスイッチャーの入出力状態や搭載されているファンの状態が表示されます。
②⑤	[カメラ WEB] ボタン	[周辺機器連携] タブがクリックされたときにボタンが表示されます。 ステータス画面に表示されている機材にリンクしてネットワークカメラが登録されているとき有効になります。 ネットワークカメラの WEB 画面が表示されます。

お知らせ

- ステータス画面に表示される項目および内容は、機材によって異なります。
- ネットワークカメラの映像は、ネットワークカメラのネットワーク設定が、監視サーバーおよびクライアント端末と同一ネットワーク内に設定されているときに表示することができます。
- ネットワークカメラのネットワーク設定を、認証「あり」に設定している場合は、カメラの認証を実施しないとネットワークカメラの映像を表示することができません。
- ネットワークカメラのネットワーク設定や認証設定は、カメラによって異なります。それぞれのネットワークカメラの取扱説明書を参照のうえ設定してください。
- ネットワークカメラの映像は、特定のディスプレイ映像を対象に監視を行うことを目的に使用するものであり犯罪などを防止するものではありません。
- ネットワークカメラの映像で、被写体となった個人または団体などのプライバシー侵害などが発生しないよう、お客様の責任の下、十分ご配慮ください。
- プロジェクターの種類によっては、ネットワークカメラの映像が鮮明に撮像されない場合があります。
- ネットワークカメラに接続できるクライアント端末の数は最大 14 までです。
- 推奨するネットワークカメラについては、弊社 WEB サイト (<https://panasonic.biz/cns/projector/products/swa100/>) または (<https://panasonic.biz/cns/prodisplays/products/swa100/>) をご覧ください。
- ネットワークカメラによっては、iOS (Safari) で機材の WEB 制御画面が正常に表示されなくなる場合があります。
- Android (Chrome) をお使いの場合はネットワークカメラ画像表示機能が利用できません。

■ 周辺機器のステータス画面－デジタルリンクスイッチャーの入出力状態

機材のステータス画面で [DIGITAL LINK] ボタンをクリックすると以下の画面が表示されます。



項目名		解説
入力信号状態		
①	入力端子名	デジタルリンクスイッチャーの入力端子の名称が表示されます。
②	入力映像信号名	入力されている映像信号名称が表示されます。
③	映像入力信号なし状態 (入力として選択されていない状態)	映像入力選択されておらず、映像信号も入力されていない状態です。
④	映像入力信号なし (入力として選択されている状態)	映像入力選択されていますが、映像信号が入力されていない状態です。
⑤	映像入力信号あり (入力として選択されていない状態)	映像入力選択されていませんが、映像信号は入力されている状態です。
⑥	映像入力信号あり (入力として選択されている状態)	映像入力選択されており、映像信号も入力されている状態です。信号名称も表示します。
出力信号状態		
⑦	出力端子名	デジタルリンクスイッチャーの出力端子の名称が表示されます。
⑧	出力映像信号名	出力されている映像信号名称が表示されます。
その他		
⑨	機材名	機器名称を表示します。
⑩	メッセージ表示エリア	デジタルリンクスイッチャーのファンの状態やその他お知らせがあるときに表示するエリアです。
⑪	閉じるボタン	本ステータス画面を閉じて機材のステータス画面に戻ります。

お知らせ

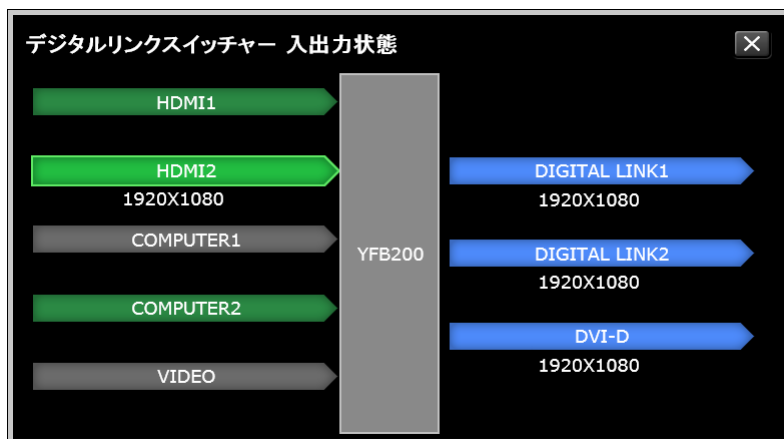
- デジタルリンクスイッチャーの設定によっては、メッセージ表示エリアに、下記のようなメッセージが表示されます。

デジタルリンクスイッチャーの設定	メッセージ
クローズドキャプションの設定が「オン」	クローズドキャプションがオンのため、VIDEO 入力状態が正確に表示されていない場合があります。
COMPUTER1 端子の [INPUT SETTING] が「Y/C」	COMPUTER1 入力設定が Y/C のため、VIDEO 入力もしくは COMPUTER1 入力状態が正確に表示されていない場合があります。
クローズドキャプションの設定が「オン」かつ COMPUTER1 端子の [INPUT SETTING] が Y/C	クローズドキャプションがオン、COMPUTER1 入力設定が Y/C のため VIDEO 入力、もしくは COMPUTER1 入力状態が正確に表示されていない場合があります。

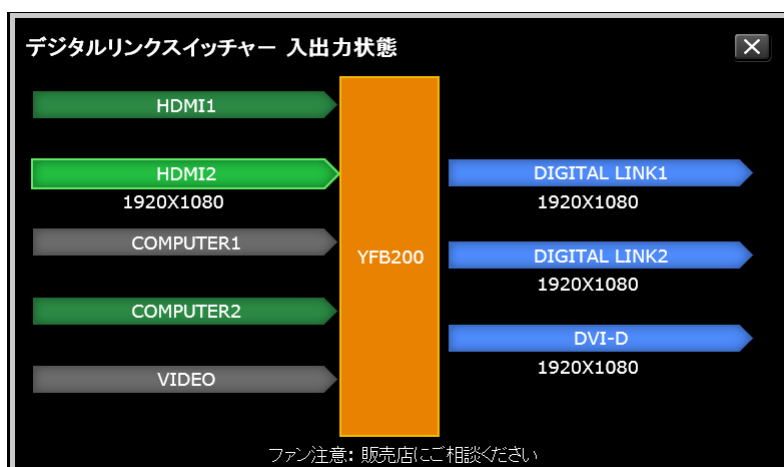
- デジタルリンクスイッチャーの入出力状態を再度取得したい場合は、⑪閉じるボタンをクリックして、再度本ステータス画面を表示しなおしてください。

■ 周辺機器のステータス画面－デジタルリンクスイッチャーのファンの状態表示

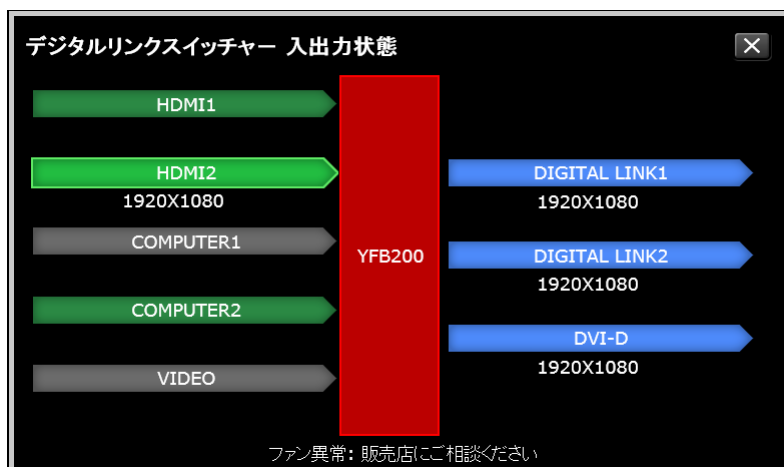
デジタルリンクスイッチャーに搭載されているファンの回転が不安定あるいは停止しているときのファンの状態を、デジタルリンクスイッチャーの BOX の色と、メッセージを表示してお知らせします。



ファンに問題がないときの状態表示（BOX 部分がグレー色）



ファンの回数数が不安定の状態表示（BOX 部分がオレンジ色）



ファンが停止している時の状態表示（BOX 部分が赤色）

7.3 登録されている機材を一覧表示する





1. 詳細表示画面で「詳細／一覧表示」ボタンをクリックします。

登録されている機材の一覧が表示されます。

「更新」ボタンをクリックすると、機材の情報が最新の状態に更新されます。

各機材の行をクリックすると、各機材のステータス画面が表示されます。(→ 60 ページ)



項目名		解説
①	グループ名	機材のグループ名が表示されます。
②	機材名	機材名が表示されます。
③	IP アドレス	機材の IP アドレスが表示されます。
④	モデル名	機材のモデル名が表示されます。
⑤	シリアル番号	機材のシリアル番号が表示されます。
⑥	状態	機材からの通知（エラー・警告・お知らせ案内）の内容をアイコンで表示します。
⑦	電源	機材の電源状態を表示します。  ：スタンバイ状態  ：電源オン状態  ：クーリング中  ：機材情報未取得
⑧	メイン Ver.	機材のメインマイコンのバージョンが表示されます。
⑨	メモ 1	機材登録情報の「メモ 1」が表示されます。
⑩	メモ 2	機材登録情報の「メモ 2」が表示されます。

7.4 機材管理情報を保存する

登録されているすべての機材の管理情報を CSV 形式のファイルで保存します。

1. 詳細表示画面で「詳細／一覧表示」ボタンをクリックします。

登録されている機材の一覧が表示されます。

「一覧情報保存」ボタンをクリックすると、登録されているすべての機材の管理情報が、CSV ファイルを圧縮した状態で保存されます。



保存データ例

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
1	アプリケーション名	Early Warning Software								
2	バージョン情報	Ver.2.4.0								
3	保存日時	2016/1/22 11:18								
4										
5	レポートタイトル	機材管理情報								
6										
7		グループ名	機材名	IPアドレス	モデル名	シリアル番号	セット 使用時間	メインVer.	メモ1	メモ2
8		1 2棟1階	DZ21K	192.168.10.1	DZ12000-TEST	SHB330006	1200	1.01	Conference RoomB	Purcahe:05/17/2014
9		2 2棟1階	DZ21K	192.168.10.2	DZ12000-TEST2	SHB330007	115	1.01	Conference RoomA	Purcahe:05/17/2014
10		3 2棟2階	DZ6700	192.168.10.3	D67-001	AB1234567	210	1.03	Study RoomA	Purcahe:05/17/2014
11		4 2棟2階	DW6300	192.168.10.4	DW63-001	AB1234568	350	1.02	Study RoomA	Purcahe:05/17/2014
12		5 2棟3階	EZ570	192.168.10.5	EZ570-001	SH115001	4570	1.02	Study RoomB	Purcahe:05/17/2014
13		6 2棟3階	EZ570	192.168.10.6	EZ570-002	AB1234567	1234	1.02	Study RoomB	Purcahe:05/17/2014
14		7 3棟1階	FW430	192.168.10.7	FW43-001	AB1234568	1547	1.01	Study RoomC	Purcahe:05/17/2014
15		8 3棟1階	FX400	192.168.10.8	FX-TEST	AB1234569	552	1.01	Study RoomC	Purcahe:05/17/2014
16		9 3棟2階	F300NT	192.168.10.9	F300-01	AB1234570	554	1.03	Cafe-LEFT	Purcahe:05/17/2014
17		10 3棟3階	F300NT	192.168.10.10	F300-02	AB1234571	122	1.04	Cafe-RIGHT	Purcahe:05/17/2014

お知らせ

- 「一覧情報保存」ボタンは、WEB ブラウザーが Internet Explorer または Microsoft Edge の場合に使用できます。タブレット (iPad) で閲覧した場合は「一覧表示保存」ボタンが無効となり、クリックできません。

7.5 メンテナンスレポートを表示・保存する

登録されている機材のメンテナンス情報を、表示したい項目・期間・回数などを設定したうえで、表示または保存します。

お知らせ

- ・[基本情報取得モデル] のメンテナンスレポートを表示または保存するには、あらかじめ該当機材のメンテナンス部品を設定しておく必要があります。詳しくは、“7.8 メンテナンス時期の設定を編集する”（→ 77 ページ）をご覧ください。

1. 詳細表示画面で【詳細／一覧表示】 ボタンをクリックします。

登録されている機材の一覧が表示されます。

[メンテナンスレポート] ボタンをクリックすると、レポート内容設定画面が表示されます。

グループ名	機材名	IPアドレス	モデル名	シリアル番号	状態	電源	メインVer.	メモ1	メモ2
Group	D12000-TEST	*** **	D12000	SH8330006		—	1.01		
Group	DZ13K	*** **	DZ13K	AB7654321		⚡	1.02	ABC	123
Group	F300NT	*** **	F300NT	SC8560025		—	1.01		
Group	Name0815	*** **	FW430	SC1320007		🔋	1.02	DEF	456

At the bottom right, the 'メンテナンスレポート' (Maintenance Report) button is highlighted with a red box.

2. メンテナンスレポートに出力したい項目のチェックボックス（①～⑤）をチェックします。

① ☒ 消耗品交換レポート ⑥ 10日以内

② ☒ 各部清掃レポート ⑦ 10日以内

③ ☒ 部品交換レポート ⑧ 10日以内

④ ☒ エラー発生回数レポート ⑨ 10回以上

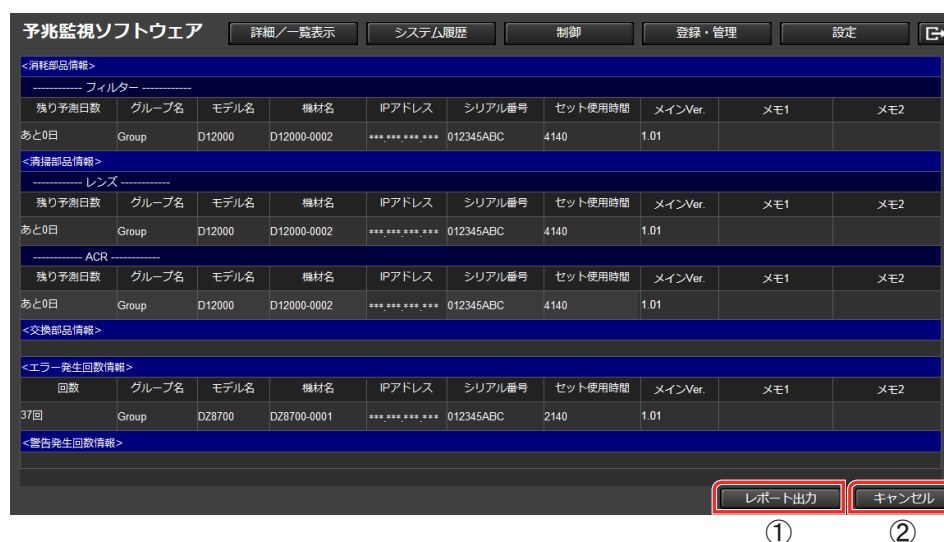
⑤ ☒ 警告発生回数レポート ⑩ 10回以上

⑧ レポート表示 ⑨ キャンセル

項目名		解説
①	〔消耗品交換レポート〕 チェックボックス	登録されている機材の消耗品交換時期をレポートに表示したいときにチェックします。
②	〔各部清掃レポート〕 チェックボックス	登録されている機材の各部清掃時期をレポートに表示したいときにチェックします。
③	〔部品交換レポート〕 チェックボックス	登録されている機材の部品交換時期をレポートに表示したいときにチェックします。
④	〔エラー発生回数レポート〕 チェックボックス	⑦で設定した回数以上のエラーが発生している機材を抽出してレポートに表示したいときにチェックします。
⑤	〔警告発生回数レポート〕 チェックボックス	⑦で設定した回数以上の警告が発生している機材を抽出してレポートに表示したいときにチェックします。
⑥	交換・清掃時期設定プルダウンメニュー	①、②、③の各レポート表示項目について、何日以内に交換または清掃時期になる機材をレポートに表示するのかを、プルダウンメニュー（10日 / 20日 / 30日 / 60日 / 90日）から選択します。
⑦	エラー・警告発生回数設定プルダウンメニュー	④、⑤の各抽出項目について、何回以上エラーまたは警告があった機材をレポートに表示するのかを、プルダウンメニュー（10回 / 30回 / 50回 / 100回）から選択します。
⑧	〔レポート表示〕 ボタン	①～⑦で設定した内容に従い、レポートを表示します。
⑨	〔キャンセル〕 ボタン	機材の一覧表示画面に戻ります。

3.〔レポート表示〕 ボタン（⑧）をクリックします。

メンテナンスレポートが表示されます。



項目名		解説
①	〔レポート出力〕 ボタン	レポートに表示されている内容を保存します。
②	〔キャンセル〕 ボタン	レポート内容設定画面に戻ります。

4. [レポート出力] ボタン (①) をクリックします。

メンテナンスレポートが CSV ファイルを圧縮した状態で保存されます。

保存データ例

```
アプリケーション名,Early Warning Software
バージョン情報,Ver.*.*.*
保存日時,2013/12/17 20:18

< 消耗部品情報 >
----- ランプ 1 -----
残り予測日数,グループ名,モデル名,機材名,IP アドレス,シリアル番号,セット使用時間,メイン Ver.,メモ 1,メモ 2,...
あと 10 日,Group,DZ13K,DZ13K-001,*,*,*,*,*,012345ABC,2240,1.02,,,2100,200

< 清掃部品情報 >
----- フィルター -----
残り予測日数,グループ名,モデル名,機材名,IP アドレス,シリアル番号,セット使用時間,メイン Ver.,メモ 1,メモ 2
あと 10 日,Group,DZ13K,DZ13K-001,*,*,*,*,*,012345ABC,1.02

< 交換部品情報 >
----- 排気 (R) ファン -----
残り予測日数,グループ名,モデル名,機材名,IP アドレス,シリアル番号,セット使用時間,メイン Ver.,メモ 1,メモ 2
あと 30 日,Group,DZ13K,DZ13K-001,*,*,*,*,*,012345ABC,2240,1.02

< エラー発生回数情報 >
回数,グループ名,モデル名,機材名,IP アドレス,シリアル番号,セット使用時間,メイン Ver.,メモ 1,メモ 2
123 回,Group,DZ13K,DZ13K-001,*,*,*,*,*,012345ABC,2240,1.02

< 警告発生回数情報 >
回数,グループ名,モデル名,機材名,IP アドレス,シリアル番号,セット使用時間,メイン Ver.,メモ 1,メモ 2
52 回,Group,DZ13K,DZ13K-001,*,*,*,*,*,012345ABC,2240,1.02
```

お知らせ

- [レポート出力] ボタンは、WEB ブラウザーが Internet Explorer または Microsoft Edge の場合に使用できます。
タブレット (iPad) で閲覧した場合は [レポート出力] ボタンが無効となり、クリックできません。

7.6 エラー・警告・お知らせ内容を表示する

機材からの通知（エラー・警告・お知らせ案内）が発生した場合、詳細情報と対処方法を表示します。

1. [詳細 / 一覧表示] ボタンをクリックし、機材一覧から通知が発生している機材を選択します。

2. [エラー・警告] タブを選択します。

機材のエラー・警告・お知らせの内容詳細と対処方法が表示されます。

記載されている内容に従って、対処してください。

エラー・警告画面



項目名		解説
①	グループ名	機材のグループ名が表示されます。
②	機材名	機材名が表示されます。
③	IP アドレス	機材の IP アドレスが表示されます。
④	モデル名	機材のモデル名が表示されます。
⑤	シリアル番号	機材のシリアル番号が表示されます。
⑥	状態アイコン	機材からの通知（エラー・警告・お知らせ案内）の内容をアイコンで表示します。
⑦	詳細	エラー・警告・お知らせ案内の内容が表示されます。
⑧	処置	エラー・警告・お知らせ案内に対する対処方法が表示されます。

7.7 メンテナンス時期を確認する

登録されている機材の運用状況を記録し、それぞれの運用時間を予測して、将来発生する消耗品交換／各部清掃／部品交換のおおよその時期を通知します。

お知らせ

- ・[基本情報取得モデル] のメンテナンス時期を確認するには、あらかじめ該当機材のメンテナンス部品を設定しておく必要があります。詳しくは、“7.8 メンテナンス時期の設定を編集する”（→ 77 ページ）をご覧ください。

1. [詳細 / 一覧表示] ボタンをクリックし、機材一覧からメンテナンス時期を確認する機材を選択します。

2. [メンテナンス時期] タブを選択します。

メンテナンス時期の詳細情報が表示されます。

メンテナンス時期画面

① 1日の平均使用時間 10 H

② 消耗品交換

③ フィルター

④ 光源1 1600 H

⑤ 光源2 1600 H

⑥ 光源3 1600 H

⑦ 光源4 1600 H

⑧ あと 950 日

⑨ あと 20 日

⑩ あと 20 日

⑪ あと 20 日

⑫ リセット

⑬ 各部清掃

⑭ レンズ

⑮ フィルター

⑯ 吸気口

⑰ あと 0 日

⑱ あと 100 日

⑲ あと 0 日

⑳ リセット

㉑ リセット

㉒ 全てリセット

㉓ 部品交換

㉔ DMDブロッククリーニング

㉕ 電源ユニット

㉖ バラストユニット

㉗ あと 100 日

㉘ あと 950 日

㉙ あと 950 日

㉚ リセット

㉛ リセット

㉜ リセット

項目名		解説
①	1 日の平均使用時間	過去の機材の使用時間から 1 日当たりの平均使用時間が算出され表示されます。平均時間を算出するためには、最低 7 稼働日分のデータが必要です。必要な稼働日分の使用時間データが蓄積できていない場合は、「---」が表示されます。
②	消耗品交換	消耗品のメンテナンス時期情報が表示されます。

項目名		解説
③	部品名	<p>消耗品の部品名と使用時間グラフが表示されます。 部品の状態はグラフの色で表示されます。 緑：正常（設定されたお知らせ残り日数までに猶予があります。） 橙：お知らせ案内あり（設定されたお知らせ残り日数に達しました。）（→ 101 ページ） 赤：警告発生（消耗品交換、各部清掃、部品交換時期に達しました。）</p>
④	使用時間	<p>消耗品部品ごとの使用時間が表示されます。 ランプパワーまたはランプ出力を ECO や低などに設定できるプロジェクターの場合、光源使用時間は、ランプパワーまたはランプ出力をノーマルまたは高に設定して使用し続けたものとして換算した時間が表示されます。</p>
⑤	交換時期予測	<p>消耗品交換時期までの残り日数が予測表示されます。 警告発生残り日数を表示するためには、最低 7 稼働日分のデータが必要です。 必要な稼働日分の使用時間データが蓄積できていない場合は、「---」が表示されます。</p>
⑥	[リセット] ボタン	<p>消耗品部品ごとの使用時間をリセットします。[リセット] ボタンをクリックすると、確認メッセージが表示されます。[OK] ボタンをクリックするとリセット処理を行います。処理完了後、グラフと消耗品交換時期予測日数が初期化されます。 リセット処理を取りやめる場合は、[キャンセル] ボタンをクリックしてください。</p>
⑦	各部清掃	<p>清掃が必要な部品のメンテナンス時期情報が表示されます。</p>
⑧	部品名	<p>清掃が必要な部品名と使用時間グラフが表示されます。 部品の状態はグラフの色で識別できます。 緑：正常 橙：お知らせ案内あり 赤：警告発生</p>
⑨	清掃時期予測	<p>清掃部品の清掃時期までの残り日数が予測表示されます。 警告発生残り日数を表示するには最低 7 稼働日分のデータが必要です。 必要な稼働日分の使用時間データが蓄積できていない場合は、「---」が表示されます。（→ 101 ページ）</p>
⑩	[リセット] ボタン	<p>清掃部品ごとの使用時間をリセットします。 [リセット] ボタンをクリックすると、確認メッセージが表示されます。[OK] ボタンをクリックするとリセット処理を行います。処理完了後、グラフと清掃時期予測日数が初期化されます。 リセット処理を取りやめる場合は、[キャンセル] ボタンをクリックしてください。</p>
⑪	[全てリセット] ボタン	<p>清掃部品すべての使用時間をリセットします。 [リセット] をクリックすると、確認メッセージが表示されます。[OK] ボタンをクリックするとリセット処理を行います。処理完了後、グラフと清掃時期予測日数が初期化されます。 リセット処理を取りやめる場合は、[キャンセル] ボタンをクリックしてください。</p>
⑫	部品交換	<p>交換が必要な部品のメンテナンス時期情報が表示されます。</p>

項目名		解説
⑬	部品名	交換が必要な部品名と使用時間グラフが表示されます。 部品の状態はグラフの色で識別できます。 緑：正常 橙：お知らせ案内あり 赤：警告発生
⑭	交換時期予測	部品の交換時期までの残り日数が予測表示されます。 警告発生残り日数を表示するには最低 7 稼働日分のデータが必要です。 必要な稼働日分の使用時間データが蓄積できていない場合は、「---」が表示されます。(→ 101 ページ)
⑮	[リセット] ボタン	交換部品ごとの使用時間をリセットします。 [リセット] ボタンをクリックすると、確認メッセージが表示されます。[OK] ボタンをクリックすると、リセット処理を行います。処理完了後、グラフと部品交換時期予測日数が初期化されます。 リセット処理を取りやめる場合は、[キャンセル] ボタンをクリックしてください。
⑯	[全てリセット] ボタン	交換部品全ての使用時間をリセットします。 [リセット] ボタンをクリックすると、確認メッセージが表示されます。[OK] ボタンをクリックするとリセット処理を行います。処理完了後、グラフと部品交換時期予測日数が初期化されます。 リセット処理を取りやめる場合は、[キャンセル] ボタンをクリックしてください。

お知らせ

- 本機能はお客様の使用状況をもとに交換時期や清掃時期を予測していますので、あくまで目安としてご使用ください。

7.8 メンテナンス時期の設定を編集する

登録されている機材の消耗品交換／各部清掃／部品交換までの期間（メンテナンス時期）を設定します。

各種メンテナンス項目のメンテナンス時期を設定すると、機材の使用時間に連動して各メンテナンス項目の時間経過がグラフ（緑色）で表示されます。メンテナンス時期に到達すると、該当の棒グラフが赤色で表示され、およその交換時期または清掃時期に到達したことをお知らせ案内としてツリー表示エリアで通知します。

1. [詳細 / 一覧表示] ボタンをクリックし、機材一覧からメンテナンス時期を編集する機材を選択します。

2. [メンテナンス時期] タブをクリックします。

メンテナンス時期の詳細情報が表示されます。

- ・メンテナンス時期画面

詳細 / 一覧表示 システム履歴 制御 登録・管理 設定

ステータス エラー・警告 **メンテナンス時期** 履歴 温度情報 WEB制御 更新

1日の平均使用時間 H **メンテナンス時期編集**

消耗品交換

項目	経過	あと	リセット
フィルター	<div></div>	950 日	リセット
光源1	<div></div>	1600 H	あと 20 日
光源2	<div></div>	1600 H	あと 20 日
光源3	<div></div>	1600 H	あと 20 日
光源4	<div></div>	1600 H	あと 20 日

各部清掃

項目	経過	あと	リセット
レンズ	<div></div>	0 日	リセット
フィルター	<div></div>	100 日	リセット
吸気口	<div></div>	0 日	リセット

部品交換

項目	経過	あと	リセット
DMDブロッククリーニング	<div></div>	100 日	リセット
電源ユニット	<div></div>	950 日	リセット
バラストユニット	<div></div>	950 日	リセット

3. [メンテナンス時期編集] ボタンをクリックします。

メンテナンス時期編集画面が表示されます。

メンテナンス時期編集画面は、「詳細情報取得モデル」のものと「基本情報取得モデル」のものとで異なります。

メンテナンス項目がない機材を選択している場合は、[メンテナンス時期編修画面] が表示された時に編集項目は表示されません。

■ 「詳細情報取得モデル」 の場合

「詳細情報取得モデル」として登録されている場合は、その機材に応じたメンテナンス項目とそのメンテナンス時期が表示されます。メンテナンス時期を変更したい場合は、好みのメンテナンス時期を設定してください。

表示されるメンテナンス項目とメンテナンス時期の既定値は、機材によって異なります。

項目名	メンテナンス時期 (H)
フィルター	17000
光源1	1800
光源2	1800
光源3	1800
光源4	1800
レンズ	1500
フィルター	8500
吸気口	1500
DMDブロッククリーニング	8500
電源ユニット	17000

項目名		解説
①	メンテナンス時期	各種メンテナンス項目のメンテナンス時期の設定値が表示されます。メンテナンス時期を変更する場合は、1 ～ 99,999 の範囲内で設定する時間を入力してください。
②	[更新] ボタン	表示されている内容で、メンテナンス時期の設定を更新します。
③	[キャンセル] ボタン	更新を取りやめ、元の設定値に戻します。
④	[既定値に戻す] ボタン	本ソフトウェアにあらかじめ準備されているメンテナンス時期の設定値に戻します。編集した設定を、準備されている元の時間に戻したい場合に使用します。

「基本情報取得モデル」の場合

「基本情報取得モデル」として登録されている場合は、お客様ご自身でメンテナンス時期を設定する項目を選択して、そのメンテナンス時期を設定していただく必要があります。

次のように代表的なメンテナンス項目が表示されますので、メンテナンス時期の設定が必要な項目を選択して、メンテナンス時期を設定してください。

項目名	解説
① メンテナンス対象項目 チェックボックス	メンテナンス時期を設定したい項目をチェックします。
② メンテナンス時期	各種メンテナンス項目のメンテナンス時期を設定します。 1 ～ 99,999 の範囲内で設定する時間を入力してください。
③ [更新] ボタン	表示されている内容で設定を更新します。
④ [キャンセル] ボタン	更新を取りやめ、元の設定に戻します。

お知らせ

- ・ランプパワーまたはランプ出力を ECO や低などに設定できるプロジェクターの場合、光源使用時間は、ランプパワーまたはランプ出力をノーマルまたは高に設定して使用し続けた場合に換算した時間になります。光源のメンテナンス時期は、ランプパワーまたはランプ出力をノーマルまたは高に設定して使用し続けた場合に換算した時間を設定してください。
- ・「基本情報取得モデル」は光源使用時間を機材の使用時間として扱うため、光源使用時間の情報を取得できない機材の場合、メンテナンス時期を設定してもメンテナンス時期の確認・通知機能を使用することができません。
- ・メンテナンス時期の確認・通知機能は、お客様のご使用状況と、お客様ご自身が編集・設定したメンテナンス時期を基に交換時期や清掃時期を予測するものです。目安としてご使用ください。
- ・光源の数が 5 つ以上であるプロジェクターは対応していません。
- ・「基本情報取得モデル」に分類される機材が、機材設定情報をアップデートすることで「詳細情報取得モデル」として認識されるようになった場合、元の「基本情報取得モデル」に対してお客様が設定したメンテナンス時期やメンテナンス時期の内容は消去され、その機材のデフォルトの設定に置き換えられます。

7.9 エラー・警告・お知らせ案内履歴を確認する

登録機材ごとのエラー・警告・お知らせ案内発生時の内容を、発生日付ごとに履歴として表示します。

1. [詳細 / 一覧表示] ボタンをクリックし、機材一覧から確認したい機材を選択します。

2. [履歴] タブを選択します。

履歴画面が表示されます。



3. [発生日時] を選択します。

右側の情報表示エリアの [メッセージ] 欄にメッセージが表示されます。

お知らせ

・ [更新] ボタンをクリックすると履歴が最新の状態に更新されます。

履歴確認画面



項目名	解説
① 発生日時	エラー・警告・お知らせ案内が発生した日時（履歴）を一覧表示します。 発生日時のアイコンはシステムログの取得状態を表示します。 ✉：システムログあり（システムログ取得対応機材） ✉：システムログなし（システムログ取得非対応機材）
② メッセージ	選択した発生日時に発生したエラー・警告・お知らせ案内の内容が表示されます。
③ [保存] ボタン	メッセージに表示されている内容を、圧縮形式のファイルで保存します。 システムログを取得できる機材の場合は、テキスト文書（.txt）とログファイル（.log）とが 1 つの圧縮形式のファイルとして保存されます。ファイル名は年月日時分秒_“シリアル番号”となります。 発生日時を選択していない場合はボタンが無効になります。

お知らせ

- [保存] ボタンは、WEB ブラウザーが Internet Explorer または Microsoft Edge の場合に使用できます。
- システムログ（ログファイル）はバイナリ形式で保存されます。
- システムログの情報は、サービスマンのみ確認することができます。
- システムログ（ログファイル）は対応している機種のみ取得できます。
- タブレット（iPad）で閲覧した場合は [保存] ボタンは無効となり、クリックできません。
- 機材によっては、メッセージ欄にランプまたは光源の残り使用時間が 200 時間になったことを示す警告文が表示されますが、その際に、機材から取得した実際のランプまたは光源の残り時間が 0 時間と表示されている機材があります。この場合も残り 200 時間はそのまま使用することができます。

保存データ例

- プロジェクターの例

○検出日時：2013/06/07 12:05:52
○機材情報： グループ名：Group 機材名：DZ21K IP アドレス：198.245.80.34 モデル名：DZ21K シリアル番号：AB1234567 メイン Ver.：1.00 ネットワーク Ver.：1.03
○検出内容： 状態：エラー 詳細 1：FAN エラー / 光源 1 FAN エラー 処置 1：販売店にご相談ください。 詳細 2：FAN エラー / 排気 1 FAN エラー 処置 2：販売店にご相談ください。
電源：Off セット使用時間：16985 H 光源 1 使用時間：4 H 光源 2 使用時間：3 H 光源 3 使用時間：3 H 光源 4 使用時間：4 H 光源 1 残り時間：1996 H 光源 2 残り時間：1996 H 光源 3 残り時間：1996 H 光源 4 残り時間：1996 H 電源 ON 回数：156 回 吸気温度：24 degC / 75 degF 排気温度：26 degC / 78 degF 光学モジュール周辺温度：31 degC / 87 degF
○メモ：

- フラットパネルディスプレイの例

○検出日時：2013/12/09 17:14:56
○機材情報： グループ名：Group 機材名：LFX60-08 IP アドレス：192.168.0.110 モデル名：47LFX60J シリアル番号：1234567890A メイン Ver.：1.00 ネットワーク Ver.：01.03
○検出内容： 状態：エラー 詳細 1：無信号エラー 処置 1：無信号状態が無信号エラーの設定時間に達しました。 配線、信号源、入力信号の状態を確認してください。 無信号警告 / エラーとする無信号検出時間はフラットパネルディスプレイ本体側で設定できます。
電源：On セット使用時間：1033 H 電源 ON 回数：147 回 内部温度 1：28 degC / 82 degF 吸気温度 1：23 degC / 73 degF 吸気温度 2：21 degC / 69 degF 排気温度 1：23 degC / 73 degF 排気温度 2：21 degC / 69 degF パネル温度 1：25 degC / 77 degF
○メモ：

7.10 機材の温度情報を確認する

登録されている機材に内蔵されている温度センサーの情報を蓄積して、機材の内部温度の推移をグラフで表示することができます。

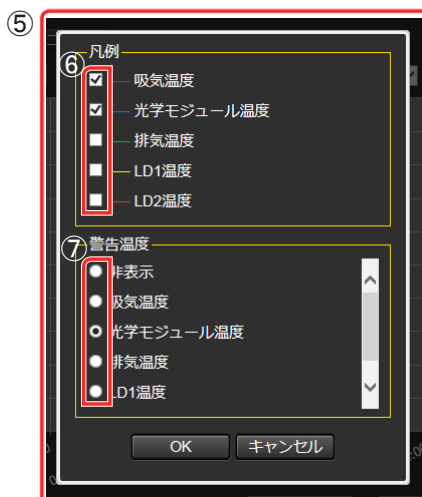
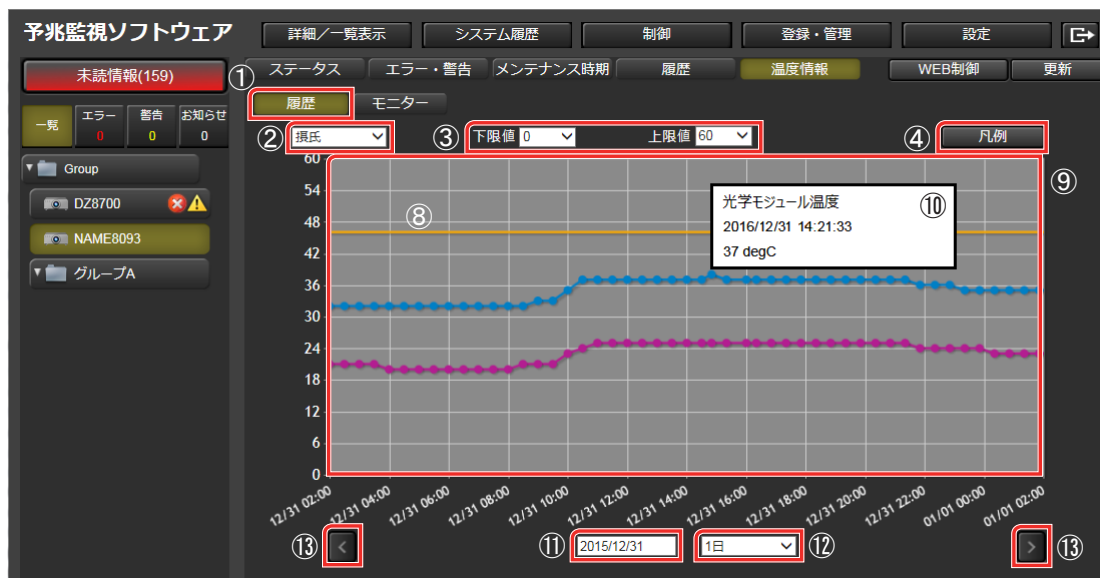
蓄積された温度情報の履歴を確認する

登録されている機材の過去 30 日分の温度情報をグラフで表示し、機材の設置環境に問題がないかなどの確認に使用できます。

1. 詳細表示画面で [詳細／一覧表示] ボタンをクリックし、機材一覧から温度情報を確認する機材を選択します。

2. [温度情報] タブをクリックします。

選択している機材の温度情報の履歴画面が表示されます。



項目名		解説
①	[履歴] ボタン	機材の温度情報履歴を表示します。
②	温度単位プルダウンメニュー	グラフの温度を摂氏で表示するか華氏で表示するかを切り換えます。
③	温度範囲プルダウンメニュー	グラフ表示する温度の下限と上限を、次の範囲内で設定します。 下限値：-20℃～190℃（摂氏）/0°F～420°F（華氏） 上限値：-10℃～200℃/20°F～440°F（華氏）
④	[凡例] ボタン	ボタンをクリックすると、機材に応じた温度情報の項目が表示され（⑤）、チェックボックス（⑥）にチェックを入れた項目の温度が色分けされてグラフに表示されます。 また、ラジオボタン（⑦）を選択すると、選択した項目に設定されている警告温度がオレンジ色でグラフ表示（⑧）されます。
⑨	グラフ表示エリア	機材の各項目の温度情報をグラフ表示するエリアです。
⑩	プロット（点）情報表示ツールチップ	グラフ上のプロット（点）にマウスポインターを重ねるか、プロットをタップすると、そのプロットの温度情報の詳細が表示されます。
⑪	年月日選択エリア	年月日選択エリアをクリックするとカレンダーが表示され、温度情報のグラフ表示の開始年月日を設定できます。
⑫	表示期間プルダウンメニュー	温度情報をグラフ表示する期間を選択します。 次の中から選択することができます。 6時間 / 12時間 / 1日 / 5日 / 10日 / 30日 ただし、iPadの場合は、10日 / 30日を選択できません。
⑬	表示範囲切り換えボタン	表示されているグラフを、表示期間選択プルダウンメニュー（⑫）で設定した表示されているグラフをスクロールできます。

■ 機材の温度推移を監視する

登録されている機材の直近の温度情報をグラフで表示します。

イベントなど、機材を運用中に温度状態を監視することで、問題が発生しそうな兆候が見られた時点で速やかに対処することができます。

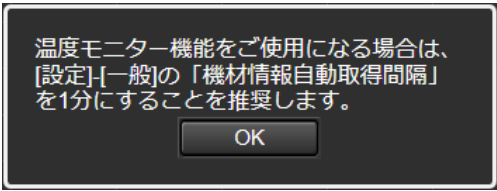
1. 詳細表示画面で [詳細／一覧表示] ボタンをクリックし、機材一覧から温度情報を監視する機材を選択します。

2. [温度情報] タブを選択します。

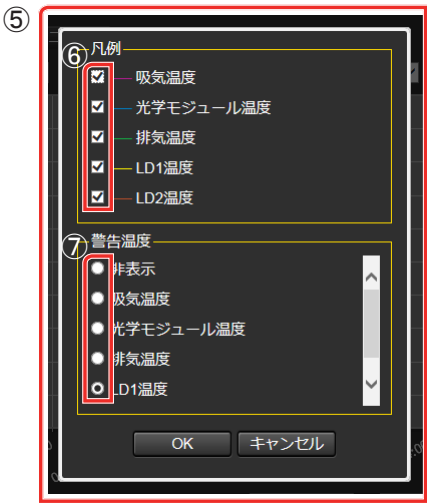
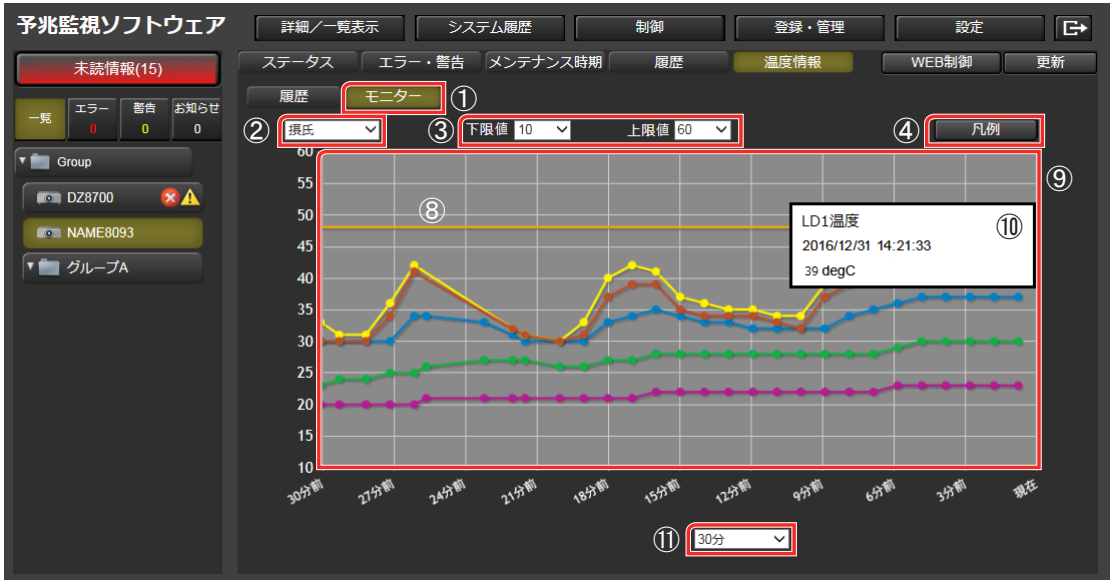
選択している機材の温度の履歴情報画面が表示されます。

3.[モニター] ボタンをクリックします。

選択している機材の温度モニター画面が表示されます。
本ソフトウェアにログイン後、初めて温度モニター画面を表示する際は次のメッセージが表示されますので、表示内容をご確認のうえ、[OK] ボタンをクリックしてください。



温度モニター画面は、現在時点の温度情報が常に右端に表示されます。



項目名		解説
①	[モニター] ボタン	機材の温度モニター画面を表示します。
②	温度単位プルダウンメニュー	グラフの温度を摂氏で表示するか華氏で表示するかを切り換えます。

項目名		解説
③	温度範囲プルダウンメニュー	グラフ表示する温度の下限と上限を、次の範囲内で設定します。 下限値：-20℃～190℃（摂氏）/0°F～420°F（華氏） 上限値：-10℃～200℃/20°F～440°F（華氏）
④	[凡例] ボタン	ボタンをクリックすると、機材に応じた温度情報の項目が表示され（⑤）、チェックボックス（⑥）にチェックを入れた項目の温度が色分けされてグラフに表示されます。 また、ラジオボタン（⑦）を選択すると、選択した項目に設定されている警告温度がオレンジ色でグラフ表示（⑧）されます。
⑨	グラフ表示エリア	機材の各項目の温度情報をグラフ表示するエリアです。
⑩	プロット（点）情報表示ツールチップ	グラフ上のプロット（点）にマウスポインターを重ねるか、プロットをタップすると、そのプロットの温度情報の詳細が表示されます。
⑪	表示期間プルダウンメニュー	温度情報をグラフ表示する期間を選択します。 次の中から選択することができます。 10分 / 30分 / 1時間

お知らせ

- 表示される温度情報の項目は、機材によって異なります。
- 機材が電源オフ状態の場合、温度情報のプロット（点）が表示されない機材があります。
- 温度センサーを内蔵していない機材、および「基本情報取得モデル」に分類される機材の場合、温度情報は表示されません。
- 温度モニター画面の更新間隔は、[機材情報自動取得間隔] の設定と連動します。[機材情報自動取得間隔] の設定について詳しくは、“9.1 情報更新間隔、およびシステム履歴情報の保存期間を設定する(管理者権限ユーザーのみ)”（→91 ページ）をご覧ください。[機材情報自動取得間隔] を短い時間に設定するほど温度モニター画面の更新間隔が短くなり、詳細な温度推移を把握することができます。ただし、ネットワーク環境への負荷が大きくなるので、必要に応じて [機材情報自動取得間隔] の設定を変更してください。

8. 全機材の履歴を確認する

監視サーバーに登録されている全機材の通知（エラー・警告・お知らせ案内）履歴を表示し、未読の通知項目はエラー・警告・お知らせ案内の種類ごとに色分けされています。履歴情報は、CSV ファイルを圧縮した状態で保存することができます。

システム履歴画面




予兆監視ソフトウェア									
詳細／一覧表示 システム履歴 制御 登録・管理 設定									
①	② 発生日時	③ グループ名	④ 機材名	⑤ IPアドレス	⑥ モデル名	⑦ シリアル番号	⑧ 状態	⑨ 詳細	⑩
<input checked="" type="checkbox"/>	2013/09/09 12:12:45	Group	DZ8700	***.***.***.***	DZ8700	AB1234567	✖	排気温度センサーエラー	
<input checked="" type="checkbox"/>	2013/09/09 12:12:45	Group	DZ8700	***.***.***.***	DZ8700	AB1234567	⚠	内部電池残量警告	
<input checked="" type="checkbox"/>	2013/09/09 12:12:45	Group	DZ8700	***.***.***.***	DZ8700	AB1234567	⚠	DMD低温警告	
<input checked="" type="checkbox"/>	2013/09/09 12:12:45	Group	DZ8700	***.***.***.***	DZ8700	AB1234567	⚠	DMD高温警告	
<input checked="" type="checkbox"/>	2013/09/09 12:12:45	Group	DZ8700	***.***.***.***	DZ8700	AB1234567	⚠	吸気温度警告	
<input checked="" type="checkbox"/>	2013/09/09 12:12:45	Group	DZ8700	***.***.***.***	DZ8700	AB1234567	⚠	排気高温警告	
<input checked="" type="checkbox"/>	2013/09/09 12:12:45	Group	DZ8700	***.***.***.***	DZ8700	AB1234567	⚠	ACF残時間警告	ACF残量なし
<input checked="" type="checkbox"/>	2013/09/09 12:12:45	Group	DZ8700	***.***.***.***	DZ8700	AB1234567	⚠	ACF残時間警告	ACF残量少
<input checked="" type="checkbox"/>	2013/09/09 12:12:45	Group	DZ8700	***.***.***.***	DZ8700	AB1234567	⚠	ACF巻取り失敗	
<input checked="" type="checkbox"/>	2013/09/09 12:12:45	Group	DZ8700	***.***.***.***	DZ8700	AB1234567	⚠	ランプ2 使用時間警告	
<input checked="" type="checkbox"/>	2013/09/09 12:12:45	Group	DZ8700	***.***.***.***	DZ8700	AB1234567	⚠	ランプ1 使用時間警告	
<input checked="" type="checkbox"/>	2013/09/09 12:12:45	Group	DZ8700	***.***.***.***	DZ8700	AB1234567	✖	ACF目詰まりエラー	
<input checked="" type="checkbox"/>	2013/09/09 12:12:45	Group	DZ8700	***.***.***.***	DZ8700	AB1234567	⚠	電源電圧警告	
<input checked="" type="checkbox"/>	2013/09/09 12:12:45	Group	DZ8700	***.***.***.***	DZ8700	AB1234567	✖	目詰まりセンサーエラー	
<input checked="" type="checkbox"/>	2013/09/09 12:12:45	Group	DZ8700	***.***.***.***	DZ8700	AB1234567	✖	背面カバーエラー	
<input checked="" type="checkbox"/>	2013/09/09 12:12:45	Group	DZ8700	***.***.***.***	DZ8700	AB1234567	✖	輝度センサーエラー	
<input checked="" type="checkbox"/>	2013/09/09 12:12:45	Group	DZ8700	***.***.***.***	DZ8700	AB1234567	ℹ	ランプ1交換のお知らせ	
<input checked="" type="checkbox"/>	2013/09/09 12:12:45	Group	DZ8700	***.***.***.***	DZ8700	AB1234567	ℹ	ランプ2交換のお知らせ	
								ランプ1交換のお知らせ	

8.1 履歴情報を確認する

1. [システム履歴] ボタンをクリックします。

履歴画面が表示されます。

項目名	解説
① 未読・既読チェックボックス	エラー・警告・お知らせ案内の内容を確認した場合などにチェックを外すと該当する項目が既読情報となり、背景色が通常色になります。再度チェックをつけると該当する項目が未読の状態となり、エラーは赤、警告は黄、お知らせ案内は青の背景色になります。
② 発生日時	エラー・警告・お知らせ案内が発生した日時が表示されます。
③ グループ名	エラー・警告・お知らせ案内が発生した機材が登録されていたグループ名が表示されます。
④ 機材名	エラー・警告・お知らせ案内が発生した機材名が表示されます。
⑤ IP アドレス	エラー・警告・お知らせ案内が発生した機材の IP アドレスが表示されます。
⑥ モデル名	エラー・警告・お知らせ案内が発生した機材のモデル名が表示されます。

項目名		解説
⑦	シリアル番号	エラー・警告・お知らせ案内が発生した機材のシリアル番号が表示されます。
⑧	状態	エラー・警告・お知らせ案内の内容がアイコンで表示されます。  : エラー  : 警告  : お知らせ案内
⑨ ⑩	詳細	通知された内容が表示されます。
⑪	〔履歴情報の保存〕ボタン	現在表示されているエラー・警告・お知らせ案内の履歴情報を、CSV ファイルを圧縮した状態で保存します。
⑫	ステータス画面へリンク	各通知の行をクリックすると、該当の機材のステータス画面が表示されます。 (→ 61 ページ)

8.2 履歴情報を保存する

1. [システム履歴] ボタンをクリックします。

履歴画面が表示されます。

2. [履歴情報の保存] ボタンをクリックします。

表示されている履歴情報が保存されます。

保存データ例

システム履歴画面に表示されている内容と同一の内容を、CSV ファイルを圧縮した状態で保存します。

```
アプリケーション名,Early Warning Software
バージョン情報,Ver.***
保存日時,2013/06/07 18:19:50

発生日時,グループ名,機材名,IP アドレス,モデル名,シリアル番号,状態,詳細
2013/06/07 12:05:52,"Group","DZ21K",198.245.80.34,DZ21K,AB1234567,エラー,"FAN エラー","光源 1 FAN エラー"
2013/06/07 11:05:43,"Group","DZ21K",198.245.80.34,DZ21K,AB1234567,エラー,"FAN エラー","排気 1 FAN エラー"
2013/06/07 11:05:43,"Group","DZ21K",198.245.80.34,DZ21K,AB1234567,警告,"排気 1 FAN エラー",
2013/06/07 11:05:43,"Group","DZ21K",198.245.80.34,DZ21K,AB1234567,警告,"光源 1 FAN エラー",
2013/06/07 11:05:43,"Group","DZ21K",198.245.80.34,DZ21K,AB1234567,警告,"カラープリズム 3 FAN エラー",
2013/06/07 10:55:38,"Group","DZ21K",198.245.80.34,DZ21K,AB1234567,警告,"プロジェクター LAN 接続エラー",
2013/06/07 10:42:42,"Group","DZ21K",198.245.80.34,DZ21K,AB1234567,警告,"カラープリズム 3 FAN エラー",
2013/06/07 8:45:42,"Group","DZ21K",198.245.80.34,DZ21K,AB1234567,警告,"プロジェクター LAN 接続エラー",

:
:
:

2013/06/06 20:32:10,"Group","DZ21K",198.245.80.34,DZ21K,AB1234567,警告,"カラープリズム 3 FAN エラー",
2013/06/06 16:32:22,"Group","DZ21K",198.245.80.34,DZ21K,AB1234567,警告,"DMD ブロッククリーニングのお知らせ",
2013/06/06 16:32:22,"Group","DZ21K",198.245.80.34,DZ21K,AB1234567,警告,"排気 1 ファン交換のお知らせ",
2013/06/06 16:32:22,"Group","DZ21K",198.245.80.34,DZ21K,AB1234567,警告,"バラスト冷却 1 ファン交換のお知らせ",
2013/06/06 16:32:22,"Group","DZ21K",198.245.80.34,DZ21K,AB1234567,警告,"光源 (L) ファン交換のお知らせ",
2013/06/06 16:32:22,"Group","DZ21K",198.245.80.34,DZ21K,AB1234567,警告,"光源 (R) ファン交換のお知らせ",
2013/06/06 16:32:22,"Group","DZ21K",198.245.80.34,DZ21K,AB1234567,警告,"光源 2 ファン交換のお知らせ",
2013/06/06 16:32:22,"Group","DZ21K",198.245.80.34,DZ21K,AB1234567,警告,"カラープリズム冷却 1 ファン交換のお知らせ",
```

お知らせ

- 履歴情報は最新のものから最大 2000 件まで表示することができます。
- システム履歴情報の保存件数は、500 件 / 1000 件 / 2000 件の中から選択することができます。(→ 91 ページ)
- [履歴情報の保存] ボタンは、WEB ブラウザーが Internet Explorer または Microsoft Edge の場合に使用できます。
タブレット (iPad) で閲覧した場合は [履歴情報の保存] ボタンは無効となり、クリックできません。
- すでに登録機材から削除されている機材の履歴情報をクリックした場合、機材のステータス画面は表示されません。
- 「基本情報取得モデル」として登録されている機材の履歴情報に、シリアル番号は含まれません。

9. 監視サーバーの設定を行う

監視サーバーの各種設定を行います。

[設定] メニューをクリックすると、設定画面が表示されます。



画面左側の設定メニューボタンをクリックすると、右側の設定画面に設定項目が表示されます。

お知らせ

- 設定画面表示中に 20 分間無操作の場合、自動的にネットワークの接続が切れます。再度ログインし直してください。
- 設定が更新できない、または他の画面へ切り換えできない場合は、エラーメッセージが表示されます。

表示されたメッセージをご確認のうえ、対処してください。(→ 106 ページ)

9.1 情報更新間隔、およびシステム履歴情報の保存件数を設定する (管理者権限ユーザーのみ)

機材の情報を自動的に取得する時間の間隔を設定したり、システム履歴情報（→ 87 ページ）の保存件数を設定します。

機材情報自動取得間隔を設定しておく、監視中の機材の情報を設定した間隔で定期的に更新することができます。

1. 画面左側の設定メニューから【一般】 ボタンをクリックします。

設定内容表示エリアに、機材情報自動取得間隔、およびシステム履歴情報の保存件数の設定項目が表示されます。



2. [機材情報自動取得間隔] (①) に、機材情報を自動で取得する間隔 (分) を入力します。

- 「1」～「90」の範囲で入力してください。

[機材情報自動取得間隔] を短くしすぎると、情報取得中は機材およびグループの登録・変更ができませんので作業に影響が出る場合があります。

3. [システム履歴情報の保存件数] (②) で、システム履歴情報の保存件数を指定します。

- プルダウンメニューから「500」「1000」「2000」のいずれかを選択してください。

4. [更新] ボタンをクリックします。

- 更新を取りやめる場合は、[キャンセル] ボタンをクリックします。

更新成功のメッセージが表示されます。

5. [OK] ボタンをクリックします。

設定が更新されます。

お知らせ

- 登録機材の台数が多く [機材情報自動取得間隔] が短い場合は、すべての機材の情報が取得できない場合があります。[機材情報自動取得間隔] を延ばしてください。

9.2 システム履歴情報を削除する（管理者権限ユーザーのみ）

保存済みのシステム履歴情報を削除します。

1. 画面左側の設定メニューから【一般】 ボタンをクリックします。

設定内容表示エリアに、[履歴削除] ボタンが表示されます。



2. [履歴削除] ボタン（①）をクリックします。

削除確認のメッセージが表示されますので、[OK] ボタンをクリックしてください。システム履歴情報が削除されます。ただし、機材の履歴情報（→ 80 ページ）は削除されません。

9.3 SNMP 通知の設定を行う（管理者権限ユーザーのみ）

SNMP 通知の設定を行います。

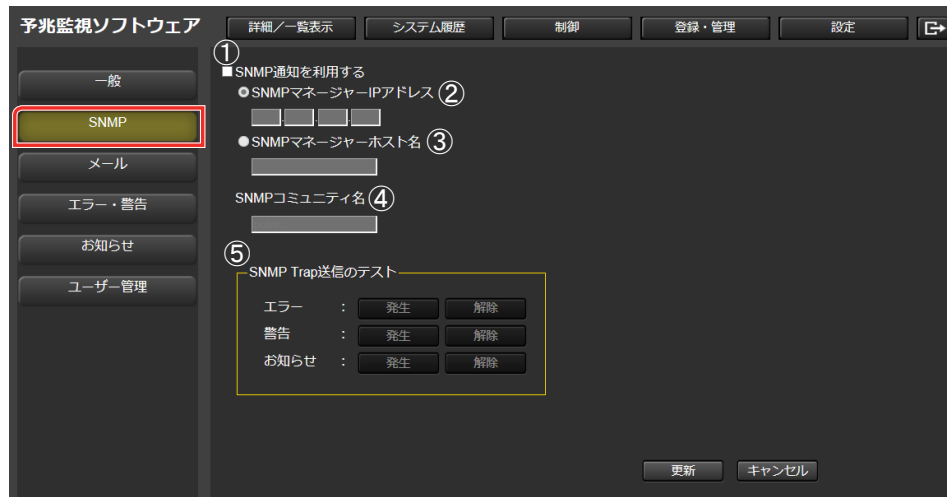
監視サーバーと同じネットワーク上に SNMP マネージャーが設置されている場合は、機材のエラー・警告・お知らせ案内が発生したことを SNMP Trap 送信を利用して、通知することができます。

送信される SNMP Trap の種類

種類	OID	
	Enterprise	Specific-Trap
エラーが発生	1.3.6.1.4.1.258.1000.1.1	101
エラー解除	1.3.6.1.4.1.258.1000.1.1	102
警告が発生	1.3.6.1.4.1.258.1000.1.2	101
警告解除	1.3.6.1.4.1.258.1000.1.2	102
お知らせ案内発生	1.3.6.1.4.1.258.1000.1.3	101
お知らせ案内解除	1.3.6.1.4.1.258.1000.1.3	102

1. 画面左側の設定メニューから【SNMP】 ボタンをクリックします。

SNMP 通知設定画面が表示されます。



2. 【SNMP 通知を利用する】 のチェックボックス (①) をチェックします。

3. SNMP の通知を利用する場合に必要な設定を行います。

- SNMP マネージャーを IP アドレスで指定する場合は、[SNMP マネージャー IP アドレス] を選択し、IP アドレスを入力してください。(②)
- SNMP マネージャーをホスト名で指定する場合は、[SNMP マネージャーホスト名] を選択し、ホスト名を入力してください。(③)

4.[SNMP コミュニティ名] (④) に SNMP マネージャーと本ソフトウェアの間の認証を行うためのコミュニティ名を入力します。

5.[更新] ボタンをクリックします。

- 更新を取りやめる場合は、[キャンセル] ボタンをクリックしてください。

更新成功のメッセージが表示されます。

6.[OK] ボタンをクリックすると、設定が更新されます。

7.[SNMP Trap 送信のテスト] (⑤) の [発生]、[解除] のボタンをクリックします。

エラー・警告・お知らせ案内各々の発生 / 解除時のテスト通知が送信されます。

お知らせ

- 本ソフトウェアから通知する SNMP Trap 送信は、SNMPv1 [RFC1155,RFC1157] の Trap コマンドにのみ対応しています。
- SNMP マネージャーに設定する SNMP Trap 送信用の MIB (Management information Base) は弊社 WEB サイト (<https://panasonic.biz/cns/projector/pass/>)、または (<https://panasonic.biz/cns/prodisplays/pass/>) の PASS にログイン後、[ダウンロード] ボタンをクリックし、ユーティリティソフトウェア → 予兆監視ソフトウェア → [MIB] ボタンをクリックすることでダウンロードして使用することができます。
- お使いのシステム構成の中で、SNMP マネージャーが稼働している必要があります。
- SNMP マネージャーの設定については、ネットワーク管理者にご確認ください。

9.4 メール送信に必要な設定を行う（管理者権限ユーザーのみ）

機材にエラー・警告・お知らせ案内が発生したとき、本ソフトウェアで設定した E メールアドレスに該当内容をメールで送信することができます。

1. 画面左側の設定メニューから【メール】 ボタンをクリックします。

メール設定画面が表示されます。

The screenshot shows the '予兆監視ソフトウェア' (Advance Warning Monitoring Software) interface. The left sidebar has buttons for '一般' (General), 'SNMP', 'メール' (Email), 'エラー・警告' (Error/Warning), 'お知らせ' (Notice), and 'ユーザー管理' (User Management). The 'メール' button is highlighted with a red box. The main content area is titled 'メール設定' (Email Settings) and includes the following elements:

- ① ☒ メールを利用する (Use email)
- ② SMTPサーバー名 (SMTP server name) input field
- ③ SMTPサーバーポート番号 (SMTP server port number) input field, with '25' and '初期値: 25' (Default: 25) shown.
- ④ 認証サーバー設定 (Authentication server settings) button
- ⑤ 送信元メールアドレス (Sender email address) input field
- ⑥ 送信先メールアドレス (Recipient email addresses) section with five checkboxes and input fields:
 - ☐ 送信先メールアドレス1
 - ☐ 送信先メールアドレス2
 - ☐ 送信先メールアドレス3
 - ☐ 送信先メールアドレス4
 - ☐ 送信先メールアドレス5
- ⑦ メール送信禁止設定 (Email sending prohibition settings) section with checkboxes for days of the week (日, 月, 火, 水, 木, 金, 土) and a time range (時間).
- ⑧ メモ (Memo) text area

At the bottom right, there are buttons for 'テストメール' (Test email), '更新' (Update), and 'キャンセル' (Cancel).

2. 【メールを利用する】 チェックボックス (①) をチェックし、【SMTP サーバー名】 (②)、【SMTP サーバーポート番号】 (③) を入力します。

3. 認証サーバーを設定する場合は、【認証サーバー設定】 ボタン (④) をクリックします。

認証サーバーの設定エリアが表示されます。

認証サーバーを設定しない場合は、手順 5 に進んでください。

4. [SMTP 認証] または [POP Before SMTP] を選択し、各項目に入力します。

- [SMTP 認証] を選択した場合は、認証方式を [PLAIN] [LOGIN] [CRAM-MD5] の中から選択してください。
- [POP Before SMTP] を選択した場合は、[POP サーバー名]、[POP サーバーポート番号]、[ユーザー名]、[パスワード] を入力してください。

5. [送信元メールアドレス] (⑤) および [送信先メールアドレス] (⑥) を入力します。

- [送信先メールアドレス] を入力するときは、チェックボックスにチェックをしてから、メールアドレスを入力してください。
- [送信先メールアドレス] は、最大 5 個まで指定できます。

6. [メール送信禁止設定] チェックボックス (⑦) をチェックし、メールの送信を禁止する期間を設定します。

メールを送信させたくない時間帯や期間がある場合は、メール送信禁止設定の指定をします。メール送信禁止期間を設けない場合は、[メール送信禁止設定] チェックボックス (⑦) のチェックはせずに手順 7 に進んでください。

- メールを送信禁止を開始する曜日のチェックボックスにチェックをしてください。
- メールを送信禁止を開始する時刻を、「00:00」～「23:59」の範囲で入力してください。
- 送信禁止開始時刻から送信禁止を継続する時間を、「1」～「99」の範囲で入力してください。

設定例)

毎火曜 21 時から木曜 9 時まで、および毎土曜 21 時から月曜 9 時までのメール送信を禁止する場合は、[曜日] の [火] と [土] のチェックボックスにチェックをし、[時刻] に「21:00」、[時間] に「36」を入力します。

7. テストメールを送信する場合は、[テストメール] ボタンをクリックします。

- [送信先メールアドレス] (⑥) に入力したアドレスへテストメールを送信します。

テストメール送信例)

タイトル：Panasonic Device Report (Test)

送信内容：予兆監視ソフトウェアからのテストメールです。

8.[メモ] (⑧) を入力します。

- メール送信時、メール本文に記述する内容を入力します。必要に応じて入力してください。

9.[更新] ボタンをクリックします。

- 更新を取りやめる場合は、[キャンセル] ボタンをクリックしてください。

更新成功のメッセージが表示されます。

10.[OK] ボタンをクリックします。

設定内容が更新されます。

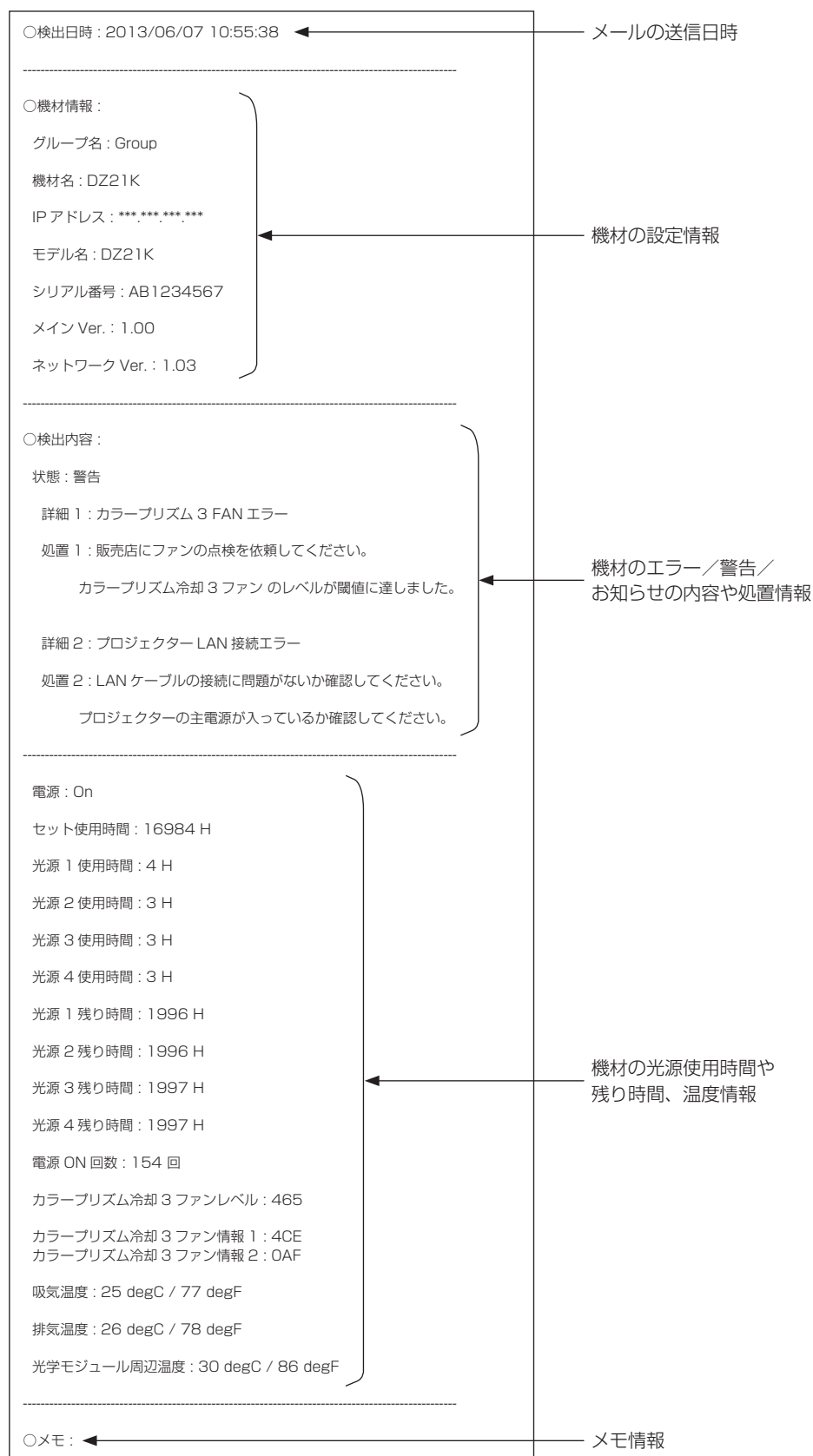
お知らせ

- ご使用になるメールアドレスは、「*** (ローカル部) @*** (ドメイン)」の形で入力してください。
- メール送信機能を利用する場合は、お使いのシステム構成の中で、メールサーバーが稼働している必要があります。また、監視サーバー用のメールアドレスをメールサーバーに登録しておくことが必要です。
- メールサーバーへの登録や設定内容については、ネットワーク管理者にご確認ください。

■ メール送信例

メールの送信内容例を以下に示します。

メールのタイトル：Panasonic Device Report(Error/Warning/Information)



9.5 機器が未接続時の警告の設定を行う（管理者権限ユーザーのみ）

機器が何らかの理由でネットワークに接続されていないとき、警告することができます。機器の情報更新を所定の回数実行しても、機器との接続が確認できないときに警告します。また、所定の時間帯、特定の期間に機器が未接続状態になることが分かっている場合、該当の時間帯または期間に未接続警告をしないように設定することができます。

1. 画面左側の設定メニューから【エラー・警告】ボタンをクリックします。

エラー・警告設定画面が表示されます。

2. [機器が未接続のときに警告する] チェックボックス (①) をチェックし、[警告するまでの機材情報更新の回数] (②) を入力します。

- 「1」～「99」の範囲で入力してください。
- 警告するまでの機材情報更新の回数が多い場合、未接続と判定するまでの間隔が長くなります。

3. [未接続警告禁止設定] チェックボックス (③) をチェックし、未接続警告を禁止する期間を設定します。

未接続警告をさせたくない時間帯や期間がある場合は、未接続警告禁止設定の指定をします。未接続警告禁止期間を設けない場合は、[未接続警告禁止設定] チェックボックス (③) のチェックはせずに、手順 4. に進んでください。

- 未接続警告を禁止する曜日のチェックボックス (④) にチェックをしてください。
- 未接続警告を禁止する時間帯の開始時刻 (⑤) を、「00：00」～「23：59」の範囲内で入力してください。
- 未接続警告を禁止する時間 (⑥) を、「1」～「48」の範囲内で入力してください。

設定例)

毎週火曜日の 21 時から木曜日の 9 時までと、毎週土曜日の 21 時から月曜日の 9 時までの未接続警告を禁止する場合は、次のように設定します。

予兆監視ソフトウェア

詳細／一覧表示 システム履歴 制御 登録・管理 設定

一般
SNMP
メール
エラー・警告
お知らせ
ユーザー管理

☒ 機材が未接続のときに警告する
警告するまでの機材情報更新の回数 3 回

☒ 未接続警告禁止設定

日		:		~		時間
月		:		~		時間
火	21	:	00	~	36	時間
水		:		~		時間
木		:		~		時間
金		:		~		時間
土	21	:	0	~	36	時間

更新 キャンセル

4. [更新] ボタンをクリックします。

- 更新を取りやめる場合は、[キャンセル] ボタンをクリックしてください。
更新成功のメッセージが表示されます。

5. [OK] ボタンをクリックします。設定が更新されます。

設定内容が更新されます。

9.6 お知らせ案内内容の設定を変更する（管理者権限ユーザーのみ）

消耗品交換時期、各部清掃時期、部品交換時期をお知らせするための残り日数の設定や、通知内容を SNMP やメールでお知らせするための設定を行います。

また、電源の切り忘れなど、電源オン状態のまま機材が長時間放置されていると推測される場合にお知らせするための設定を行います。

1. 画面左側の設定メニューから【お知らせ】ボタンをクリックします。

お知らせ設定画面が表示されます。

2. [消耗品交換のお知らせ] [各部清掃のお知らせ] [部品交換のお知らせ] (①) の各お知らせを、何日前にお知らせするかを設定します。

- 「0」～「999」の範囲で入力してください。
- 日数を 0 日に設定すると、お知らせ案内を通知しない設定となります。
- [消耗品交換のお知らせ] [部品交換のお知らせ] で日数を 0 日に設定した場合でも、消耗品交換時期の“警告”および部品交換時期の“警告”はメールおよび SNMP Trap 送信で通知されます。
- [各部清掃のお知らせ] で日数を 0 日に設定した場合は、各部部品清掃時期の“警告”は通知されません。

3. [お知らせ発生時の SNMP 通知] (②) で、SNMP 通知する項目のチェックボックスをチェックします。

4. [お知らせ発生時のメール送信] (③) で、メール送信する項目のチェックボックスをチェックします。

5. [機材が連続運転されているときにお知らせする] (④) のチェックボックスをチェックすると、連続運転のお知らせ案内通知を行います。

- 電源オン状態が何時間続いた場合にお知らせ案内を通知するかを次の中から選択できます。
8 時間 / 16 時間 / 24 時間
- 電源オン状態が、設定した時間を超えて続いた場合にお知らせ案内を通知します。

お知らせ

- 本ソフトウェアが情報更新中に機材の電源オフ / オンが行われた場合、実際には連続運転をしていなくても長時間連続運転しているものとして扱うことがあります。
例えば、機材情報を自動で取得する間隔（[機材情報自動取得間隔]）を 90 分に設定している場合、機材情報が自動取得されたときから、90 分後の次の自動取得が行われるまでの間に、ある機材の電源オフ / オン操作を行ったとしても本ソフトウェアはその機材の電源状態の変化を認識できません。

6. [更新] ボタンをクリックします。

- 更新を取りやめる場合は、[キャンセル] ボタンをクリックしてください。
更新成功のメッセージが表示されます。

7. [OK] ボタンをクリックすると、設定が更新されます。

設定内容が更新されます。

お知らせ

- [お知らせ発生時の SNMP 通知] の設定は、SNMP 設定画面で SNMP 設定を有効にしている場合に、お知らせが SNMP 通知されます。
- [お知らせ発生時のメール送信] の設定は、メール設定画面でメール設定を有効にしている場合に、お知らせがメール送信されます。

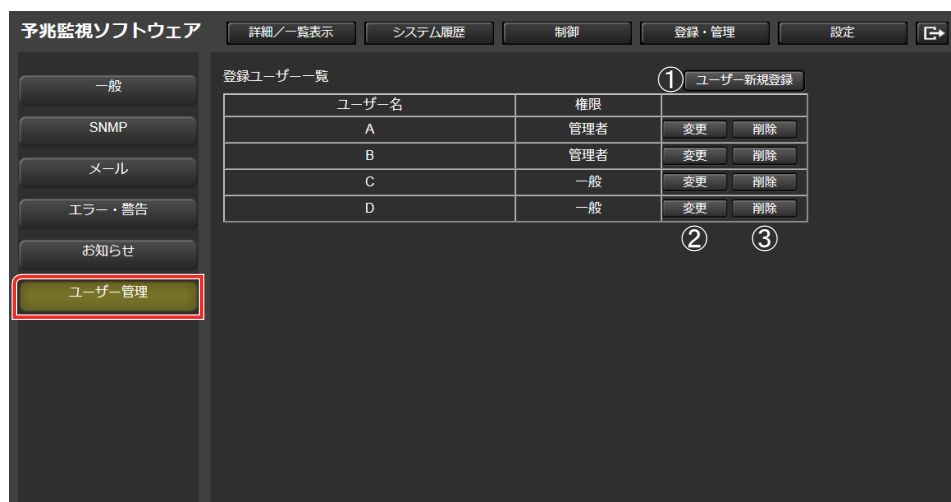
9.7 ユーザー情報を登録・削除・変更する

クライアント端末の WEB ブラウザーから予兆監視ソフトウェア画面にログインするためのユーザー名、パスワード、権限の設定を行います。

本設定は、管理者権限を持ったユーザーのみ行うことができます。

1. 画面左側の設定メニューから【ユーザー管理】 ボタンをクリックします。

ユーザー管理の登録ユーザー一覧画面が表示されます。



■ ユーザーの新規登録

ユーザーを新規に登録します。なお、最大登録数は 20 ユーザーです。

1. 登録ユーザー一覧画面で【ユーザー新規登録】 ボタン (①) をクリックします。

ユーザー新規登録画面が表示されます。



2. [ユーザー名] (④)、[権限] (⑤)、[パスワード] (⑥)、[確認用パスワード] (⑦) を指定します。

- [ユーザー名] には、ログイン時のユーザー ID を入力してください。
- [権限] で、ユーザーに管理者権限を付与する場合は [管理者]、機材登録や、各種設定を行わないユーザーを設定する場合は [一般] を選択してください。

3. [登録] ボタンをクリックします。

- 登録取りやめる場合は、[キャンセル] ボタンをクリックしてください。

入力した内容でユーザーが登録され、登録ユーザー一覧画面に表示されます。

登録しようとしたユーザー名がすでに登録されていた場合は、エラーメッセージが表示されます。別のユーザー名で再度登録してください。

■ ユーザー情報の変更

登録されているユーザーの情報を変更します。

ユーザー権限（「一般」権限）でログインしたユーザーは、自分自身のユーザー情報のうち、パスワードのみ変更できます。

1. 登録ユーザー一覧画面で、ユーザー情報を変更したいユーザーの [変更] ボタン (②) をクリックします。

ユーザー情報画面が表示されます。

2. ユーザー情報を変更します。

- [ユーザー名] は変更できません。
- [パスワード] および [確認用パスワード] は伏せ字で表示されます。

3. [更新] ボタンをクリックします。

- 更新を取りやめる場合は、[キャンセル] ボタンをクリックしてください。

入力した内容でユーザー情報が変更され、登録ユーザー一覧画面に戻ります。

■ ユーザーの削除

登録されているユーザーを削除します。

この操作は、管理者権限を持ったユーザーのみ行うことができます。

1.登録ユーザー一覧画面で、削除したいユーザーの「削除」ボタン（③）をクリックします。

削除確認のメッセージが表示されます。

2.「OK」ボタンをクリックします。

- 削除を取りやめる場合は、「キャンセル」ボタンをクリックしてください。

ユーザーが登録ユーザー一覧から削除されます。

9.8 エラーメッセージについて

監視サーバーの設定に関するエラーメッセージです。

該当設定メニュー	メッセージ	対処
[一般]	機材情報自動取得間隔を入力してください。	機材情報の自動取得間隔が入力されていません。機材情報の自動取得間隔を入力してください。
[一般]	機材情報自動取得間隔が不正です。	機材情報の自動取得間隔を、1 ～ 90 の数字で入力してください。
[SNMP]	SNMP マネージャー IP アドレスを入力してください。	SNMP マネージャーの IP アドレスが入力されていません。登録する SNMP マネージャーの IP アドレスを入力してください。
[SNMP]	SNMP マネージャー IP アドレスが不正です。	登録する SNMP マネージャーの IP アドレスをご確認のうえ、正しく入力してください。
[SNMP]	SNMP マネージャーホスト名を入力してください。	SNMP マネージャーのホスト名が入力されていません。登録する SNMP マネージャーのホスト名を入力してください。
[SNMP]	コミュニティ名を入力してください。	SNMP マネージャーのコミュニティ名が入力されていません。登録する SNMP マネージャーのコミュニティ名を入力してください。
[メール]	SMTP サーバー名を入力してください。	SMTP サーバー名が入力されていません。登録する SMTP サーバー名を入力してください。
[メール]	SMTP サーバーポート番号を入力してください。	SMTP サーバーのポート番号が入力されていません。登録する SMTP サーバーのポート番号を入力してください。
[メール]	SMTP サーバーポート番号が不正です。	登録する SMTP サーバーのポート番号を正しく入力してください。
[メール]	送信元メールアドレスが不正です。	送信元のメールアドレスをご確認のうえ、正しく入力してください。ドメイン部分の入力は省略できません。
[メール]	送信元メールアドレスを入力してください。	送信元のメールアドレスが入力されていません。送信元のメールアドレスを入力してください。
[メール]	送信先メールアドレスが不正です。	送信先のメールアドレスをご確認のうえ、正しく入力してください。
[メール]	送信先メールアドレスを入力してください。	送信先のメールアドレスが入力されていません。送信先のメールアドレスを入力してください。
[メール]	POP サーバー名を入力してください。	POP サーバー名が入力されていません。認証に必要な POP サーバー名を入力してください。

該当設定 メニュー	メッセージ	対処
[メール]	POP サーバーポート番号を入力してください。	POP サーバーのポート番号が入力されていません。認証に必要な POP サーバーのポート番号を入力してください。
[メール]	POP サーバーポート番号が不正です。	認証に必要な POP サーバーのポート番号をご確認のうえ、正しく入力してください。
[メール]	ユーザー名を入力してください。	ユーザー名が入力されていません。認証に必要なユーザー名を入力してください。
[メール]	パスワードを入力してください。	パスワードが入力されていません。認証に必要なパスワードを入力してください。
[エラー・警告]	警告するまでの機材情報更新の回数を入力してください。	警告するまでの機材情報更新の回数が入力されていません。機材が未接続と判定するまでの情報更新回数を入力してください。
[エラー・警告]	警告するまでの機材情報更新の回数が不正です。	機材が未接続と判定するまでの情報更新回数を、1 ～ 99 の数字で入力してください。
[お知らせ]	消耗品交換のお知らせを通知する残り日数を入力してください。	消耗品交換のお知らせを何日前に通知するかの日数が入力されていません。消耗品交換のお知らせを何日前に通知するかの日数を入力してください。
[お知らせ]	消耗品交換のお知らせを通知する残り日数が不正です。	消耗品交換のお知らせを何日前に通知するかの日数を、0 ～ 999 の数値で入力してください。
[お知らせ]	各部清掃のお知らせを通知する残り日数を入力してください。	各部清掃のお知らせを何日前に通知するかの日数が入力されていません。各部清掃のお知らせを何日前に通知するかの日数を入力してください。
[お知らせ]	各部清掃のお知らせを通知する残り日数が不正です。	各部清掃のお知らせを何日前に通知するかの日数を、0 ～ 999 の数値で入力してください。
[お知らせ]	部品交換のお知らせを通知する残り日数を入力してください。	部品交換のお知らせを何日前に通知するかの日数が入力されていません。部品交換のお知らせを何日前に通知するかの日数を入力してください。
[お知らせ]	部品交換のお知らせを通知する残り日数が不正です。	部品交換のお知らせを何日前に通知するかの日数を、0 ～ 999 の数値で入力してください。
[ユーザー管理]	ユーザー名を入力してください。	ユーザー名が入力されていません。クライアント端末の WEB ブラウザーから本ソフトウェア画面にログインするためのユーザー名を入力してください。
[ユーザー管理]	パスワードを入力してください。	パスワードが入力されていません。クライアント端末の WEB ブラウザーから本ソフトウェア画面にログインするためのパスワードを入力してください。

該当設定 メニュー	メッセージ	対処
[ユーザー管理]	確認用パスワードを入力してください。	確認用パスワードが入力されていません。パスワード欄に入力したパスワードと同じパスワードを入力してください。
[ユーザー管理]	確認用パスワードが違います。	パスワード欄に入力したパスワードと同じパスワードを正しく入力してください。

10. 機材を制御する

登録されている機材の電源の入／切と、シャッター機能 /AV ミュート機能のオン／オフを、機材ごと、またはグループごとに操作できます。

1. [制御] ボタンをクリックします。

機材制御画面が表示されます。



2. 制御したい機材またはグループを、登録機材（①）から選択します。

コマンド送信結果欄の機材名（③）に制御対象の機材が表示されます。

3. 操作する制御ボタン（②）をクリックします。

各機材に対して該当の制御コマンドが送信され、コマンド送信結果に送信したコマンド（④）と、その結果（⑤）が表示されます。コマンド送信結果欄の結果（⑤）に表示されるメッセージと内容は次のとおりです。

メッセージ	内容
成功	制御コマンドの通信が成功しました。
失敗	制御コマンドの通信に失敗しました。機材の状態を確認してください。
他の制御を実行中のため失敗	情報更新中など、機材が他の処理を実行中です。しばらく待って再度操作してください。
異なる機材のため失敗	登録した機材と異なる機材が接続されています。該当の機材を確認してください。

お知らせ

- 機材に対して制御コマンドを正常に送信できた場合でも、情報更新を行うまでは機材のステータス画面の状態は更新されません。すぐに機材の状態を確認したい場合は、機材のステータス画面で「更新」ボタンをクリックしてください。機材の情報が最新の状態に更新されます。
- プロジェクターの光源の点灯には時間を要するため、電源オンの操作を行ってもステータス画面にすぐに反映されない場合があります。

困ったとき

もう一度次の点をお調べください。

Windows 8.1 / Window 10 に本ソフトウェアをインストールできない

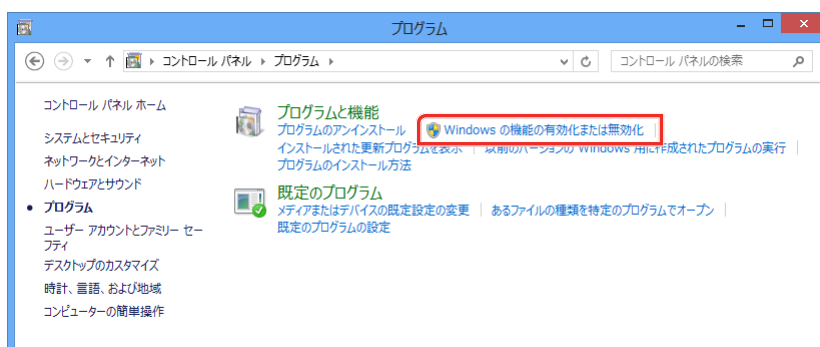
< ご使用のコンピューターに Microsoft .NET Framework 3.5 がインストールされていますか >
Windows 8.1 はたは Windows 10 に本ソフトウェアをインストールするには、ご使用のコンピューターにあらかじめ .NET Framework 3.5 がインストールされている必要があります。

■ インストール手順

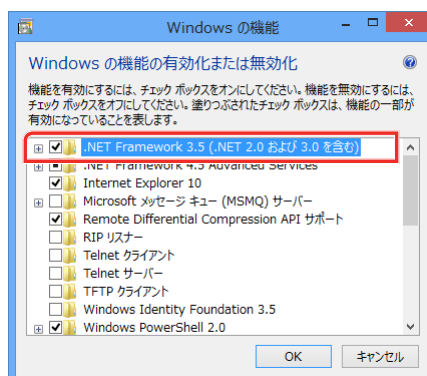
1. キーボードの [Windows ロゴ] を押しながら [X] を押し、[コントロールパネル] をクリックする。
 - ・ コントロールパネルが開きます。
2. コントロールパネルの [プログラム] を選択する。



3. プログラムの [プログラムと機能] → [Windows の機能の有効化または無効化] をクリックする。

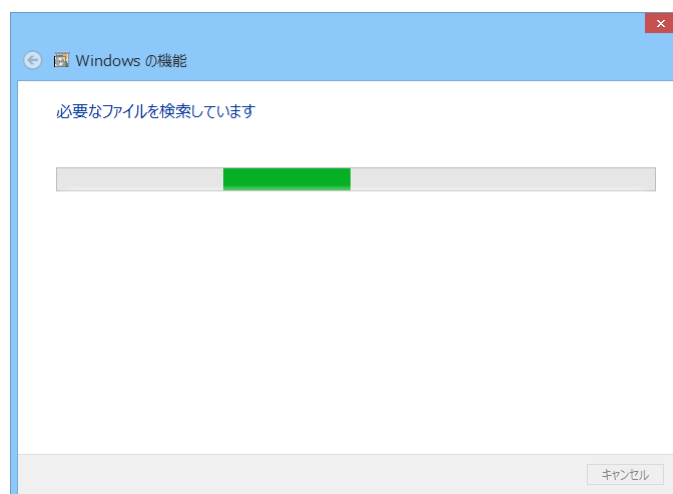


4. Windows の機能の “.NET Framework 3.5(.NET 2.0 および 3.0 を含む)” のチェックボックスをチェックして、[OK] ボタンをクリックする。

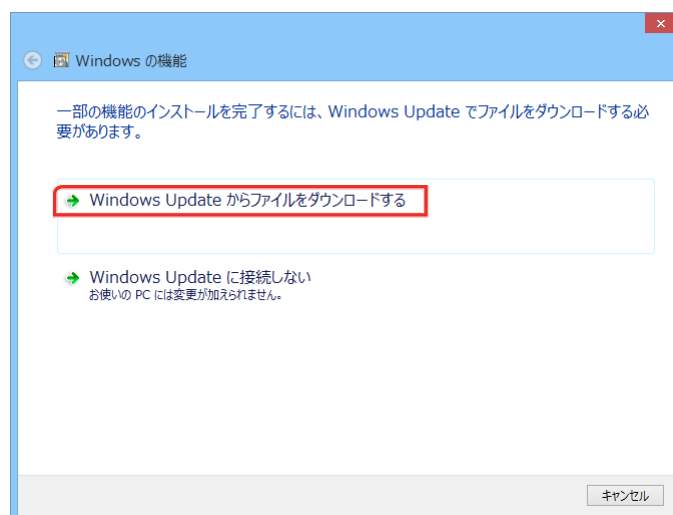


Windows 8.1 / Window 10 に本ソフトウェアをインストールできない

5. 必要なファイルを検索し、.NET Framework 3.5 がインストールされます。



6. ご使用のコンピューター上に .NET Framework 3.5 をインストールするために必要なファイルがない場合は、次の画面が表示されるので、[Windows Update からファイルをダウンロードする] を選択してください。この作業にはインターネット接続が必要です。



7. インストール完了後、コンピューターを再起動してください。

ソフトウェアをバージョンアップしたとき、WEB ブラウザー画面が更新されない

＜お使いの WEB ブラウザーの一時ファイルデータが残っていませんか＞

お使いの WEB ブラウザーの設定によっては、ソフトウェアのバージョンアップの際、以前のバージョンの表示画面データが一時ファイルとして残ってしまう場合があります。

お使いの WEB ブラウザーの一時ファイル（キャッシュデータ）を削除してください。

■ Internet Explorer 11（Windows）の例

1. WEB ブラウザーのツールバーにある [ツール] メニューをクリックする。
2. [インターネットオプション] を選択する。
3. [全般] タブの [閲覧の履歴] にある [削除] ボタンをクリックする。
4. [閲覧の履歴の削除] 画面で、[インターネット一時ファイルおよび Web サイトのファイル] にチェックを入れる。
5. [削除] ボタンをクリックする。
 - 一時ファイルデータが削除されます。

■ Microsoft Edge（Windows）の例

1. WEB ブラウザーの右上にある [...] マークをクリックする。
2. [設定] を選択する。
3. [クリアするデータの選択] ボタンをクリックする。
4. [閲覧データのクリア] 画面で、[Cookie と保存済みの Web サイトデータ] と [キャッシュされたデータとファイル] にチェックを入れる。
5. [クリア] ボタンをクリックする。
 - 一時ファイルデータが削除されます。

■ Safari（iOS 9）の例

1. メニュー画面の [設定] をタップする。
2. [Safari] をタップする。
3. [履歴と Web サイトデータを消去] をタップする。
4. 確認ダイアログボックスが表示されますので、[消去] をタップする。
 - 一時ファイルデータが消去されます。

インストールが完了しない

＜ Windows Update を実行中にインストールしませんでしたか＞

Windows Update を実行中に、または再起動を要する更新が行われた状態で本ソフトウェアをインストールしようとする、インストールが途中で止まったまま完了しない場合があります。インストールを開始してから 10 分以上経過してもインストールが完了しない場合は、コンピューターを再起動したうえでインストールし直してください。

商標について

- Microsoft、Windows、Internet Explorer は、米国 Microsoft Corporation の、米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Intel® は、Intel Corporation またはその子会社の、米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- iPad、iPhone、Safari は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。
- IOS は、Cisco の米国およびその他の国における商標または登録商標であり、ライセンスに基づき使用されています。
- その他、この説明書に記載されている各種名称・会社名・商品名などは各社の商標または登録商標です。

なお、本文中では ® や TM マークは明記していません。

ご注意

- 本ソフトウェアおよびこの説明書の一部または全部を無断で使用、複製することはできません。
- 本ソフトウェアおよびこの説明書を運用した結果の影響については、一切の責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本ソフトウェアの仕様、およびこの説明書に記載されている事柄は、将来予告なしに変更することがあります。

お問い合わせ内容がプロジェクターに関するものである場合は、下記パナソニック プロジェクターサポートセンターまでご連絡ください。

パナソニック プロジェクターサポートセンター

電話

フリー
ダイヤル



0120-872-601

※携帯電話・PHSからもご利用いただけます。

受付時間：月～金（祝日と弊社休業日を除く）
9：00～12：00 13：00～17：00

URL <https://panasonic.biz/cns/projector/>

- * 文書や電話でお答えすることがあります。また、返事を差しあげるのにお時間をいただくことがあります。
- * お電話の際には、番号をお確かめのうえ、お間違えのないようにおかけください。

お問い合わせ内容がフラットパネルディスプレイに関するものである場合は、下記パナソニック システムお客様ご相談センターまでご連絡ください。

パナソニック システムお客様ご相談センター

電話

フリー
ダイヤル



0120-878-410

※携帯電話・PHSからもご利用いただけます。

受付時間：9：00～17：30
（土曜・日曜・祝祭日は受付のみ）

URL <https://panasonic.biz/cns/prodisplays/>

- * 文書や電話でお答えすることがあります。また、返事を差しあげるのにお時間をいただくことがあります。
- * お電話の際には、番号をお確かめのうえ、お間違えのないようにおかけください。

【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】

パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくために発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

パナソニック株式会社 コネクティッドソリューションズ社

〒571-8503 大阪府門真市松葉町2番15号